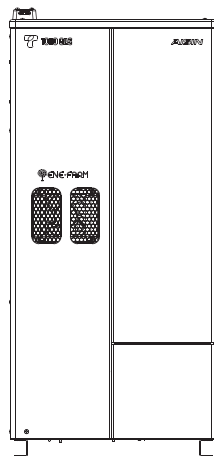




TOHO GAS 取扱説明書 (保証書付き)

燃料電池ユニット

東邦ガス型式	メーカー型式	ガスの種類
NT-0720ARS-KBC (停電時発電継続仕様)	FCCS07C1NJ	都市ガス13A
NT-0720ARS-KC (標準仕様)	FCCS07C1NH	都市ガス13A



エネファーム type Sの取扱説明書は下記3冊で構成されています。

目的に合った取扱説明書をご確認ください。

燃料電池
ユニット
取扱説明書
(本書)

リモコン
取扱説明書

熱源機
取扱説明書

このたびは東邦ガスのエネファームtype S燃料電池ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 安全についての注意事項を記載しておりますので、必ずお守りください。
- お読みにになった後、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が変わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
この取扱説明書には、巻末に保証書がついています。大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、東邦ガスのホームページからダウンロードしてください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※エネファームは、大阪ガス株式会社、東京ガス株式会社、JXTGエネルギー株式会社の登録商標です。

721672-10320-D

■ 本機は各種熱源機とセットでご使用出来るように構成されています

「発電」については、リモコンの種類ごとに記載していますので、お客さまがご使用のリモコン記載ページをご覧ください。



リモコンA (ノーリツ) 15ページを参照してください



リモコンC (リンナイ) 26ページを参照してください



発電リモコン 38ページを参照してください

もくじ

ご使用の前に

エネファームについて	1
安全のため必ず守ってください	4
各部のなまえ	11
ご使用前の確認	14

お湯・お風呂・暖房

熱源機の取扱説明書（リモコン編）をご覧ください

エネルギーの操作方法

熱源機の取扱説明書（リモコン編）をご覧ください

無線LANの通信設定

熱源機の取扱説明書（リモコン編）をご覧ください

発電

		リモコンA (ノーリツ)	リモコンC (リンナイ)	発電リモコン
リモコンについて		15	26	38
発電について		17	28	40
発電をする		19	30	42
発電を止める		20	31	43
停電時に電気を使う				
停電時 発電 継続 機能	停電時発電継続機能の概要	21	33	44
	主な電気製品の消費電力	22	34	45
	停電発生時の対応	23	35	46
	過負荷時の復帰操作	23	35	46
	発電出力を上げる場合	25	37	47
	お湯を使う	25	37	47

※表中の数字は、参照ページ数を表します。

■本書では、下記の呼びかたで説明をしています

- 燃料電池ユニットと熱源機を合わせたシステムを「エネファーム」
- 燃料電池ユニットを「発電ユニット」
- 発電ユニットと専用の熱源機を組み合わせた構成を「セット構成」
- 発電ユニットと専用ではない熱源機を組み合わせた構成を「後付構成」
- セット構成用台所リモコンを「台所リモコン」
- セット構成用浴室リモコンを「浴室リモコン」
- エネファーム発電専用リモコンを「発電リモコン」
- ガスメーター（マイコンメーター）を「ガスマイコンメーター」

こんなときは

こんなときは

停電のときは	48
断水のときは	48
長期間使用しないときは	48
気温が-10℃を下回るときは	49
ガスの供給が途絶えたときは	49
工事などで停電、断水、ガス停止が事前に分かっているときは	49
災害時等緊急停止のときは	50
水抜きしたいときは	
発電ユニットの水を抜く	51
災害時などに貯湯タンクのお湯を取り出す	55

お手入れ

お手入れと周囲の確認	56
貯湯タンクの洗浄をする（1回/年以上）	
水抜き手順	57
水張り手順	59

困ったときに

故障・異常かな？とおもったら	61
エラー発生時の処置方法	63
エラー表示	65

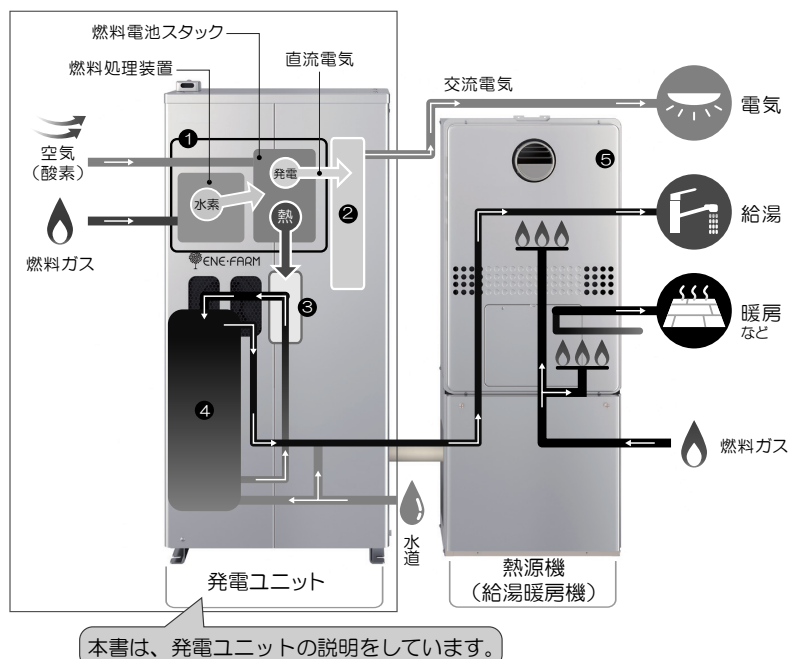
知っておいてください

点検について	67
おもな仕様	68
外形図	69
アフターサービスと保証について	70
保証書	71

エネファームについて

■エネファームtype Sのシステム構成イメージ

発電ユニットは、燃料ガスから水素を取り出し、その水素と空気中の酸素を反応させて、自宅で電気を作るシステムです。発電時に出る熱を利用してお湯も一緒につくるため、エネルギーを有効利用できます。



※左記はシステム構成イメージです。
実際の構成とは異なります。

① ホットモジュール

燃料処理装置で燃料ガスと水蒸気を反応させ、水素を取り出します。取り出した水素を燃料電池スタックへ供給。空気中の酸素により電気（直流）を作ります。

ホットモジュールとは、燃料処理装置と燃料電池スタックを断熱材で覆い、高い温度に保たれる主要構成機器です。

② パワーコンディショナー

発電された直流電気を交流電気に変換し、商用電源に接続します。

③ 排熱回収装置

排熱回収装置では排気ガスから熱を回収します。

④ 貯湯タンク

回収した熱を貯湯タンクへお湯としてためておき、給湯時に利用します。

⑤ 熱源機（給湯暖房機）

貯湯タンクのお湯と水道水を混合した予熱水を、リモコンで設定した温度に加熱して、給湯をします。

■この機器は対応する熱源機と組み合わせて使用することで、電気および熱（お湯）を供給します

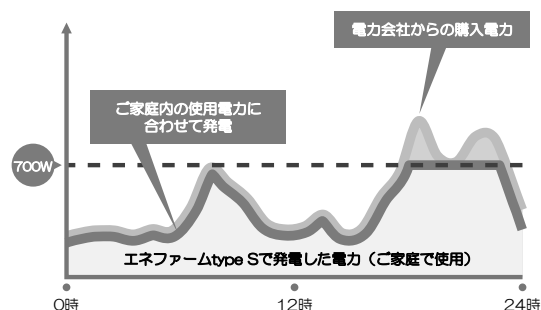
発電ユニットから発生する排熱により、水を最高約30℃に加熱し熱源機に供給します。その後熱源機にて設定温度に調整されて、給湯・お風呂の湯はりに利用されます。

■発電ユニットは自動運転です

発電ユニットは24時間連続運転で、家庭の電力需要に合わせて自動的に50W～700Wの範囲で発電します。（消費電力追従運転）

※ ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、26日間連続して発電した場合は、27日目に24時間以上発電を停止します。（「■27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」17ページを参照願います。）

- ・発電ユニットで作られた電気を優先的に使用し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。
- ・発電ユニットで作られた電気は、家庭内（照明、テレビなど）で使用します。



■逆潮流ありの設定を選択されたお客さまへ

◆ 逆潮流に関してのご説明

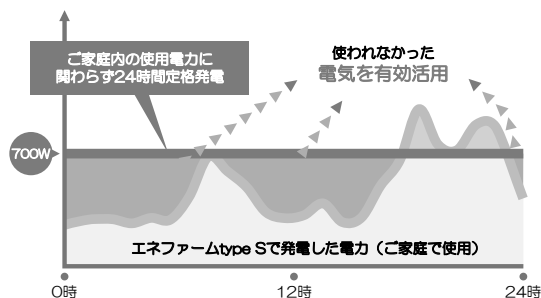
- ・逆潮流とは、発電ユニットにて発電された電力を電力システムを介して取引等を実施する仕組みです。
- ・逆潮流を実施する場合、東邦ガス（発電ユニットからの電力の買い取りを行う事業者）への申し込みが必要となります。

- ◆ 逆潮流ありの場合、発電ユニットはお客さまの消費電力以上で発電運転（最大約700W）を実施します。余剰となった電力は、東邦ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを実施する事業者さまが買い取ります。

- ◆ 逆潮流有無はご購入時にお客さまに選択していただき、施工業者が設定いたします。お客さまご自身で設定変更はできませんのでご了承ください。設定変更をご希望されるお客さまは、東邦ガスまでご相談ください。

- ◆ 逆潮流に関しての詳細は東邦ガスホームページ等をご覧ください。

- ◆ 逆潮流のリモコン表示に関してはリモコンの取扱説明書をご覧ください。

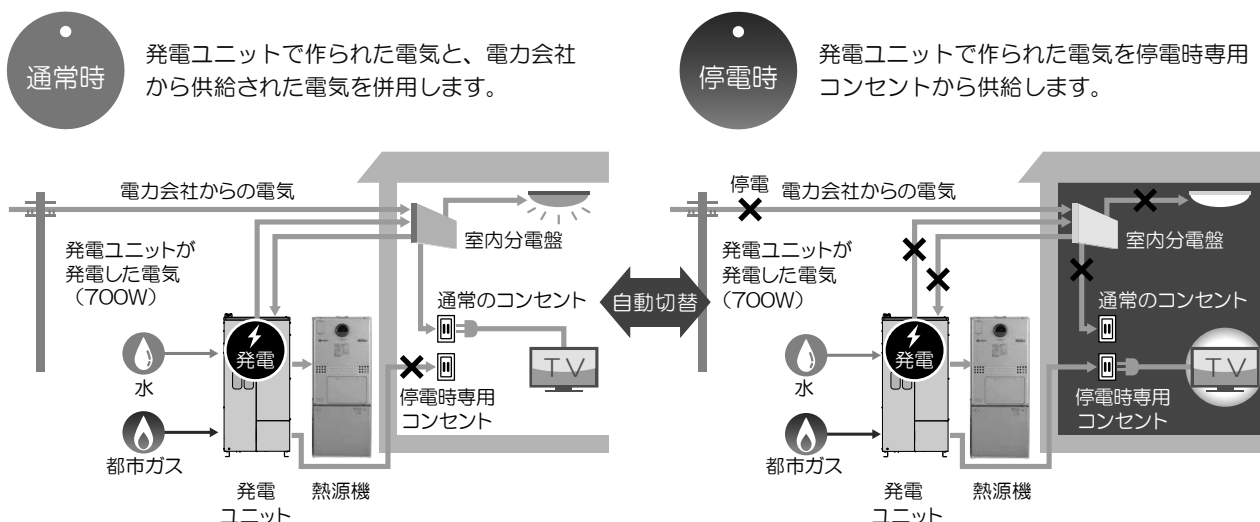


エネファームについて

■ 停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ

- ・ 停電時発電継続仕様は、発電中に停電が発生した場合も引き続き発電を続けます。したがって停電中でも発電した電気と熱源機のお湯を使うことができます。
※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- ※ 後付構成の場合は、熱源機の電源を停電時専用コンセントに繋ぎ替える必要があります。

＜停電時発電継続中の電気の流れ＞



- ・ 停電時発電継続機能で利用できる電気の量は最大約700Wです。
※ セット構成の場合は熱源機で使用する電気の量を含みます。停電時専用コンセントでご使用できる電気の量は700Wよりも、少なくなります。
 - ・ 停電時発電継続中は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます。
※ 停電時専用コンセントには「エネファーム 停電時自立発電専用」と表示されています。
※ 停電時専用コンセントは停電しているときだけ、ご使用ください。なお、停電が復旧すると自動的に停電時専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、使用できません。
- ※ 停電時発電継続機能の詳細は21～25ページ（リモコンA（ノーリツ））、33～37ページ（リモコンC（リンナイ））、44～47ページ（発電リモコン）をご覧ください。

■ 後付構成を選択されたお客さまへ

- ・ 熱源機が「給湯切」でも発電ユニットから最高で約30℃の水が供給されます。
水をご使用されたい場合は、混合水栓を水側にしてご使用ください。
- ・ 熱源機が「給湯切」の状態でお湯を使用すると、お湯の温度が変動したり、湯切れで急に水になることがありますので、「給湯切」の状態ではシャワー等のご使用はお控えください。
- ・ 給湯切時もお湯の温度を確かめていただいてからお湯をお使いください。
- ・ 熱源機が給湯「切／入」にかかわらず、発電ユニットから最高で約30℃の水が供給されますので、熱源機のふろ「足し水」機能をご使用いただいても、お風呂がぬるくなりにくくなる場合があります。

■ その他

- ・ 異常がある場合、リモコンにエラーを表示し、お知らせします。
- ・ 断水で水道水を使用できない場合でも、貯湯タンクのお湯（水）を取り出して雑用水として利用できます。
※ 発電ユニットの運転を停止させる必要があります。
※ 貯湯タンクのお湯（水）を使用した場合、断水から復旧しないと発電はできません。

エネファームについて

■ネットワーク機能をお使いのお客さまへ

ネットワークに接続しますと、スマートフォンアプリがご利用できます。

<スマートフォンアプリ利用のイメージ>

家でスマートフォンでエネルギー情報が
見える！
お風呂のお湯張りが出来る！*1



外でもスマートフォンでエネルギー情報が
見える！
お風呂のお湯張りが出来る！*1



●スマートフォンアプリ

お使いのスマートフォンにアプリをインストールすると、スマートフォンでエネルギー情報の見える化やガス機器の遠隔操作がご利用になれます。

※リモコンとアプリの表示は若干異なる場合があります。

スマートフォンアプリの詳細はこちらから → <http://iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/>

*1 発電リモコンの場合、お風呂のお湯張りはできません。

こちらからもアクセスできます →



ネットワーク機能をお使いによる注意事項

- ・サービスのご利用には常時接続のインターネット環境と無線LAN環境が必要です。
- ・インターネット環境・無線LAN環境・スマートフォンはお客さまでご準備ください。
- ・無線LANルータは、WPA2/WPAの暗号化方式に対応したものがが必要です。
- ・ご使用の無線LANルータ、スマートフォン、通信環境によっては本サービスをご利用できない場合があります。
- ・エネファームリモコンがサーバと通信するため、インターネットの通信費がかかります。
- ・接続方法に関しては各リモコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・燃料電池ユニットのソフトウェアをサーバから自動的にダウンロードし、更新場合があります。
- ・インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料金は、お客さま自身でお支払いください。
- ・サービス内容などは、事業者により異なり、予告なく変更することがあります。

運転データの取扱いに関する以下の事項に同意いただいたうえで、 リモコンと無線LANルータを接続ください

- ・エネファームtypeSをネットワークに接続すると、その稼働状況や計測したエネルギーデータなどがサーバーへ自動的に送信されます。
- ・これらの情報は、エネファームの運転状況の見守りや修理対応のための機器状況の確認、商品・サービスの開発・改良目的で以下の事業者が利用します。
 - ①ガス小売事業者(東邦ガス株式会社)
 - ②発電ユニットの製造メーカー(株式会社アイシン)
 - ③お客さまがエネファームtypeSを購入した販売事業者

安全のため必ず守ってください

ご使用の前に、この「安全のため必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。

■表示の説明

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性や物的損害が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■絵表示の説明

 必ず行うこと	 接触禁止	 一般的な禁止
 分解禁止	 発火注意	 火気禁止
 アース線を接続すること	 高温注意	

異常のときは

⚠ 警告

ガス漏れに気付いたら

◆屋内でガス臭がする場合は、次のことはしない。

引火し、爆発事故を起こすことがあります。

- ・火をつけない
- ・電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチをON/OFFしない
- ・コンセントを抜き差ししない
- ・周辺で電話を使用しない



火気禁止



◆次の処置を行ってください。

① ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めると、エラーコード[AOF00]がリモコンに表示されます。）

② 屋内でガス臭がするときは窓や扉をあける。

③ 東邦ガスに連絡する。

愛知県 052-872-9238

岐阜県 058-272-0088

三重県 059-224-0225

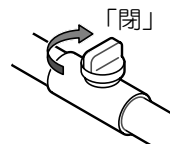
そのままにしておくと、火災や爆発の原因になります。

また、絶対に火を近づけたりしないでください。



確認

①



③



※ガス漏れ異常（エラーコード[10F00]、[10F01]、[10F10]、[10F11]）は、リモコンでのエラー解除はできません。

異常時の処置

発電ユニットから異常な臭い（こげ臭い・ガス臭い）・発火・煙・異常に大きい音・振動があるときは、次の処置を行ってください。

① ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めるとエラーコード[AOF00]がリモコンに表示されます。）

② 屋内分電盤の発電ユニットブレーカと熱源機ブレーカをOFFにする。

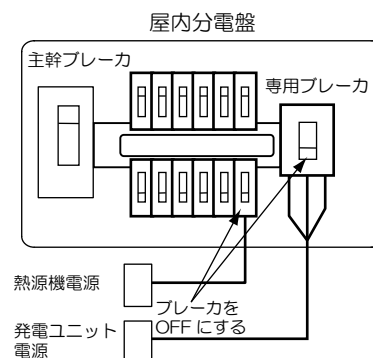
③ 東邦ガスに連絡する。

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。

※ブレーカ部は濡れた手で触れないでください。



確認



安全のため必ず守ってください

設置のときは

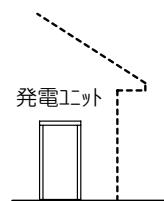
⚠ 警告



禁止

屋内に設置しない

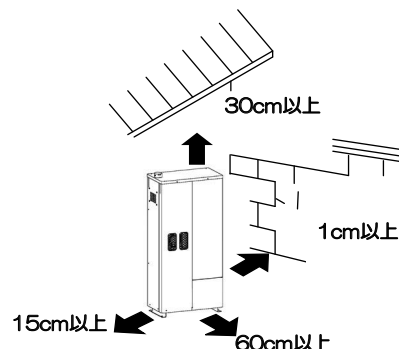
屋外設置据置型ですので、絶対に屋内に設置しないでください。
酸欠・一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



確認

離隔距離とメンテナンススペースの確認

周囲の可燃物に対して、防火上の離隔距離をとってください。
距離が不足すると火災の原因になります。この離隔距離に加えて、メンテナンススペースも確保してください。ご不明な点は、東邦ガスへお問い合わせください。
図中の数字は、防火上の離隔距離（前面排気の場合）を表しています。



ご使用前は

⚠ 警告



アース

必ずアース工事を確認する

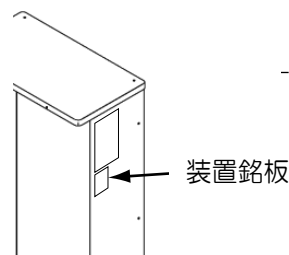
アース工事（D種接地工事）が不完全な場合は、感電・火災の原因となります。
アース線が、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないことを確認してください。ご不明な点は東邦ガスに連絡ください。



確認

ガスの種類・電源の確認

ガスの種類・電源が異なる場合、火災や感電の原因となります。
装置銘板に表示されている燃料種と使用するガスが一致していることを確認してください。また、電源が「単相3線式 100/200V」であることを確認してください。



ご使用中は

⚠ 警告



発火注意

燃えやすい物を周りに置かない

洗濯物・新聞紙・灯油など燃えやすい物を周りに置かないでください。火災の原因になります。



火気禁止

火気を近づけない

換気出口・排気口に火気を近づけないでください。
火災の原因になる場合があります。



発火注意

引火のおそれがある物を周りで使用しない

灯油・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれがある物を機器の周りで使用しないでください。火災の原因になります。



発火注意

スプレー缶を周りに置かない、使用しない

スプレー缶を周りで使用したり、置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。周りでスプレーを使用すると、スプレーに含まれる成分により、機器故障の原因となります。



禁止

LPガス容器を周りに置かない

所定の離隔距離が必要です。



安全のため必ず守ってください

ご使用中は

警告



禁止

排気ガスを建物内に入れない

この機器の排気ガスが建物（自宅および隣家など）の吸排気口や窓などから建物内に入らないようにしてください。

排気ガスが建物内に流入すると、一酸化炭素中毒などの原因になります。



禁止

排気口の向きを変更しない

火災の原因、一酸化炭素中毒の原因となる可能性があります。

変更が必要な場合は必ず東邦ガスにご相談ください。



禁止

排気口・換気出口に顔を近づけない

大量の排気ガスを吸い込むと、一酸化炭素中毒の原因となる可能性があります。



禁止

排気口付近で子供やペットを遊ばせない

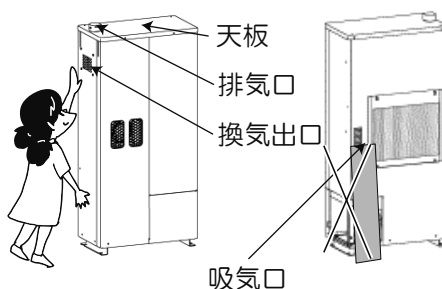
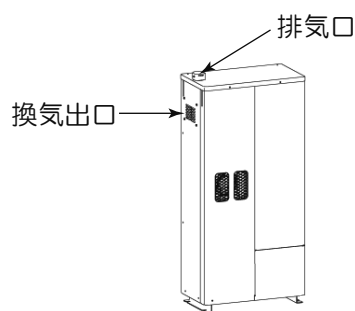
一酸化炭素中毒のおそれがあります。



禁止

排気口・吸気口・換気出口を塞がない

空気の入りが不足すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となります。



こんなときは

警告



強制

地震・水害・火災の発生したときの処置

地震・水害・火災が発生したときは、ガス栓を閉め、屋内分電盤の専用ブレーカと防水コンセントに接続されたブレーカをOFFにしてください。おさまりましたら、機器が安全に使用できるかどうかの確認を東邦ガスに依頼してください。



強制

積雪時の点検・除雪

積雪時は、排気口・換気出口・吸気口が塞がれないように点検・除雪を行ってください。空気の入りが不足すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となります。

増改築・移設時などのときは

警告



禁止

囲いをしない

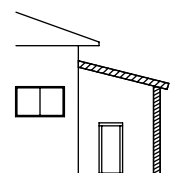
設置後、発電ユニットを波板やビニールなどで囲んで屋内状態にしないでください。火災や酸欠事故の原因となります。



禁止

外壁の塗装、増改築、屋内の修繕時などに、機器本体が養生シートで覆われた場合は機器を使用しない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。



強制

移設時の確認

増改築や引越しなどで移設する場合は、東邦ガスにご相談ください。

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による一酸化炭素中毒、火災の原因になります。（移設は有資格者が行います。）

移設後は、電力会社への手続きが完了した後でないと運転することはできません。（手続きについては、東邦ガスに確認してください。）



強制

熱源機・リモコンを買い替える場合

・熱源機との組み合わせ、あるいはリモコンとの組み合わせによっては、安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。

・熱源機・リモコンを買い替える場合は必ず東邦ガスにご相談ください。

安全のため必ず守ってください

お手入れのときは



警告



強制

機器の吸気口がホコリ・ゴミなどで塞がっていないか確認する
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となります。



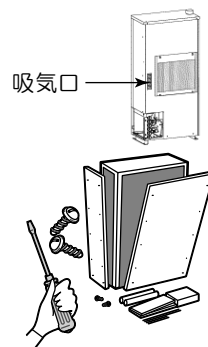
禁止

高水圧での、水洗いはしない
感電・火災の原因になることがあります。



分解禁止

分解・修理・改造をしない
分解・改造を行わないでください。感電・火災・水漏れの原因となります。
移設・付帯工事・修理をする場合は、必ず東邦ガスに依頼してください。



停電時発電継続のときは

(停電時発電継続仕様のお客さまへ)



警告



禁止

停電時専用コンセントには以下の製品をつながない

停電時専用コンセントには停電時にのみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。

- ・全ての医療機器
- ・灯油を用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器

消費電力が合計で700W以上になる機器は接続しないでください。

【注意】停電時発電継続機能で利用できる電気の量は最大約700Wです。

※セット構成の場合は、熱源機の消費電力^{*1}も含まれますので、停電時専用コンセントからご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。

*1 冬季時の凍結予防など、熱源機の運転状態によって消費電力が大きく変わりますので、リモコンで消費電力を確認しながらお使いください。



禁止

停電時専用コンセントを商用電力線につながない

停電時専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



強制

停電時専用コンセントは停電時のみ使用する

停電時専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に停電時専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



禁止

停電していないときに停電時発電継続を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。

エラーの処置は



警告



禁止

お客さま自身で部品の点検・調整はしない

感電・火災・水漏れの原因となります。



強制

機器の異常に気付いたときは、東邦ガスに連絡する

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。

安全のため必ず守ってください

ご使用中は

⚠ 注意



排気ガス・換気ガスを動植物に当てない
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



高温注意

排気口、換気出口、天板に触れない
高温になっており、やけどの原因になることがあります。



禁止

発電ユニットの上に乗らない、物を載せない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



禁止

発電ユニットと熱源機間の配管の上に乗らない、物を載せない
けが・やけど・水漏れのおそれがあります



高温注意

熱源機行き配管（高温側）に触れない
熱源機行き配管（高温側）は高温になることがあります。
やけどのおそれがあります。



禁止

排気口・換気出口・吸気口に指や棒など異物を入れない
けが・やけど、機器故障のおそれがあります。

給湯・お風呂のときは

⚠ 注意



強制

機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、雑用水として使用する
飲用したり調理に使用すると、健康を害するおそれがあります。



強制

飲用する場合は、必ず沸騰させてから使用する。また必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用する
飲用すると、健康を害するおそれがあります。



禁止

異物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しない
飲用すると、健康を害するおそれがあります。
※ 東邦ガスへ点検を依頼してください。



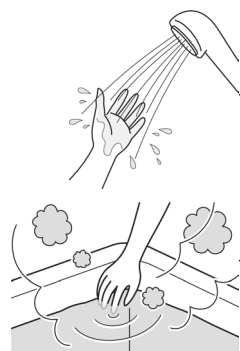
高温注意

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。やけどのおそれがあります。



高温注意

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけどのおそれがあります。



安全のため必ず守ってください

こんなときは



注意



高温注意

断水時には給水・給湯栓*を開けない

発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合があります。
*給湯栓は、屋内の給湯蛇口です。



高温注意

水抜き時タンク排水配管や排出される湯には触れない

場合によっては熱いお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。

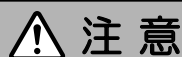


高温注意

水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

お手入れのときは



注意



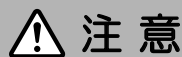
禁止

パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。

停電時発電継続のときは

(停電時発電継続仕様のお客様へ)



注意



強制

停電時発電継続中は浴槽の排水栓を抜く

セット構成の場合、停電時発電継続中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



禁止

ガスファンヒータを使用すると過負荷で発電運転が中断する場合は、ガスファンヒータを使用しない

過負荷が発生するとガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面（エアフィルタ部や取っ手部分）が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。



強制

停電時専用コンセントでガスファンヒータを使用中に異常を感じた場合は、使用を中止する

ただちにガス栓を閉じて、販売店またはもよりの東邦ガスに連絡してください。

廃棄のときは



注意



禁止

お客さまご自身で解体・廃棄は絶対にしない

法規制の対象物質が含まれるため、決められた方法で解体・廃棄をする必要があります。
解体・廃棄につきましては、本製品を購入された販売店に依頼してください。
※ご使用には、人体・周辺環境への影響はありません。

お願い

低温になる場所への設置について

気温が-10℃より低温になる場所に設置しないでください。
設置すると、凍結により重大な破損が発生することがあります。

降雪地域での使用について

この機器を降雪地域で使用するとき、吸気口に雪などが固着する場合があります。固着が進むと、この機器は吸入不足になり正常に運転できません。
雪などの固着物は、吸気口を塞がないよう取り除いてください。

安全のため必ず守ってください

お 願 い

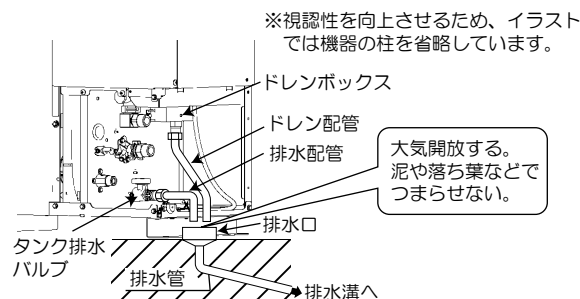
地下水・井戸水・温泉水・人口炭酸泉装置水・給水処理装置（軟水器など）の使用禁止

給水は必ず水道法に定められた水質基準に適合した水道水を使用してください。

地下水・井戸水・温泉水・人口炭酸泉装置水・給水用水処理装置水を使用すると、機器内配管の異物付着、腐食による水漏れ、機器の不具合が発生することがあります。

ドレン配管のつまりに注意する

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などでつまらせないでください。故障の原因となることがあります。

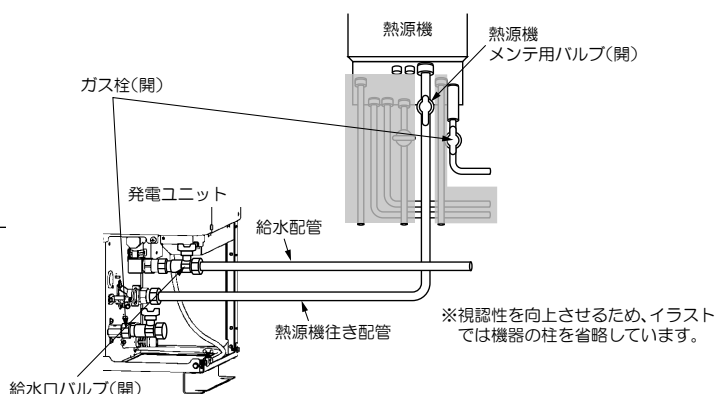


家庭用で使用するください

この機器は家庭用です。業務用に使用しないでください。業務用に使用して事故や故障が発生した場合、保証の対象外になります。

電源について

緊急の場合以外はブレーカを「OFF」にしないでください。停止回数が増えることにより機器が劣化したり、凍結防止運転ができず凍結破損する場合があります。



配管バルブを閉めない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉めないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

分散電源と併設する場合

太陽光発電、コージェネ、蓄電池など他の分散電源と併設する場合は、事前に東邦ガスへご相談ください。

知っておいてください

- ・雷や無線などのノイズが、この機器に悪影響を与えることがあります。
- ・ご自宅の電気工事などで、分電盤内の電流センサを外す場合は、事前に東邦ガスへ連絡してください。（電流値の読み込み不良により、発電ができなくなる場合があります。）
- ・発電ユニットの吸気口から自動車の排気ガスが直接吸い込まれると、発電ユニットの故障・性能低下の原因になりますので、自動車の排気ガス出口から1.5m以上離してください。

長期間使用しない場合の処置

不在などで10日間以上連続で電気・お湯を使用しない場合は、不在停止を行ってください。

長期間（1か月以上）連続して使用しない場合、または1か月未満でも凍結の心配があるときにブレーカーを「OFF」にする場合、必ず水抜きを実施してください。

停電時の注意

停電時に約24時間以上、発電（アイドリング状態も含む）が停止した場合は、現在時刻の設定を行ってください。

＊アイドリング状態とは、運転をしています、発電電力を出力していない（OW）状態のことです。

停電時専用コンセントが設けられていることを確認する（停電時発電継続仕様のみ）

停電時に発電ユニットで発電した電気を使用するには、停電時専用コンセントが必要です。

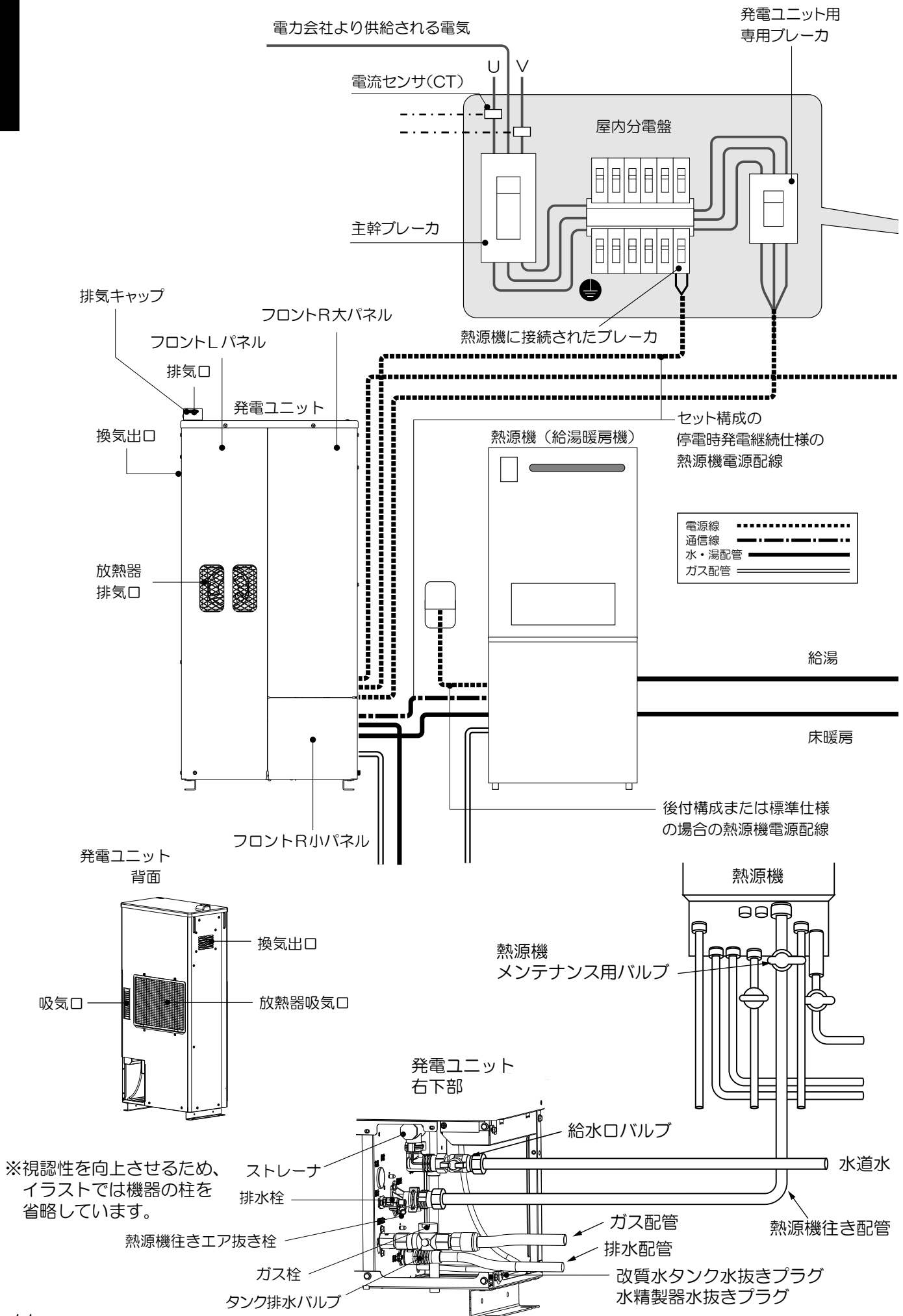
「エネファーム 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、停電時専用コンセントです。

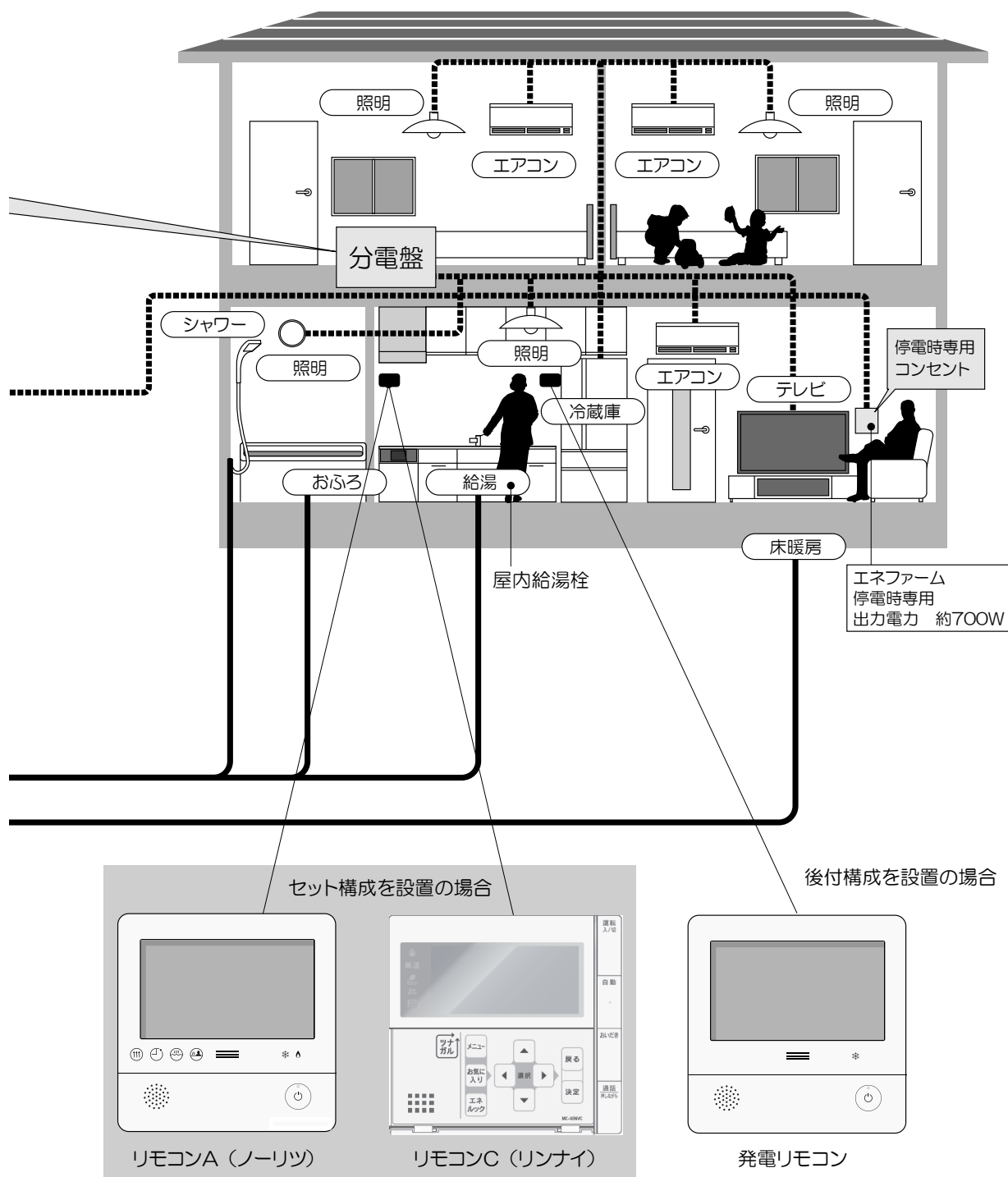
BL認定品について

BL認定品は「優良住宅部品」「瑕疵保障・賠償責任保険付」です。

一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

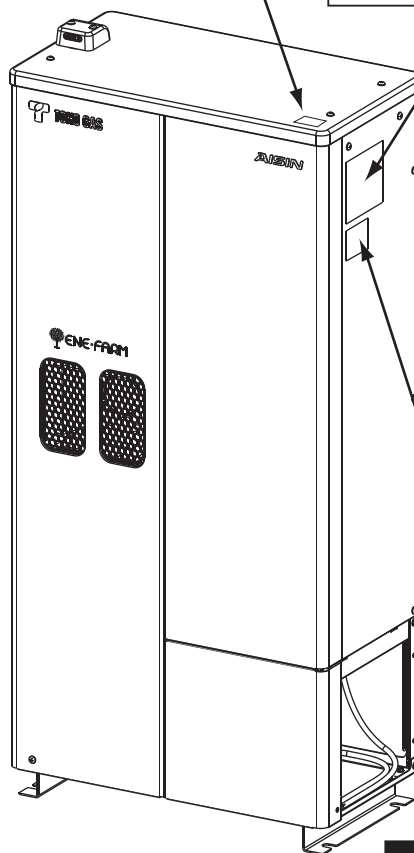
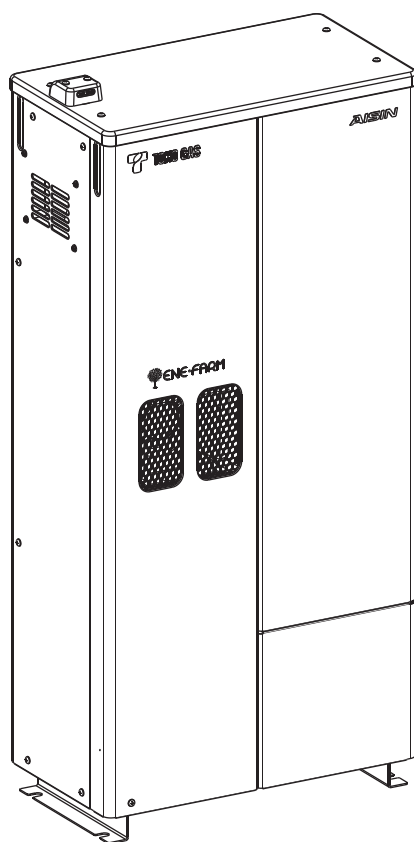
各部のなまえ





•お湯、お風呂、暖房、エネルックなどの操作については、各リモコンの取扱説明書を参照願います。

各部のなまえ



製造番号ラベル
(記載内容は一例です)

東邦ガス株式会社
NT-0720ARS-KBC
200431000001

安全ラベル



装置銘板
(記載内容は一例です)

NT-0720ARS-KBC 東邦ガス株式会社		
燃料電池ユニット		
・種類	固体酸化物形	13A H 自
・型式	FCOS07C1 NHJ	
・原燃料種	都市ガス 13A/12A	QR コード
・原燃料供給圧力	1.0~2.5kPa	
・定格原燃料消費量	1.30kW(1.44kW-HHV)	73 689-10270
・定格出力	0.7kW	
・定格電圧	100/200V	
・相数	単相3線式	
・周波数	50/60Hz	
・設置条件	屋外式 -10~43℃	
・質量	86kg	
・使用圧力/伝熱面積	0.48MPa以下/0.17m ²	
・機種	FCOS07C1 NHJ-	
・製造番号	200431 000001	
・製造年月	2020-4	
・製造者	株式会社アイシン	

- ・この機器を安全に使用していただくために、機器には安全ラベルが貼ってあります。
- ・安全ラベルを全て読んでからご使用ください。
- ・ラベルは、はっきり見えるようにきれいにしておいてください。
- ・この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、東邦ガスに連絡して新しいラベルに貼り替えてください。

ご使用前の確認

ご使用前に次の確認を行ってください。

※長期間使用しない場合の水抜き後の起動は、専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。

■確認

発電ユニット、熱源機周辺に異常がないことを確認します。
 (「安全のため必ず守ってください(4~10ページ)」を参照します。)

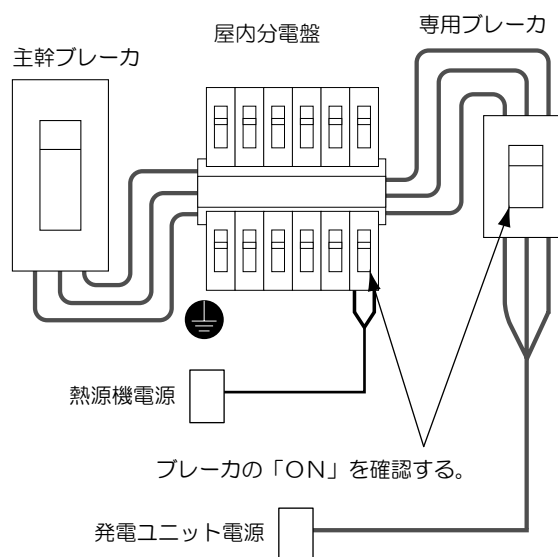
- 機器の周囲に可燃物および、障害物がないことを確認します。
- 機器の排気口、吸気口・換気出口が塞がれていないことを確認します。
- 据付金具が緩んでいないことを確認します。
- 発電ユニットに接続された屋内分電盤の専用ブレーカと熱源機に接続された屋内分電盤のブレーカが「ON」になっていることを確認します。(図1参照。)
- 台所リモコンまたは発電リモコンにて日時設定が完了していることを確認します。

確認方法は各リモコンの取扱説明書を参照してください。

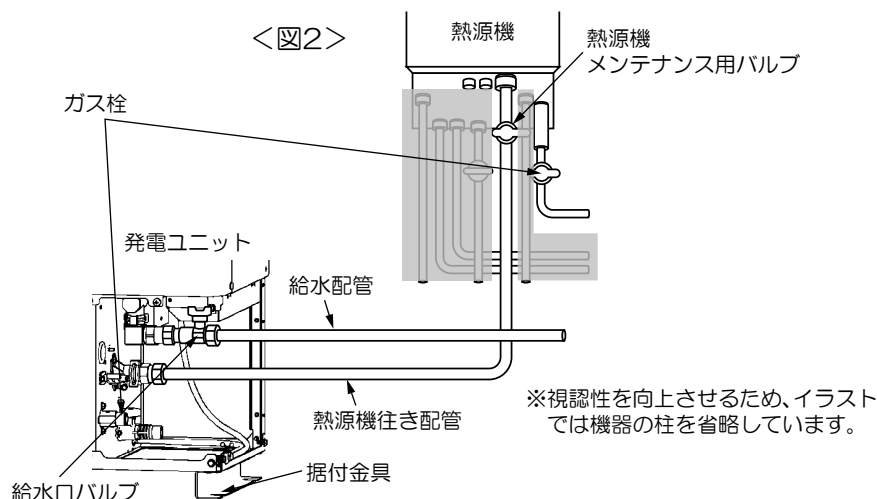
- 図3を参照してフロントR小パネルを取り外し、ガス栓、給水口バルブ、熱源機メンテナンス用バルブが開いていることを確認します。(図2参照。)

確認後、図4を参照してフロントR小パネルを取り付けてください。

<図1>



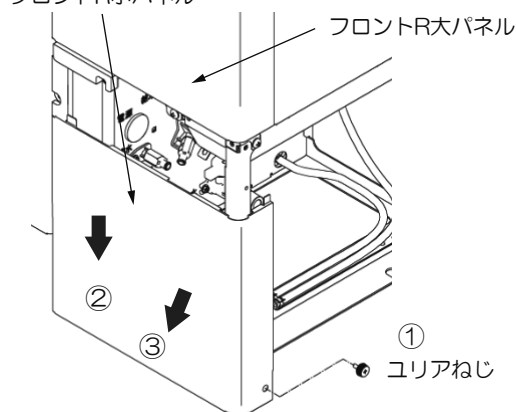
<図2>



■フロントR小パネルの取り外し方法

- ① フロントR小パネル右側面下のユリアねじを外します。
- ② フロントR小パネルを下に数mmスライドさせます。
- ③ フロントR小パネルの下端を手前に寄せながら下方にスライドさせて取り外します。

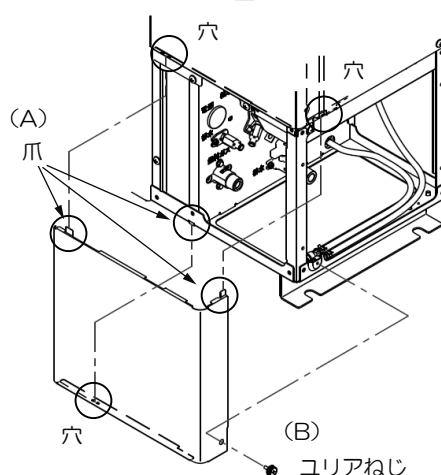
<図3>



■フロントR小パネルの取り付け方法

- (A) 3箇所の爪がそれぞれ対応する穴に差し込まれるようにフロントR小パネルを下から持ち上げます。
- (B) ユリアねじでフロントR小パネルを固定します。

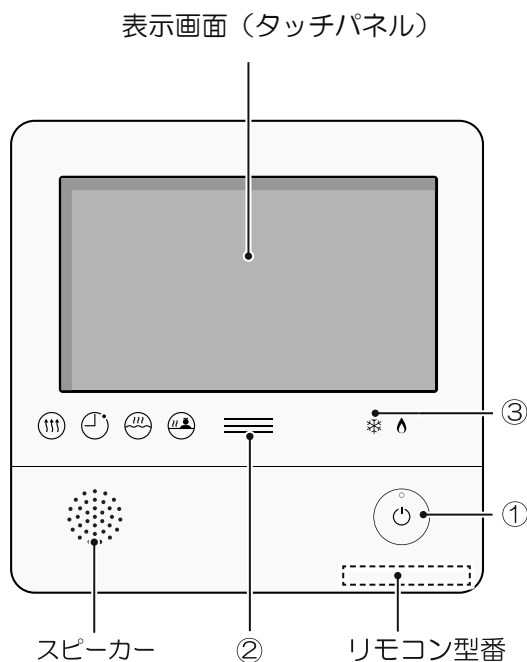
<図4>



リモコンについて

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について台所リモコンで説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

■各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



- ①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
- ・給湯器の運転「入」「切」の操作に使用します。
 - ・「入」でランプが点灯します。
 - ・画面を表示させたり消したりするときに使用します。

② 発電ランプ

- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
- ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)	購入電力が増えています 節電してください。
0.7kW	青色	使用電力が少し増えて います。
少ない	緑色	発電ユニットの発電内で 上手に使用されています。

- ・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

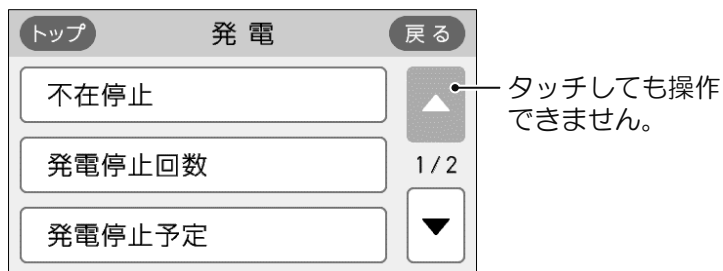
③ 凍結予防運転中マーク

凍結予防のために給湯機器のポンプが作動しているとき（熱源機の取扱説明書）や、発電ユニットのヒーターが作動しているときに点灯。

■表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- ・このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- ・圧力を感じるタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。
- ・「ON/OFF」スイッチや画面を押さないまま約10分（初期設定時間）経つと表示が消えます。

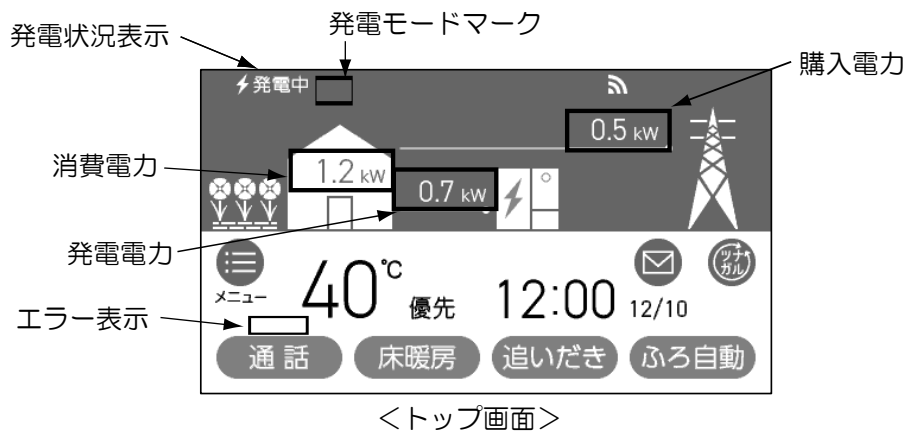
表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作できません。



※説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンについて



■ 発電状況表示の見かた

現在の発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ (点灯)	発電しています。
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

表示		状態
発電中		発電しています。
起動中		起動中(発電準備中)です。
停止中		発電停止の動作中です。
(表示なし)		発電ユニットは停止しています。
発電禁止		発電を強制的に禁止しています。
発電×		発電ユニットが使用できない場合に表示します。
出力抑制		機器の保護のため、発電ユニットの出力を抑えています。
不在停止		発電を停止しています。
逆流の場合	電圧抑制 ※	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
仕様の 場合 停電時 発電 継続	 自立 ↔  自立 (交互表示)	停電時発電継続しています。
	 自立・高 ↔  自立・高 (交互表示)	高出力設定 (25ページ)で停電時発電継続しています。

※自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

■ 発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
Ⓜ 発電中	ガスマイコンメーター確認マーク	- この表示が出ている間(24時間以上)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 - この表示が出た場合、午後4時から翌日午後1時までの間に全てのガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分以上ご使用を停止してください。 ※連続で70分以上停止いただけなかった場合は、リモコン上に「ガスマイコンメーター確認マーク」に加えて[01900]を表示し、停止を継続します。この場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(61ページ)を参照し、処置を行ってください。
Ⓜ 自立		
Ⓜ のみ		

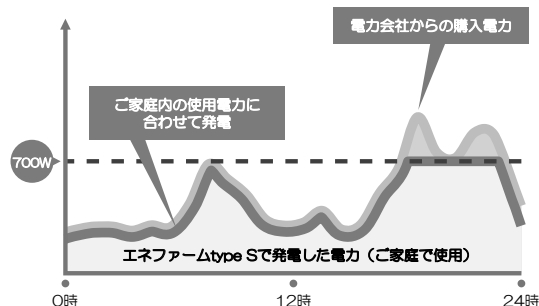
発電について

- ・発電ユニットは、運転開始から発電に至るまでに約4～5時間、発電を停止してから装置が停止するまでに約3～5時間かかります。（いずれの時間も気温や発電ユニットの状態により変化します。）
- ・発電ユニットは、27日サイクルで24時間連続発電しますが、発電パターンは「消費電力追従運転」と「逆潮流あり運転」の2パターンあります。

■ 1日の運転イメージ例（実際の運転はご家庭ごとに異なります）

● 消費電力追従運転

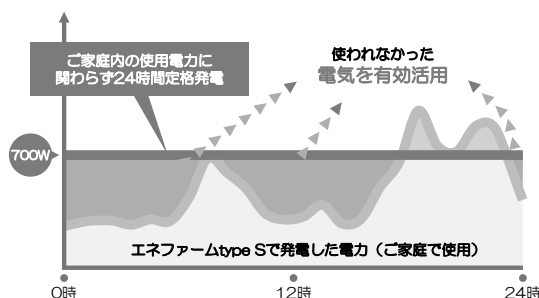
家庭の電力需要に合わせて自動的に50W～700Wの範囲で発電し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。



● 逆潮流あり運転

家庭の電力需要に関係なく、定格出力（最大700W）で発電し、余剰となった電力は、東邦ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを実施する事業者さまが買い取ります。

※ 逆潮流あり運転は、ご購入時にお客さまに逆潮流有無を選択していただき、施工業者が設定いたします。お客さまご自身で設定変更はできませんのでご了承ください。設定変更をご希望されるお客さまは、東邦ガスまでご相談ください。



■ 27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）

ガスマイコンメーターには、30日以上連続してガスが流れ続けた場合、ガス漏れの疑いがあると判断し、警報ランプが点滅する機能があります。発電ユニットが発電し続けると、この機能によりガスマイコンメーターがガス漏れと誤判断し、警報ランプが点滅してしまいます。誤判断を防止し、この機能を正常に動作させるために、発電ユニットが26日間連続して運転した場合、27日目に24時間以上停止する仕組みとなっています。その停止期間中はリモコンにMマークが表示されます。（24時間以上停止した後、発電ユニットは自動で運転を再開します。）

ガスマイコンメーターの警報ランプの点滅を発見された場合は、東邦ガスに連絡してください。



連続で70分間、ガスの使用を停止してください

※ 停止予定日までに24時間以上の停止があった場合は、サイクルはリセットされて運転再開時がサイクルのスタートとなります。

Mマーク



発電について

発電ユニットが自動停止する場合

下記の場合は、「27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」に関係なく発電が停止します。

■ 不在停止機能が作動したとき

リモコンの操作または、お湯・暖房が連続して10日以上使用されなかったときは、自動的に不在と判断して発電を中止し、発電ユニットを停止させます。

■ 機器保護運転停止をしているとき

夏季に外気温が高いときや発電ユニットの周囲に熱が滞留しているときに、電気使用・お湯使用が少ないと、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

■ 故障診断をしているとき

リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。最長で約10～12時間停止した後自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。表示は運転再開後、約4～5時間後に消えます。

発電ユニットが発電出力を下げる場合

下記の場合は、発電パターン（消費電力追従・逆潮流あり）に関係なく発電出力を下げます。

■ 機器保護運転をしているとき

- ・夏季に外気温が高いときや発電ユニットの周囲に熱が滞留しているときに、電気使用・お湯使用が少ないと、機器保護のため発電出力を自動的に下げ、リモコンに発電モードマーク[出力抑制]を表示する場合があります。
- ・発電出力が低出力から急に高出力に切り替わったときは、発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ・発電ユニットの内部センサの補正動作のため、稀に発電出力を数分間OWに下げる場合があります。

■ 経年劣化したとき

- ・ご使用による経年劣化により、ある程度の発電出力が低下します。

■ その他

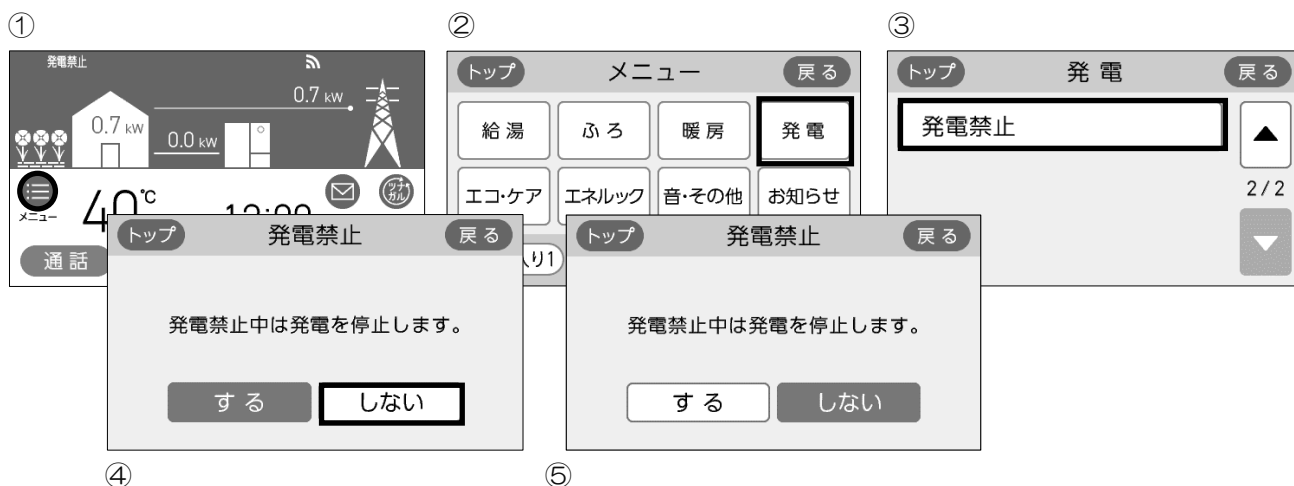
- ・自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限値を超えないように、リモコンの左上に[電圧抑制]を表示して発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。
- ・ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。

発電をする

※ 起動には約4～5時間かかります。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）
停止動作中に発電操作を行った場合は、停止動作（約3～5時間）完了後に起動します。

■ 発電禁止を解除し発電をする（「発電禁止」（20ページ）で停止させた場合）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
 - ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
 - ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
 - ④ 発電禁止画面より[しない]をタッチします。
 - ⑤ 発電禁止画面が[しない]に変わります。
- ※ トップ画面に、戻すには「トップ」を押してください。

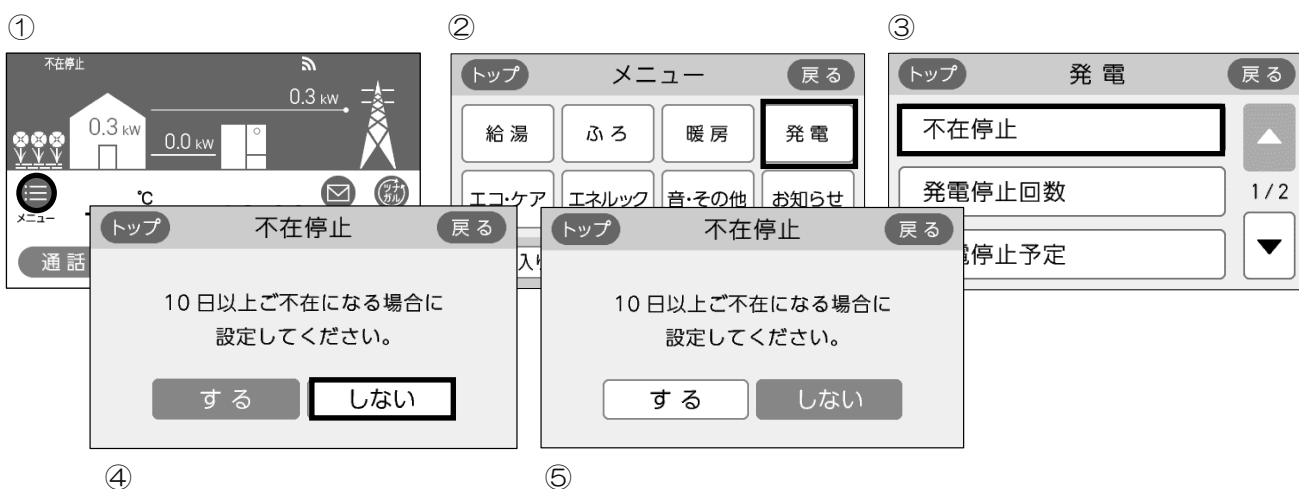


■ 不在停止を解除し発電をする（「不在停止」（20ページ）で停止させた場合）

リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をします。

※ 以下の方法でも発電を再開できます。

- ・ 不在停止設定後5時間以上経過している場合は、リモコンの液晶画面をタッチする。
 - ・ 熱源機による暖房を行う。
 - ・ 不在停止設定後5時間未満の場合は、メニュー画面から再開操作をします。
- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
 - ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
 - ③ 発電画面より[不在停止]をタッチします。
 - ④ 不在停止画面より[しない]をタッチします。
 - ⑤ 不在停止画面が[しない]に変わります。
- ※ トップ画面に、戻すには「トップ」を押してください。



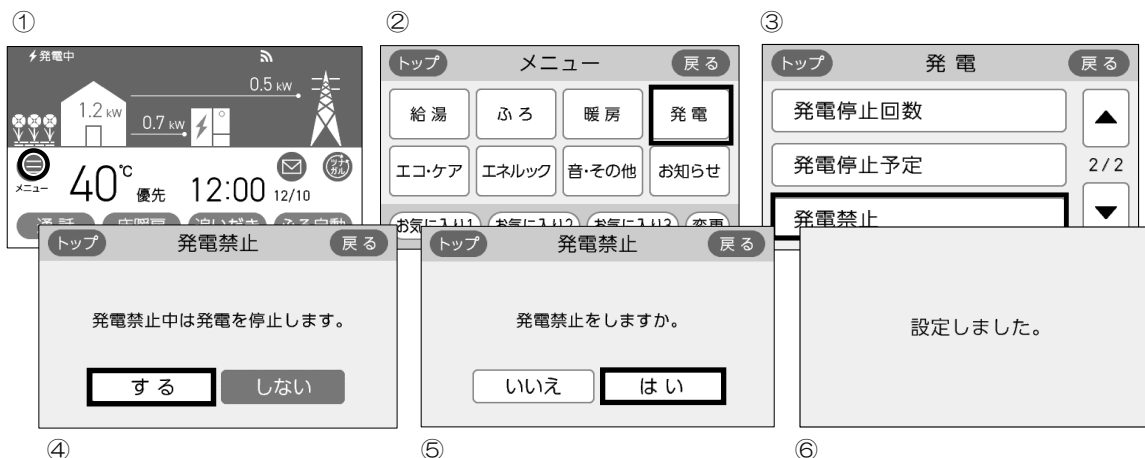
発電を止める

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約3～5時間行ってから停止します。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）停止動作中に起動操作を行った場合、停止動作完了後に起動します。

※お客さまの手動操作により、頻繁に起動操作・停止操作（発電禁止・不在停止）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、停止操作のご使用は10回/年までを目安とし、不在停止操作は10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 発電禁止を設定する（機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させる）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
- ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
- ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
- ④ 発電禁止画面より[する]をタッチします。
- ⑤ 発電禁止画面より[はい]をタッチします。
- ⑥ [設定しました。]と表示後、④の画面に戻ります。



■ 不在停止を設定する（10日以上家をあけるときのなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止させる）

※ 1か月以上長期不在にするときは、不在停止ではなく、発電禁止操作と水抜きを実施してください。51ページを参照してください。

※ 凍結のおそれがある場合に主幹ブレーカをOFFにするときは、事前に水抜きを実施してください。51ページを参照してください。

※ 10日以上リモコン操作・お湯・熱源機による暖房の使用がない場合は自動的に不在停止が[する]になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

① トップ画面より[メニュー]をタッチします。

② メニュー画面より[発電]をタッチします。

③ 発電画面より[不在停止]をタッチします。

④ 不在停止画面より[する]をタッチします。

⑤ 不在停止画面より[はい]をタッチします。

⑥ 液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが消灯します。



※ リモコンの「ON/OFF」スイッチのON操作、または熱源機による暖房を行うと不在停止は解除されます。なお、不在停止処理をしてから5時間経過後は、リモコンの液晶画面へのタッチでも不在停止は解除されます。

停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

停電時発電継続機能の概要

■ 発電ユニットが発電中に停電した場合は、停電時発電継続機能により発電を継続します

発電した電気と熱源機のお湯をご使用いただけます。

■ 停電時発電継続中に使用できる電気の量は最大約700Wです

※ 熱源機で使用する電気の量も含まれますので、停電時専用コンセントからご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。

■ 停電時発電継続中は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます

停電時専用コンセントには「エネファーム 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。

※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧すると同時に停電時専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

■ 台風の接近などで停電のおそれがある場合は以下の操作を行うことで、停電時でも発電を継続させることができます

ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために発電ユニットは定期的に停止します。

（詳細は、「27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」（17ページ）をご参照ください。）

停電開始が予想される日に発電ユニットが停止していることを避けるため、停電予想日の2～25日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。

2日前を過ぎて停止させると、停電時に発電できません。

（1）リモコンで発電停止予定日までの日数を確認してください。予想される停電開始日が、次回発電停止予定日とその1日後（発電停止予定が10日後の場合、10日後と11日後）に該当する場合は（2）以降を実施してください。該当しない場合は必要ありません。

- ① トップ画面より「メニュー」をタッチします。
- ② メニュー画面より「発電」をタッチします。
- ③ 発電画面より「発電停止予定」をタッチします。
- ④ 発電停止予定までの日数が表示されます。



- （2）上記（1）の確認で、予想される停電開始日が該当する場合は、リモコン操作にて「発電禁止」操作（20ページ参照）で発電ユニットを停止させてください。発電ユニット停止には約3～5時間が必要で、リモコンの⚡が消灯したら停止完了です。その後、連続で24時間以上停止させ、その間に全てのガス機器（給湯・暖房など）を連続で70分以上停止させてください。
- （3）連続24時間以上経過後に発電停止予定の日数が26日後になっていることを確認し、遅くとも停電予想の5時間前までには「発電禁止を解除し発電をする」（19ページ参照）の操作を実施してください。

停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

■お知らせ

- ◆ 停電時発電継続中は発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出たり、運転音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- ◆ 以下の場合、使用できる電気の量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・ 断水状態（ご家庭への給水が停止している状態）
※ 断水中は、お湯（水）を使用しないでください。断水中にお湯（水）を使用すると、リモコンに「82F01」等を表示し、発電を継続できなくなる場合があります。運転が停止した場合は、エラー発生時の処置方法（63ページ）を参照してください。
 - ・ 停電時専用コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・ 発電ユニットの蓄熱量が多い場合
- ◆ 熱源機の電源が入っていない状態であっても給湯栓を開けた際に、約20～30℃の温水が出る場合があります。
- ◆ 外気温が高く発電ユニット内水温が高い場合は、停電時発電継続を停止する場合があります。

主な電気製品の消費電力

停電時発電継続機能をご使用される前に、「安全のため必ず守ってください」（4～10ページ参照）をお読みいただき、安全にご使用ください。

- ・ 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- ・ 電気製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。
- ・ 停電が復旧すると、停電時専用コンセントからの電気の供給は止まります。継続して使用される場合は、通常のコンセントに接続し直してください。
- ・ 停電時発電継続開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電気製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電気製品を接続してください。

製品名	消費電力の目安（W）	製品名	消費電力の目安（W）
携帯電話（充電時）	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒーター	30
扇風機	40	ノートPC	50
液晶テレビ（42型）※1	85	冷蔵庫 ※2	200
熱源機の暖房運転 ※3	180	熱源機の凍結防止運転 ※3	250
熱源機の給湯運転 ※3	100		

※1 テレビをご覧になる場合は、電波の受信に関する機器への電力の供給が必要です。

消費電力の目安には、それら機器の消費電力は含まれていません。

※2 機種によっては使用できないことがあります。

※3 使用されている熱源機の消費電力は、リモコンもしくは熱源機の取扱説明書でご確認ください。

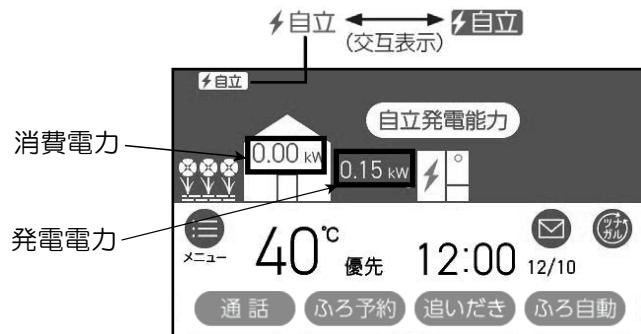
停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

停電発生時の対応

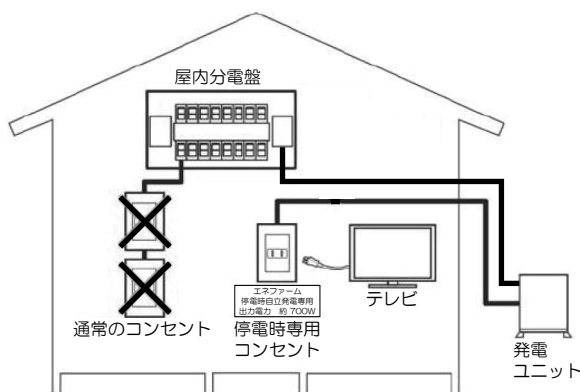
※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

① [自立]の文字部が反転点滅表示され、発電電力が表示されていることを確認する

- ・ 停電してから約90秒後に、自動的にリモコンの液晶画面が表示されます。
- ・ 消費電力が大きい機器をつなぐ場合は、高出力設定（25ページ参照）に切り替えご使用ください。また、発電ユニットの状態によっては、最大出力が制限される場合があります。
- ・ お客様の電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。（最大約10分間）



② 電気製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む



- ・ 停電時は停電時専用コンセントしか使うことができません。また、停電時専用コンセントは、停電時にしか使用できません。
- ・ リモコンの表示で発電電力と消費電力を確認しながら停電時専用コンセントに使用したい電気製品を一つずつ接続してください。
- ・ 消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）は、停電時専用コンセントからの電気の供給が一時停止します。約90秒～10分経過後、自動的に電気の供給を再開します。過負荷防止のため、停止中に接続していた電気製品をコンセントから取り外してください。
- ・ 過負荷2回目以降は、一時停止した後の自動再開はしません。リモコン表示内容に従ってリモコン操作をしてください。
- ・ 接続した電気製品の消費電力が発電量を上回らないよう、運転状態をこまめに確認してください。

③ 浴槽の排水栓を抜く（自動排湯（24ページ参照）をすることがあります）

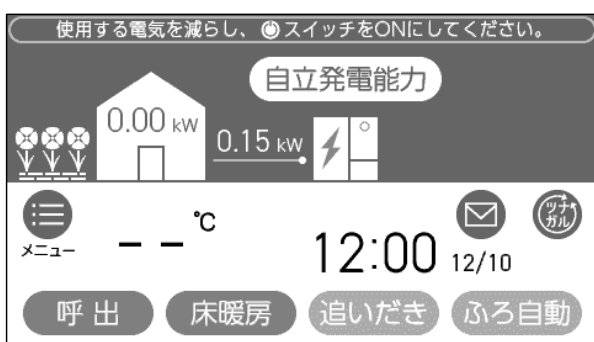
お願い

停電時発電継続中は浴槽の排水栓を抜く

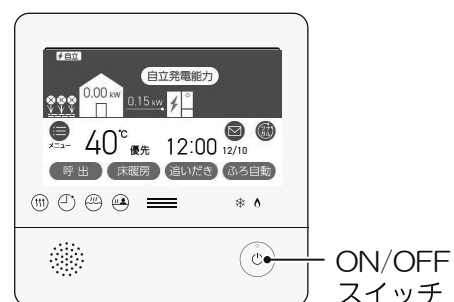
停電時発電継続中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。

過負荷2回目以降の復帰操作

① リモコンのメッセージを確認する。



② 「ON/OFF」スイッチをONする。



停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

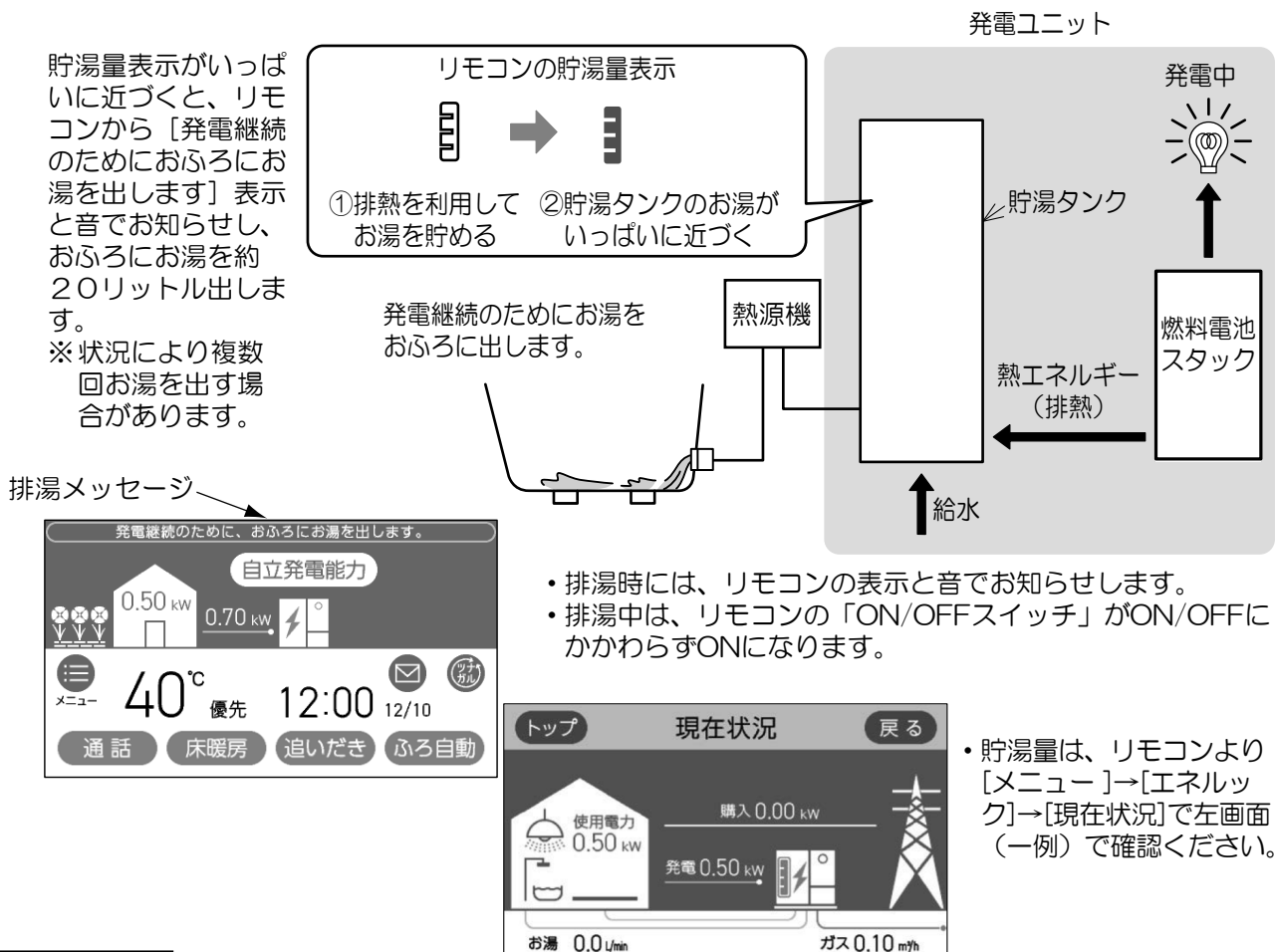
お願い

停電時発電継続中は浴槽の排水栓を抜く

停電時発電継続中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。

■自動排湯について

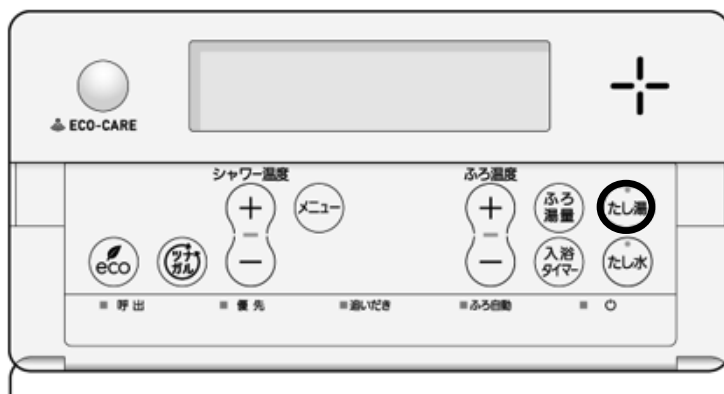
停電時発電継続中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。
* 排湯機能とは・・・貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。



■お知らせ

- ◆ お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ◆ 停電時発電継続中の自動排湯動作中に排湯を中止したい場合は、下記リモコン操作を行ってください。ただし発電を続けるために一定時間後に、繰り返し排湯を行うことがあります。

・浴室リモコンの「たし湯」ボタンを押す。



停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

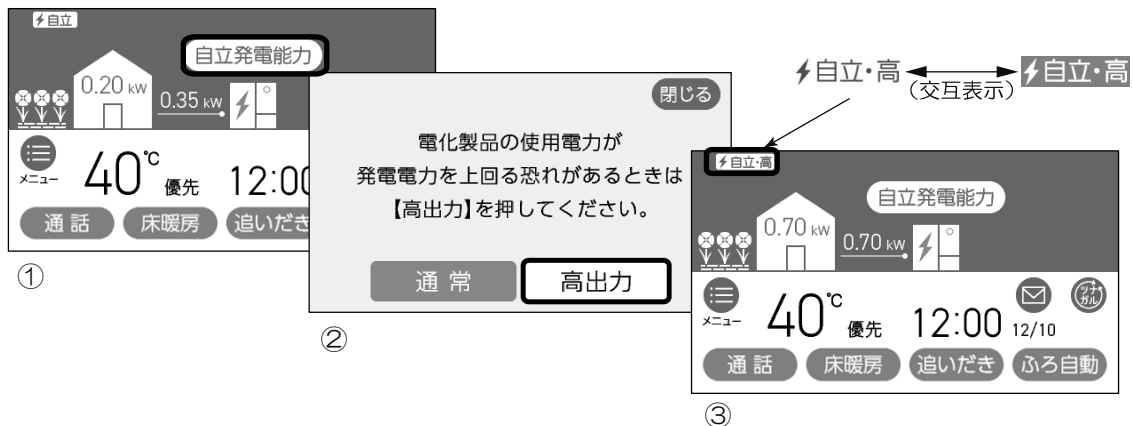
発電出力を上げる場合

■高出力設定にする場合

停電時発電継続中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと停電時発電出力を700Wよりも下げる場合があります。消費電力の大きい（ただし合計しても700Wをこえない）電気製品を使用されるときは下記手順で高出力設定に切り替えてください。

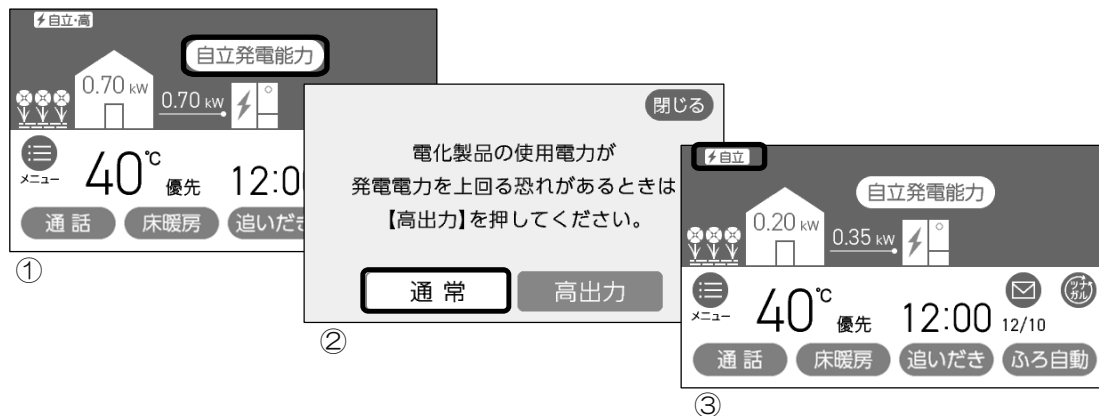
※ 発電出力が低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

- ① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[自立発電能力]をタッチする。
（[自立発電能力]表示は、高出力発電が可能となきのみ表示されます。）
- ② 自立発電能力画面で[高出力]をタッチする。
- ③ トップ画面の左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



■高出力設定を通常に戻す場合

- ① トップ画面より、[自立発電能力]をタッチする。
- ② 自立発電能力画面で[通常]をタッチする。
- ③ トップ画面の左上部の文字が、[自立]に変わります。



※ 消費電力が少ない状態が続いた場合（約5分）、自動的に通常設定に戻ります。

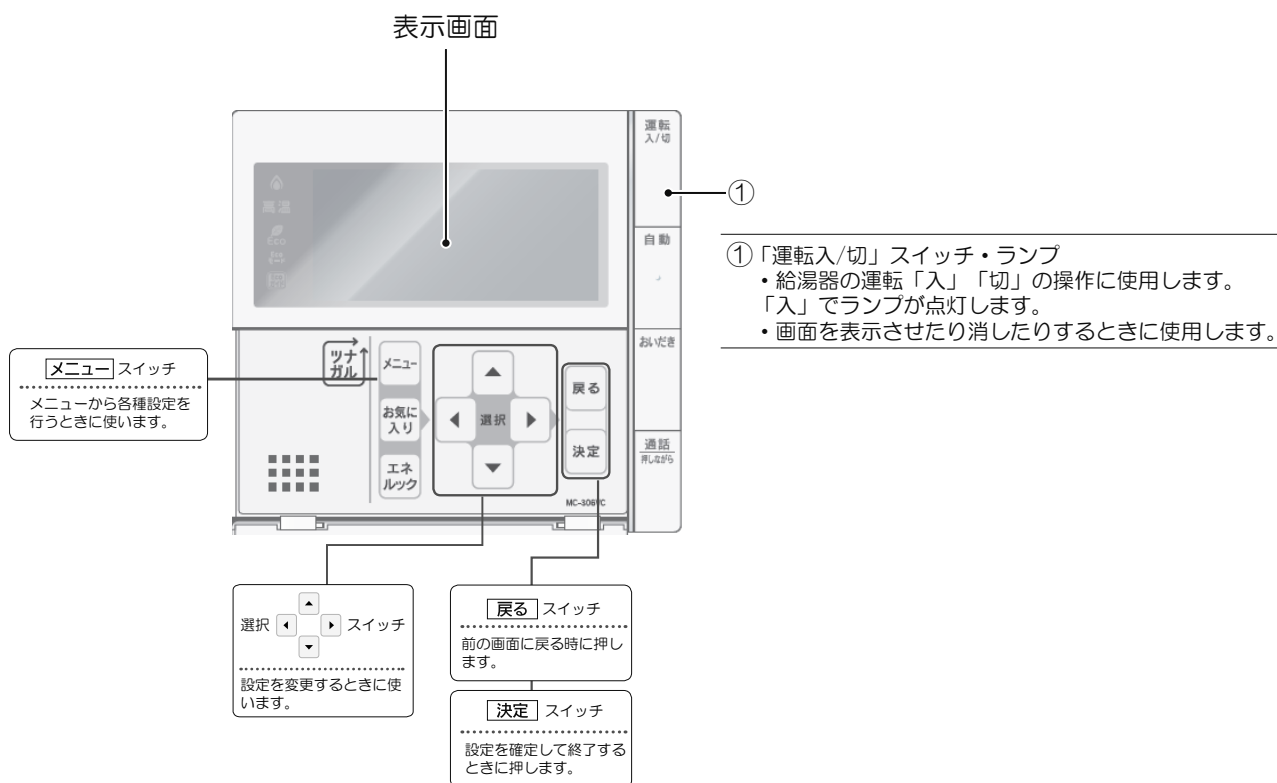
停電時にお湯を使う（停電時発電継続仕様のみ）

- ① リモコンのトップ画面で、左上部の文字が[自立]表示の反転点滅表示になっていることを確認してください。
- ② リモコンの消費電力表示から、熱源機が起動しても過負荷にならないことを確認してください。
発電に余力がない場合は、高出力設定（上記参照）にする、または他の電気製品を止めてください。
- ③ 給湯栓を開けてください。熱源機からのお湯を使用することができます。

リモコンについて

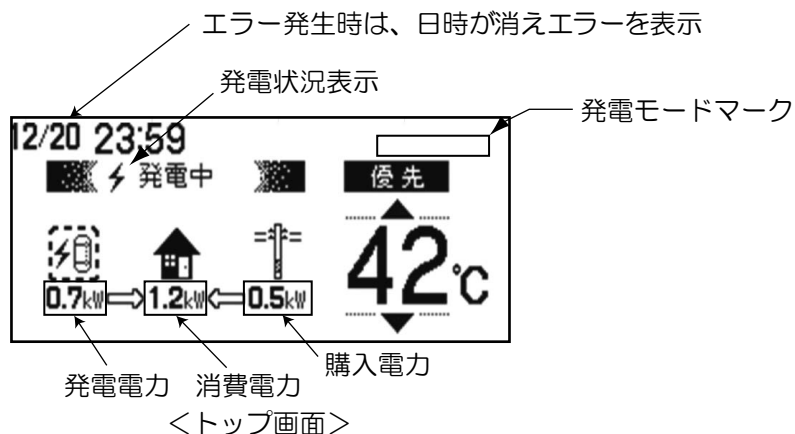
ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について台所リモコンで説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

■各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



※説明中のリモコン表示画面は一例です。
実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンについて



■ 発電状況表示の見かた

現在の発電状態や、発電の設定を表示します。

	発電しています。
	起動中(発電準備中)です。
	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

表示		状態
発電中		発電しています。
起動中		起動中(発電準備中)です。
停止中		発電停止の動作中です。
(表示なし)		発電ユニットは停止しています。
発電禁止		発電を強制的に禁止しています。
発電×		発電ユニットが使用できない場合に表示します。
出力抑制		機器保護のため、発電ユニットの出力を抑えています。
逆潮流の場合	電圧抑制※	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
仕様の場合 停電時発電継続	自立 ↔ 自立 (交互表示)	停電時発電継続しています。
	自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力設定(37ページ)で停電時発電継続しています。

※: 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

■ 発電モードマークの見かた

	タンクリフレッシュ運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
	ガスマイコンメーター確認マーク	ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。 ・この表示が出ている間(24時間以上)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 ・この表示が出た場合、午後4時から翌日午後1時までの間に全てのガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分間以上ご使用を停止してください。 ※連続で70分間以上停止いただけなかった場合は、リモコン上に「ガスマイコンメーター確認マーク」に加えて[01900]を表示し、停止を継続します。この場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(61ページ)を参照し、処置を行ってください。
	凍結防止マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。

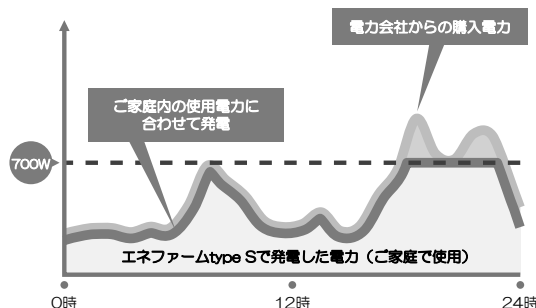
発電について

- ・発電ユニットは、運転開始から発電に至るまでに約4～5時間、発電を停止してから装置が停止するまでに約3～5時間かかります。（いずれの時間も気温により変化します。）
- ・発電ユニットは、27日サイクルで24時間連続発電しますが、発電パターンは「消費電力追従運転」と「逆潮流あり運転」の2パターンあります。

■ 1日の運転イメージ例（実際の運転はご家庭ごとに異なります）

●消費電力追従運転

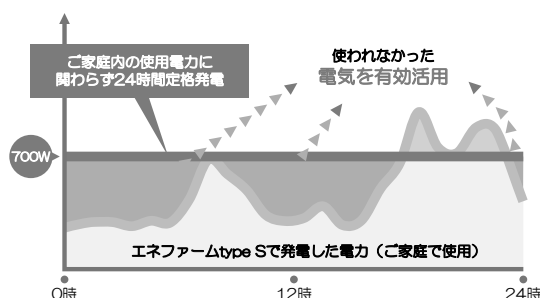
家庭の電力需要に合わせて自動的に50W～700Wの範囲で発電し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。



●逆潮流あり運転

家庭の電力需要に関係なく、定格出力（最大700W）で発電し、余剰となった電力は、東邦ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを実施する事業者さまが買い取ります。

※逆潮流あり運転は、ご購入時などにお客さまに選択していただき施工業者が設定いたします。



■ 27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）

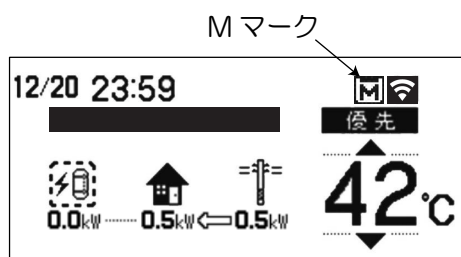
ガスマイコンメーターには、30日以上連続してガスが流れ続けた場合、ガス漏れの疑いがあると判断し、警報ランプが点滅する機能があります。発電ユニットが発電し続けると、この機能によりガスマイコンメーターがガス漏れと誤判断し、警報ランプが点滅してしまいます。誤判断を防止し、この機能を正常に動作させるために、発電ユニットが26日間連続して運転した場合、27日目に24時間以上停止する仕組みとなっています。その停止期間中はリモコンにMマークが表示されます。（24時間以上停止した後、発電ユニットは自動で運転を再開します。）

ガスマイコンメーターの警報ランプの点滅を発見された場合は、東邦ガスに連絡してください。



連続で70分間、ガスの使用を停止してください

※停止予定日までに24時間以上の停止があった場合は、サイクルはリセットされて運転再開時がサイクルのスタートとなります。



発電について

発電ユニットが自動停止する場合

下記の場合は、「27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」に関係なく発電が停止します。

■ 不在停止機能が作動したとき

リモコンの操作または、お湯・暖房が連続して10日以上使用されなかったときは、自動的に不在と判断して発電を中止し、発電ユニットを停止させます。

■ 機器保護運転停止をしているとき

夏季に外気温度が高いときや発電ユニットの周囲に熱が滞留しているときに、電気使用・お湯使用が少ないと、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

■ 故障診断をしているとき

リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。（最長で約10～12時間停止した後に自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。表示は運転再開後、約4～5時間後に消えます。）

発電ユニットが発電出力を下げる場合

下記の場合は、発電パターン（消費電力追従・逆潮流あり）に関係なく発電出力を下げます。

■ 機器保護運転をしているとき

- ・夏季に外気温度が高いときや発電ユニットの周囲に熱が滞留しているときに、電気使用・お湯使用が少ないと、機器保護のため発電出力を自動的に下げ、リモコンに発電モードマーク[出力抑制]を表示する場合があります。
- ・低出力から急に高出力に切り替わったときは、発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ・発電ユニットの内部センサの補正動作のため、稀に発電出力を数分間OWに下げる場合があります。

■ 経年劣化したとき

- ・ご使用による経年劣化により、ある程度の発電出力が低下します。

■ その他

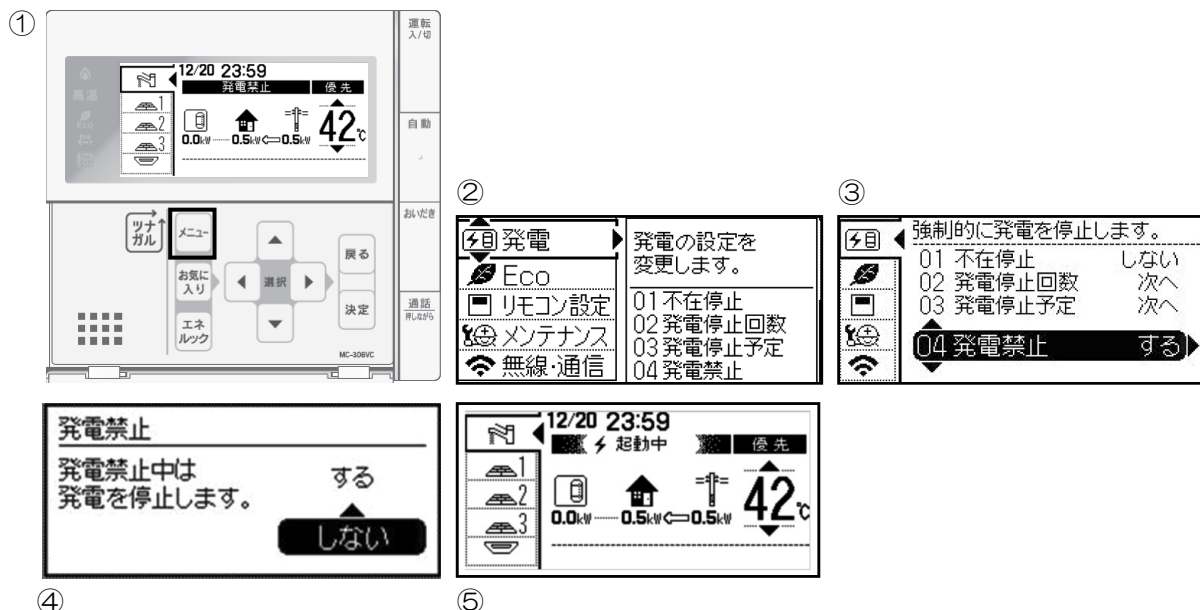
- ・自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限値を超えないように、リモコンの左上に[電圧抑制]を表示して発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。
- ・ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。

発電をする

※ 停止動作中に発電操作を行った場合は、停止動作完了後に起動します。
起動には約4～5時間かかります。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）

■ 発電禁止を解除し発電をする（発電禁止（31ページ）で停止させた場合）

- ①「メニュー」ボタンを押します。
 - ②▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押します。
 - ③▲または▼で[発電禁止]を選択し▶または「決定」を押します。
 - ④▼を押し、「しない」を選択して「決定」を押します。
 - ⑤トップ画面の発電状況表示部が[起動中]に変わり、発電ユニットが起動をはじめます。
- ※ 発電ユニットが停止動作完了後でなかった場合は、表示は[停止中]と表示します。この場合は停止動作完了後に[起動中]に切り替わります。

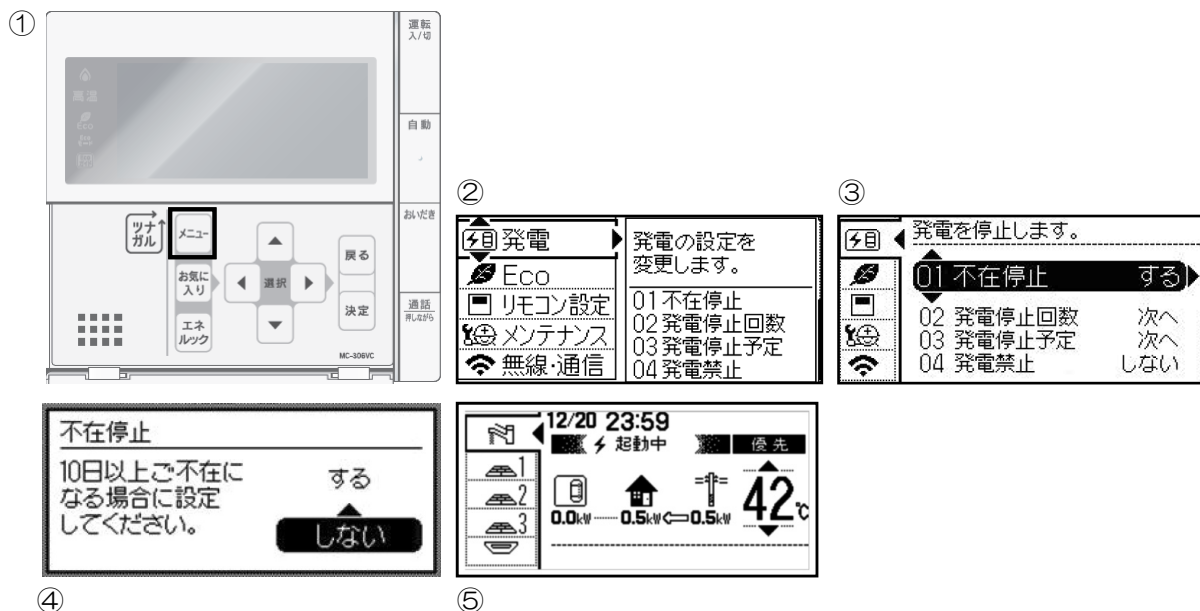


■ 不在停止を解除し発電をする（不在停止（32ページ）で停止させた場合）

リモコンの「入/切」スイッチの「入」操作をする。

※ 以下の方法でも発電を再開できます。

- ・ 不在停止設定後5時間以上経過している場合は、リモコンのボタン（全てのボタンに対応）を押します。（3分後に発電ユニットが起動をはじめます。）
 - ・ 熱源機による暖房を行う。
 - ・ 不在停止設定後5時間未満の場合は、メニューボタンから再開操作をする。
- ①「メニュー」ボタンを押します。
 - ②▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押します。
 - ③▲または▼で[不在停止]を選択し▶または「決定」を押します。
 - ④▼を押し、「しない」を選択して「決定」を押します。
 - ⑤トップ画面の発電状況表示部が[起動中] となって点滅し、発電ユニットが起動をはじめます。



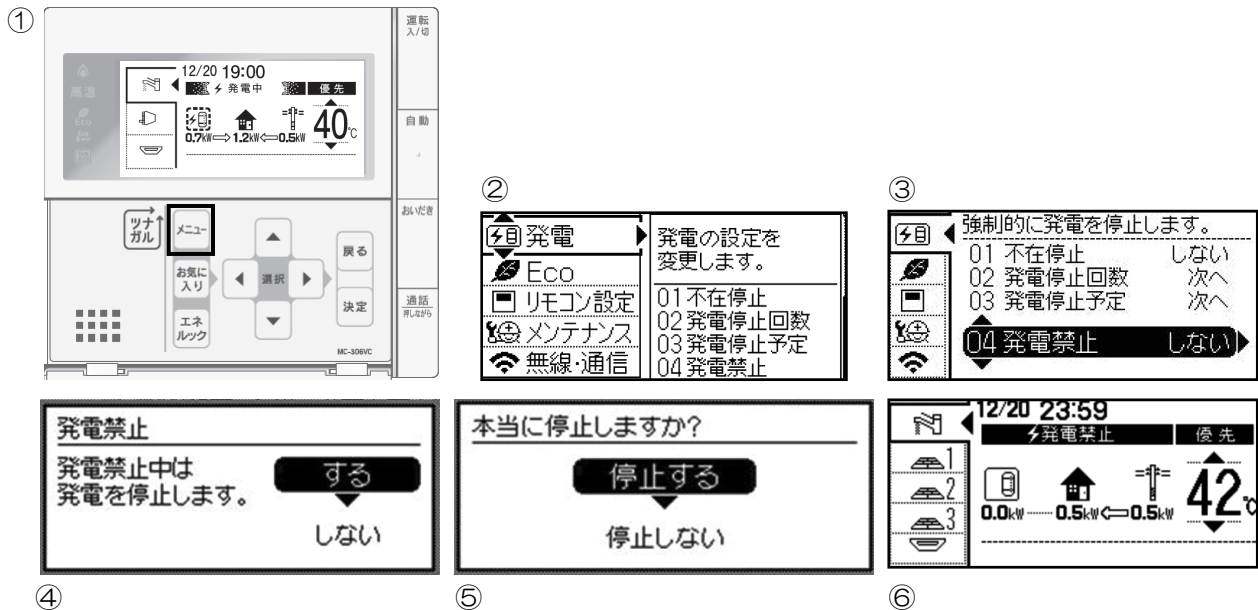
発電を止める

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約3～5時間行ってから停止します。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）停止動作中に起動操作を行った場合、停止動作完了後に起動します。

※お客さまの手動操作により、頻繁に起動操作・停止操作（発電禁止・不在停止）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、停止操作のご使用は10回/年までを目安とし、不在停止操作は10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 発電禁止を設定する（機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させる）

- ①「メニュー」ボタンを押します。
- ②▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押します。
- ③▲または▼で[発電禁止]を選択し▶または「決定」を押します。
- ④▲を押し、「する」を選択して「決定」を押します。
- ⑤▲を押し、「停止する」を選択して「決定」を押します。
- ⑥リモコントップ画面に[発電禁止]と表示され、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。



発電を止める

■ 不在停止を設定する（10日以上家をあけるときのなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止させる）

※ 1か月以上長期不在にするときは、不在停止ではなく、発電禁止操作と水抜きを実施してください。

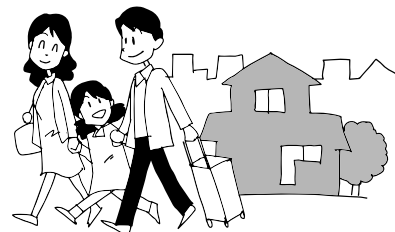
51ページを参照してください。

※ 凍結のおそれがある場合に主幹ブレーカをOFFにするときは、事前に水抜きを実施してください。

51ページを参照してください。

※ 10日以上リモコン操作・お湯・熱源機による暖房の使用がない場合は自動的に不在停止が[する]になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。



① 「メニュー」ボタンを押します。

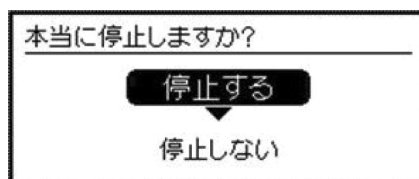
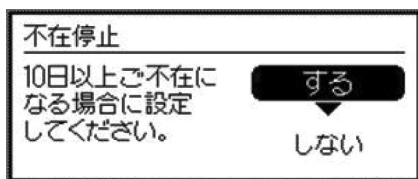
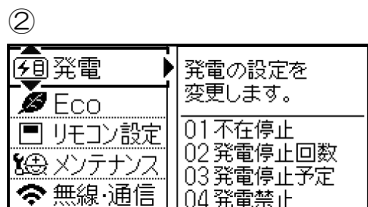
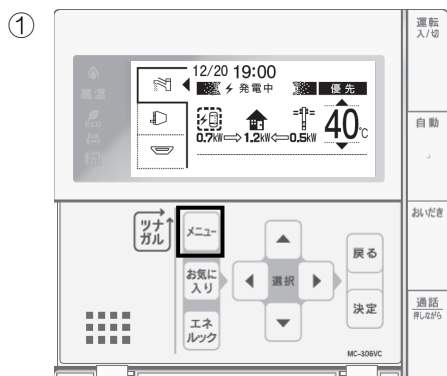
② ▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押します。

③ ▲または▼で[不在停止]を選択し▶または「決定」を押します。

④ ▲を押し、「する」を選択して「決定」を押します。

⑤ ▲を押し、「停止する」を選択して「決定」を押します。

⑥ 液晶画面が消え、「運転入/切」スイッチのランプが消灯します。



※ リモコンの「ON/OFF」スイッチのON操作、または熱源機による暖房を行うと不在停止は解除されます。
 なお、不在停止処理をしてから5時間経過後は、リモコンの液晶画面へのタッチでも不在停止は解除されます。

停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

停電時発電継続機能の概要

■ 発電ユニットが発電中に停電した場合は、停電時発電継続機能により発電を継続します

発電した電気と熱源機のお湯をご使用いただけます。

■ 停電時発電継続中に使用できる電気の量は最大約700Wです

※ 熱源機で使用する電気の量も含まれますので、停電時専用コンセントからご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。

■ 停電時発電継続中は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます

停電時専用コンセントには「エネファーム 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。

※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧すると同時に停電時専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

■ 台風の接近などで停電のおそれがある場合は以下の操作を行うことで、停電時でも発電を継続させることができます

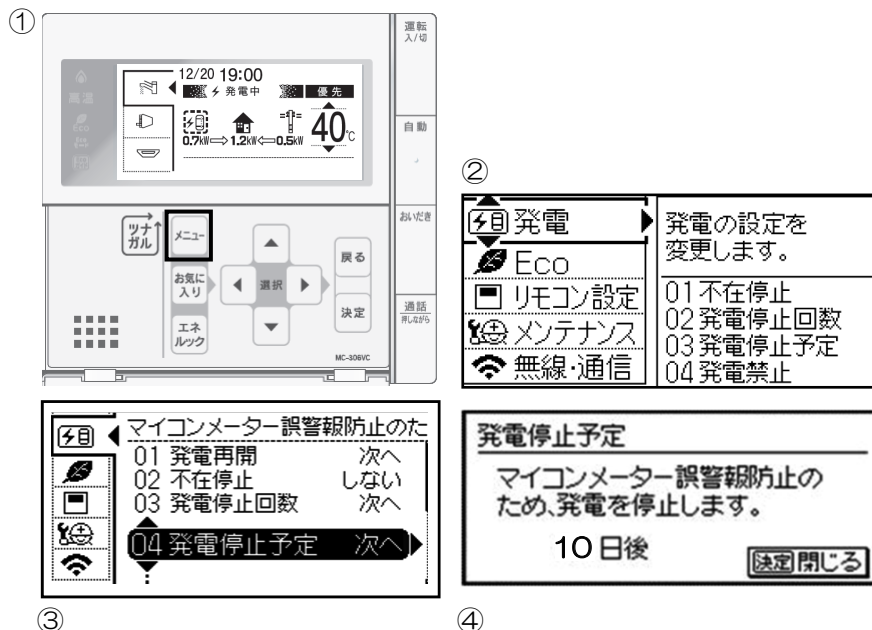
ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために発電ユニットは定期的に停止します。（詳細は、「27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」（28ページ）をご参照ください。）

停電開始が予想される日に発電ユニットが停止していることを避けるため、停電予想日の2～25日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。

2日前を過ぎて停止させると、停電時に発電できません。

- （1）リモコンで発電停止予定日までの日数を確認してください。予想される停電開始日が、次回発電停止予定日とその1日後（発電停止予定が10日後の場合、10日後と11日後）に該当する場合は（2）以降を実施してください。該当しない場合は必要ありません。

- ・「メニュー」[発電]を選択して[発電停止予定]を選択して日数を確認してください。



- （2）上記（1）の確認で、予想される停電開始日が該当する場合は、リモコン操作にて「発電禁止」操作（31ページ参照）で発電ユニットを停止させてください。発電ユニット停止には約3～5時間が必要で、リモコンの⚡が消灯したら停止完了です。その後、連続で24時間以上停止させ、その間に全てのガス機器（給湯・暖房など）を連続で70分以上停止させてください。
- （3）連続24時間以上経過後に発電停止予定の日数が26日後になっていることを確認し、遅くとも停電予想の5時間前までには「発電禁止から発電をする」（30ページ参照）の操作を実施してください。

停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

■お知らせ

- ◆ 停電時発電継続中は発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出たり、運転音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- ◆ 以下の場合、使用できる電気の量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・ 断水状態（ご家庭への給水が停止している状態）
 - ※ 断水中は、お湯（水）を使用しないでください。断水中にお湯（水）を使用すると、リモコンに「82F01」等を表示し、発電を継続できなくなる場合があります。運転が停止した場合は、エラー発生時の処置方法（63ページ）を参照してください。
 - ・ 停電時専用コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・ 発電ユニットの蓄熱量が多い場合
- ◆ 熱源機の電源が入っていない状態であっても給湯栓を開けた際に、約20～30℃の温水が出る場合があります。
- ◆ 外気温が高く発電ユニット内水温が高い場合は、停電時発電継続を停止する場合があります。

主な電気製品の消費電力

停電時発電継続機能をご使用される前に、「安全のために必ず守ってください」（4～10ページ参照）をお読みいただき、安全にご使用ください。

- ・ 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- ・ 電気製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。
- ・ 停電が復旧すると、停電時専用コンセントからの電気の供給は止まります。継続して使用される場合は、通常のコンセントに接続し直してください。
- ・ 停電時発電継続開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電気製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電気製品を接続してください。

製品名	消費電力の目安（W）	製品名	消費電力の目安（W）
携帯電話（充電時）	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒーター	30
扇風機	40	ノートPC	50
液晶テレビ（42型）※1	85	冷蔵庫※2	200
熱源機の暖房運転 ※3	180	熱源機の凍結防止運転 ※3	250
熱源機の給湯運転 ※3	100		

※1 テレビをご覧になる場合は、電波の受信に関する機器への電力の供給が必要です。

消費電力の目安には、それら機器の消費電力は含まれていません。

※2 機種によっては使用できないことがあります。

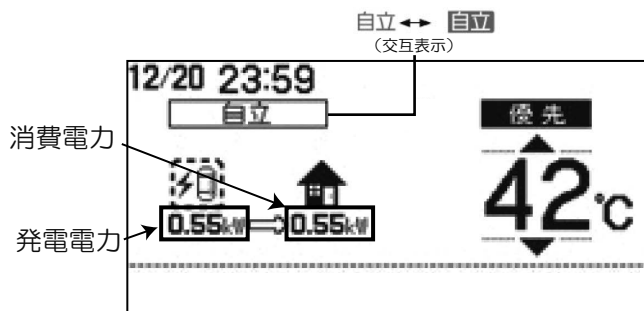
※3 使用されている熱源機の消費電力は、リモコンもしくは熱源機の取扱説明書でご確認ください。

停電時に電気を使う (停電時発電継続仕様のみ)

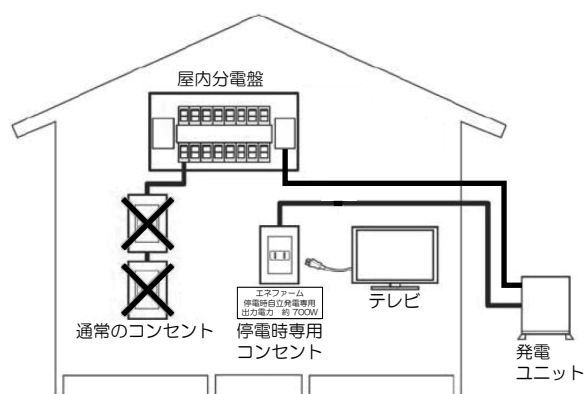
停電発生時の対応

※災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

- ① [自立]の文字部が反転点滅表示され、発電電力が表示されていることを確認する
- ・ 停電してから約90秒後に、自動的にリモコンの液晶画面が表示されます。
 - ・ 消費電力が大きい機器をつなぐ場合は、高出力設定（37ページ参照）に切り替えご使用ください。また、発電ユニットの状態によっては、最大出力が制限される場合があります。
 - ・ お客様の電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。（最大約10分間）



- ②電気製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む



- ・停電時は停電時専用コンセントしか使うことができません。また、停電時専用コンセントは、停電時にしか使用できません。
- ・リモコンの表示で発電電力と消費電力を確認しながら停電時専用コンセントに使用したい電気製品を一つずつ接続してください。
- ・消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）は、停電時専用コンセントからの電気の供給が一時停止します。約90秒～10分経過後、自動的に電気の供給を再開します。過負荷防止のため、停止中に接続していた電気製品をコンセントから取り外してください。
- ・過負荷2回目以降は、一時停止した後の自動再開はしません。リモコン表示内容に従ってリモコン操作をしてください。
- ・接続した電気製品の消費電力が発電量を上回らないよう、運転状態をこまめに確認してください。

- ③ 浴槽の排水栓を抜く（自動排湯（24ページ参照）をすることがあります）

お願い

停電時発電継続中は浴槽の排水栓を抜く

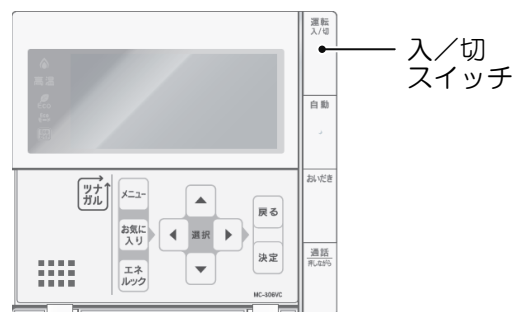
停電時発電機継続中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。

過負荷2回目以降の復帰操作

- ① リモコンのメッセージを確認する



- ② 「入/切」スイッチを入にする。



停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

お願い

停電時発電継続中は浴槽の排水栓を抜く

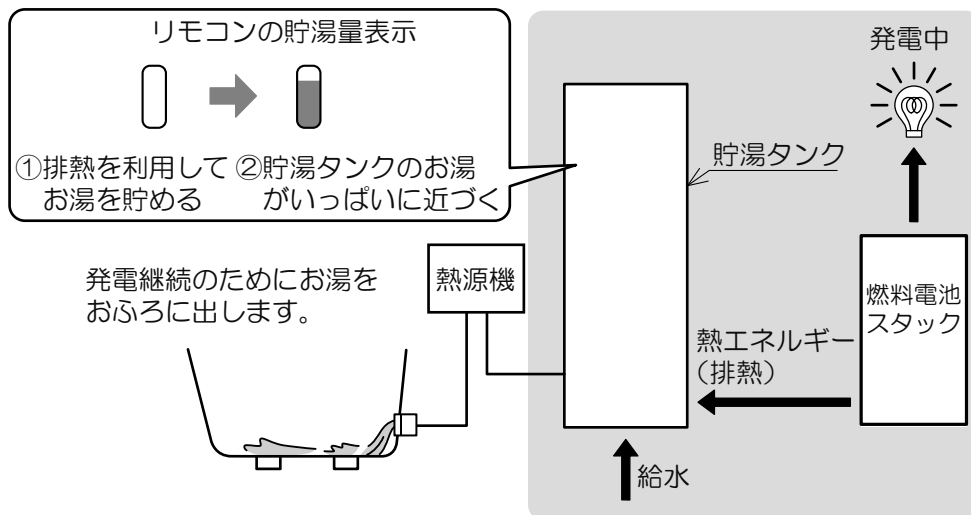
停電時発電継続中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。

■自動排湯について

停電時発電継続中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

* 排湯機能とは・・・貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。

貯湯量表示がいっぱいに近づく、リモコンから「発電継続のためにお風呂にお湯を出します」表示と音でお知らせし、お風呂にお湯を約20リットル出します。
※状況により複数回お湯を出す場合があります。

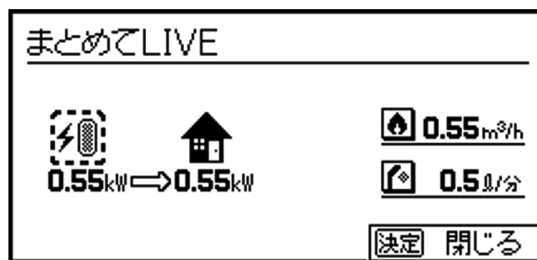


・排湯時には、リモコンの表示と音でお知らせします。



排湯メッセージ

・貯湯量は、リモコンより「エネルギー」ボタン→「まとめてLIVE」を選択し、左画面（一例）で確認ください。



■お知らせ

- ◆お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ◆停電時発電継続中の自動排湯動作中に排湯を中止したい場合は、下記リモコン操作を行ってください。ただし発電を続けるために一定時間後に、繰り返し排湯を行うことがあります。
 - ・浴室リモコンの「たし湯」ボタンを押す。



停電時に電気を使う (停電時発電継続仕様のみ)

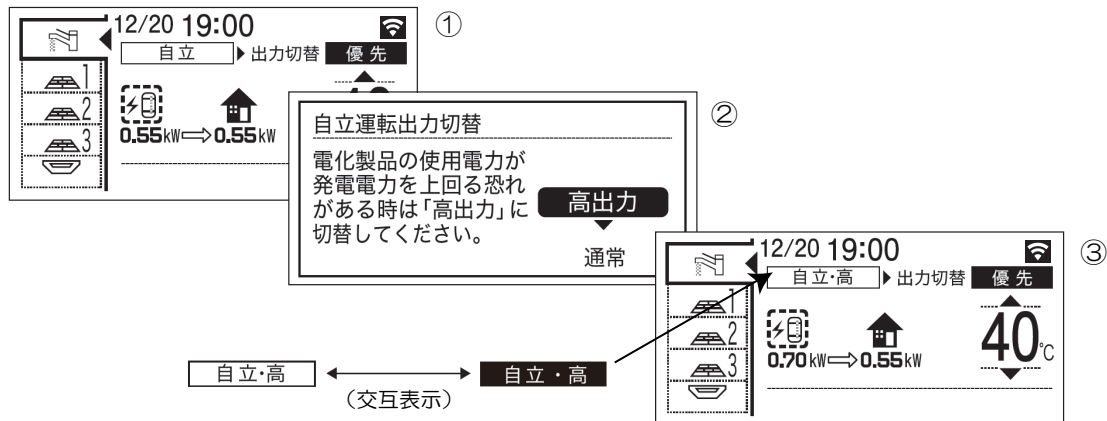
発電出力を上げる場合

■高出力設定にする場合

停電時発電継続中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと停電時発電出力を700Wよりも下げる場合があります。消費電力の大きい（ただし合計しても700Wをこえない）電気製品を使用されるときは下記手順で高出力設定に切り替えてください。

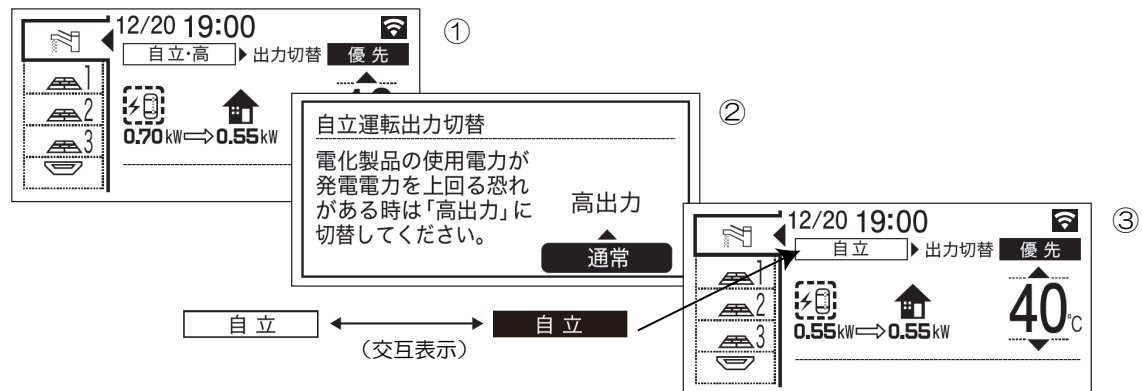
※ 発電出力が低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

- ① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は▶を押します。
（[出力切替]表示は、高出力発電が可能となきのみ表示されます。）
- ② 自立運転出力切替画面で▲を押し[高出力]を選択して「決定」を押します。
- ③ トップ画面の左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



■高出力設定を通常に戻す場合

- ① トップ画面より、▶を押します。
- ② 自立運転出力切替画面で▼を押し[通常]を選択して「決定」を押します。
- ③ トップ画面の左上部の文字が、[自立]に変わります。



※ 消費電力が少ない状態が続いた場合（約5分）、自動的に通常設定に戻ります。その場合は右画面が表示されます。

高出力モードが解除されました。
通常出力モードに切り替わります。

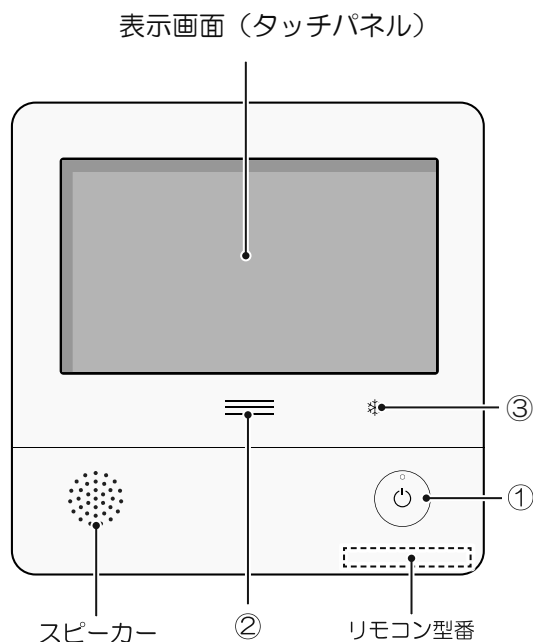
停電時にお湯を使う (停電時発電継続仕様のみ)

- ① リモコンのトップ画面で、左上部の文字が[自立]表示の反転点滅表示になっていることを確認してください。
- ② リモコンの消費電力表示から、熱源機が起動しても過負荷にならないことを確認してください。
発電に余力がない場合は、高出力設定（上記参照）にする、または他の電気製品を止めてください。
- ③ 給湯栓を開けてください。熱源機からのお湯を使用することができます。

リモコンについて

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能については発電リモコンの取扱説明書を参照してください。

■各部のなまえとはたらき（発電リモコン）



- ①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
- 画面を表示させたり消したりするときに使用します。
 - 画面を表示するとランプ点灯します。
 - 不在停止中はランプ点滅します。

- ② 発電ランプ
- 発電ユニットで発電中に点灯します。
 - 現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い	
↑	
1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)
	購入電力が増えています 節電してください。
0.7kW	青色
	使用電力が少し増えて います。
↓	緑色
少ない	発電ユニットの発電内で 上手に使用されています。

- 逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

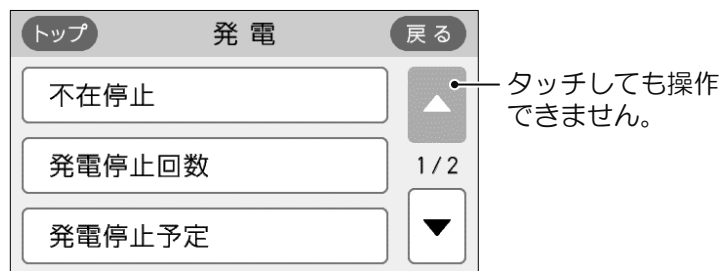
オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

- ③ 凍結予防運転中マーク
- 凍結予防のために発電ユニットのヒーターが作動しているときに点灯します。

■表示画面（タッチパネル）の操作の基本

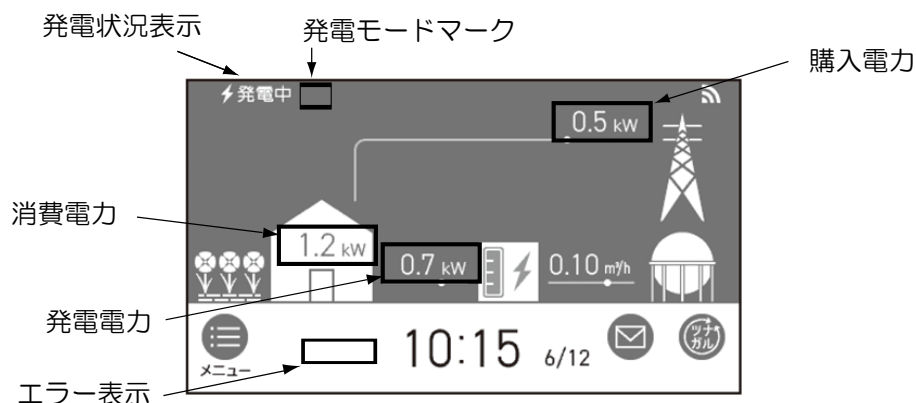
- このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度力で確実にタッチしてください。
- 「ON/OFF」スイッチや画面を押さないまま約10分（初期設定時間）経つと表示が消えます。

表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作できません。



※説明中のリモコン表示画面は一例です。
実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンについて



<トップ画面>

■発電状況表示の見かた

現在の発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中	
⚡ (点灯)	発電しています。
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

表示		状態
発電中		発電しています。
起動中		起動中(発電準備中)です。
停止中		発電停止の動作中です。
(表示なし)		発電ユニットは停止しています。
発電禁止		発電を強制的に禁止しています。
発電×		発電ユニットが使用できない場合に表示します。
出力抑制		機器の保護のため、発電ユニットの出力を抑えています。
不在停止		発電を停止しています。
逆潮流の場合	電圧抑制※	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
仕様の場合 停電時発電継続	⚡ 自立 ↔ ⚡ 自立 (交互表示)	停電時発電継続しています。
	⚡ 自立・高 ↔ ⚡ 自立・高 (交互表示)	高出力設定(47 ページ)で停電時発電継続しています。

※: 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

■発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
Ⓜ 発電中	ガスマイコンメーター 確認マーク	- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。 - この表示が出ている間(24時間以上)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 - この表示が出た場合、午後4時から翌日午後1時までの間に全てのガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分以上ご使用を停止してください。
Ⓜ 自立		
Ⓜ のみ		※連続で70分以上停止いただけなかった場合は、ガスマイコンメーターがガス漏れと誤警報(ガスマイコンメーター本体のランプが点滅)する場合があります。

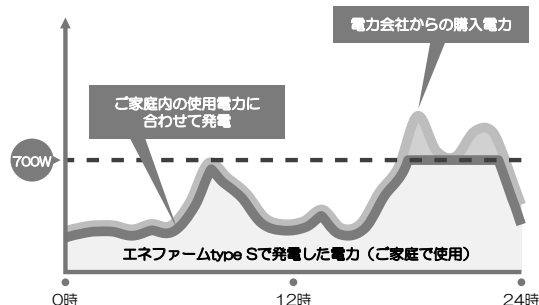
発電について

- ・発電ユニットは、運転開始から発電に至るまでに約4～5時間、発電を停止してから装置が停止するまでに約3～5時間かかります。（いずれの時間も気温により変化します。）
- ・発電ユニットは、27日サイクルで24時間連続発電しますが、発電パターンは「消費電力追従運転」と「逆潮流あり運転」の2パターンあります。

■ 1日の運転イメージ例（実際の運転はご家庭ごとに異なります）

●消費電力追従運転

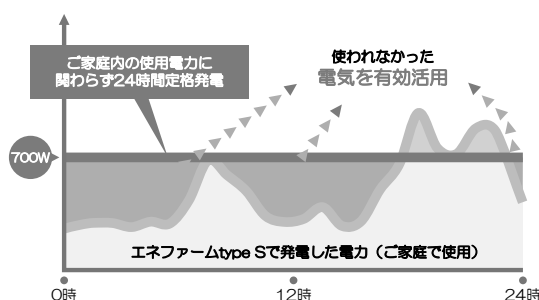
家庭の電力需要に合わせて自動的に50W～700Wの範囲で発電し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。



●逆潮流あり運転

家庭の電力需要に関係なく、定格出力（最大約700W）で発電し、余剰となった電力は、東邦ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを実施する事業者さまが買い取ります。

※逆潮流あり運転は、ご購入時などにお客さまに選択していただき施工業者が設定いたします。



発電
リモコン

■ 27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）

ガスマイコンメーターには、30日以上連続してガスが流れ続けた場合、ガス漏れの疑いがあると判断し、警報ランプが点滅する機能があります。発電ユニットが発電し続けると、この機能によりガスマイコンメーターがガス漏れと誤判断し、警報ランプが点滅してしまいます。誤判断を防止し、この機能を正常に動作させるために、発電ユニットが26日間連続して運転した場合、27日目に24時間以上停止する仕組みとなっています。その停止期間中はリモコンにMマークが表示されます。（24時間以上停止した後、発電ユニットは自動で運転を再開します。）

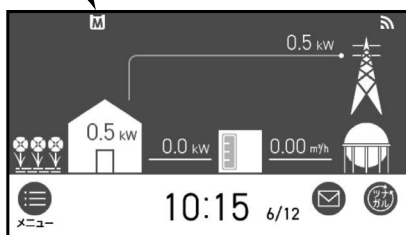
ガスマイコンメーターの警報ランプの点滅を発見された場合は、東邦ガスに連絡してください。



連続で70分間、ガスの使用を停止してください

※停止予定日までに24時間以上の停止があった場合は、サイクルはリセットされて運転再開時がサイクルのスタートとなります。

Mマーク



発電について

発電ユニットが自動停止する場合

下記の場合は、「27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」に関係なく発電が停止します。

■ 不在停止機能が作動したとき

リモコンの操作または、給湯栓からお湯（水）が連続して10日以上使用されなかったときは、自動的に不在と判断して発電を中止し、発電ユニットを停止させます。

■ 機器保護運転停止をしているとき

夏季に外気温度が高いときや発電ユニットの周囲に熱が滞留しているときに、電気使用・お湯使用が少ないと、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

■ 故障診断をしているとき

リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。（最長で約10～12時間停止した後に自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。表示は運転再開後、約4～5時間後に消えます。）

発電ユニットが発電出力を下げる場合

下記の場合は、発電パターン（消費電力追従・逆潮流あり）に関係なく発電出力を下げます。

■ 機器保護運転をしているとき

- ・夏季に外気温度が高いときや発電ユニットの周囲に熱が滞留しているときに、電気使用・お湯使用が少ないと、機器保護のため発電出力を自動的に下げ、リモコンに発電モードマーク[出力抑制]のメッセージを表示する場合があります。
- ・低出力から急に高出力に切り替わったときは、発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ・発電ユニットの内部センサの補正動作のため、稀に発電出力を数分間OWに下げる場合があります。

■ 経年劣化したとき

- ・ご使用による経年劣化により、ある程度の発電出力が低下します。

■ その他

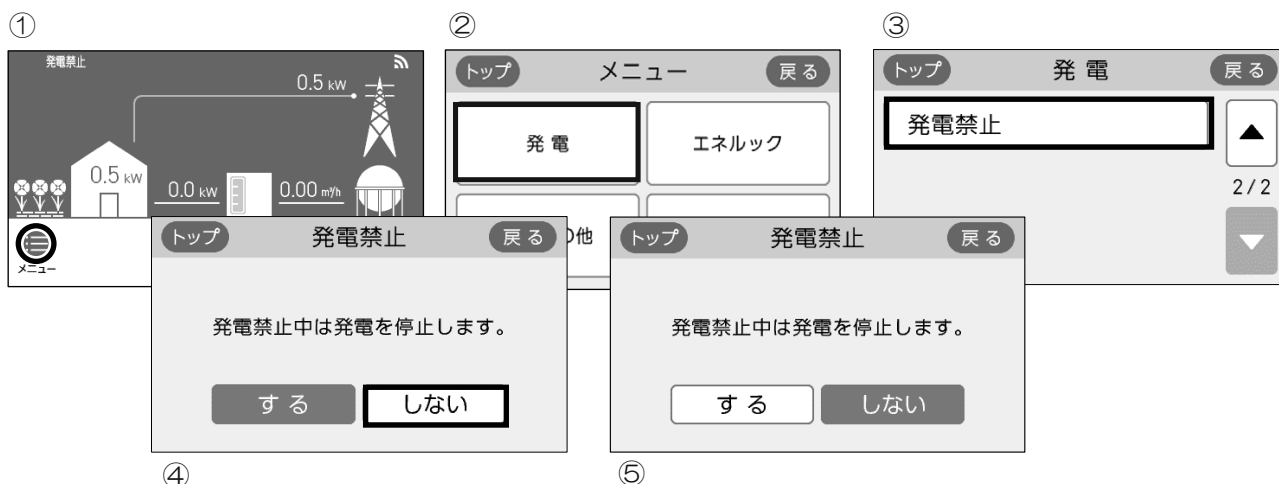
- ・自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限値を超えないように、リモコン左上に[電圧抑制]と表示して発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。
- ・ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。

発電をする

※ 停止動作中に発電操作を行った場合は、停止動作完了後に起動します。
起動には約4～5時間かかります。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）

■ 発電禁止を解除し発電をする（発電禁止（43ページ）で停止させた場合）

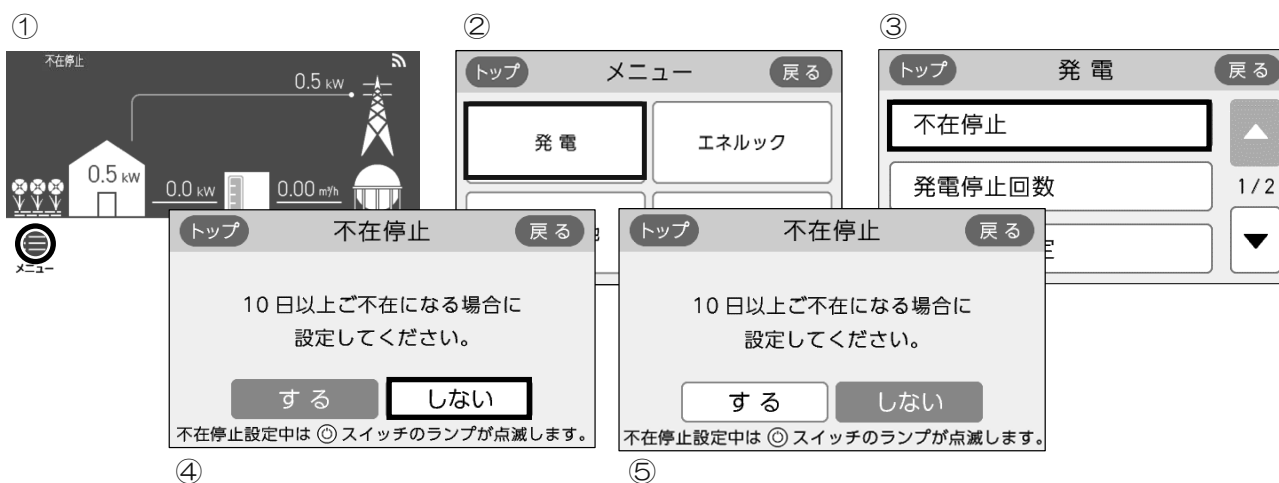
- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
 - ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
 - ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
 - ④ 発電禁止画面より[しない]をタッチします。
 - ⑤ 発電禁止画面が[しない]に変わります。
- ※ トップ画面に戻すには、[トップ]を押してください。



■ 不在停止を解除し発電をする（不在停止（43ページ）で停止させた場合）

- ・ 不在停止設定後5時間以上経過している場合
リモコンの液晶画面をタッチ、またはリモコンの「ON/OFF」スイッチをONします。
- ・ 不在停止設定後5時間未満の場合
メニュー画面から再開操作をします。
 - ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
 - ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
 - ③ 発電画面より[不在停止]をタッチします。
 - ④ 不在停止画面より[しない]をタッチします
 - ⑤ 不在停止画面が[しない]に変わります。

※ トップ画面に戻すには、[トップ]を押してください。



発電を止める

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約3～5時間行ってから停止します。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）停止動作中に起動操作を行った場合、停止動作完了後に起動します。

※お客さまの手動操作により、頻繁に起動操作・停止操作（発電禁止・不在停止）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、停止操作のご使用は10回/年までを目安とし、不在停止操作は10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 発電禁止を設定する（機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させる）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
- ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
- ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
- ④ 発電禁止画面より[する]をタッチします。
- ⑤ 発電禁止画面より[はい]をタッチします。
- ⑥ [設定しました。]と表示後、④の画面に戻り、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。



■ 不在停止を設定する（10日以上家をあけるときのなど、発電・給湯をしばらく停止させる）

※1か月以上長期不在にするときは、不在停止ではなく、発電禁止操作と水抜きを実施してください。51ページを参照してください。

※凍結のおそれがある場合に主幹ブレーカをOFFにするときは、事前に水抜きを実施してください。51ページを参照してください。

※10日以上リモコンの操作または、給湯栓からお湯（水）の使用がない場合は自動的に不在停止が[する]になります。

※給湯の停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

① トップ画面より[メニュー]をタッチします。

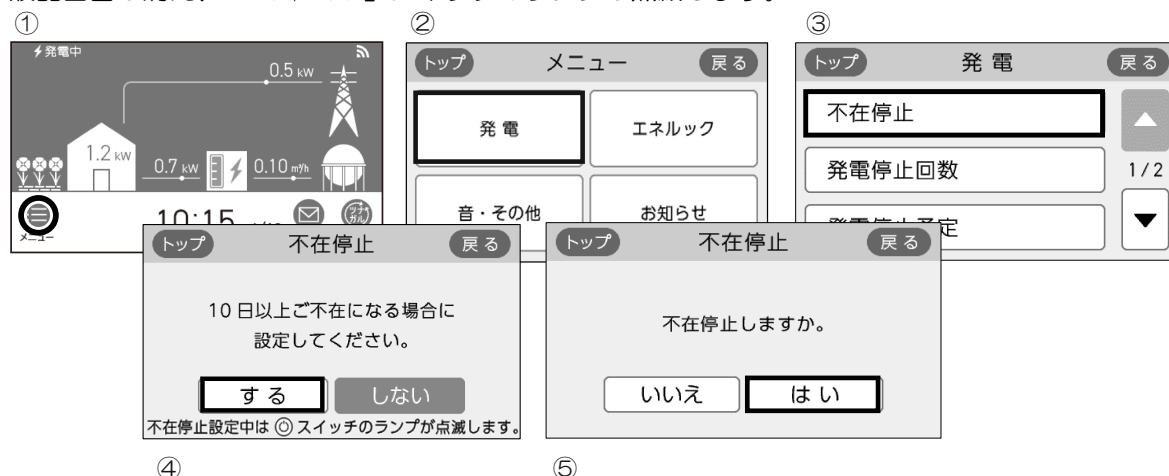
② メニュー画面より[発電]をタッチします。

③ 発電画面より[不在停止]をタッチします。

④ 不在停止画面より[する]をタッチします。

⑤ 不在停止画面より[はい]をタッチします。

⑥ 液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが点滅します。



※不在停止設定を[する]にした後5時間経過後は、リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作、またはリモコンの液晶画面のタッチ、お湯（水）の使用で不在停止が解除されます。



停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

停電時発電継続機能の概要

■ 発電ユニットが発電中に停電した場合は、停電時発電継続機能により発電を継続します

発電した電気をご使用いただけます。

熱源機の電源プラグを停電時専用コンセントに差し替えることで、熱源機のお湯をご使用いただけます。

■ 停電時発電継続中に使用できる電気の量は最大約700Wです

■ 停電時発電継続中は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます

停電時専用コンセントには「エネファーム 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。

※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧すると同時に停電時専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

■ 台風の接近などで停電のおそれがある場合は以下の操作を行うことで、停電時でも発電を継続させることができます

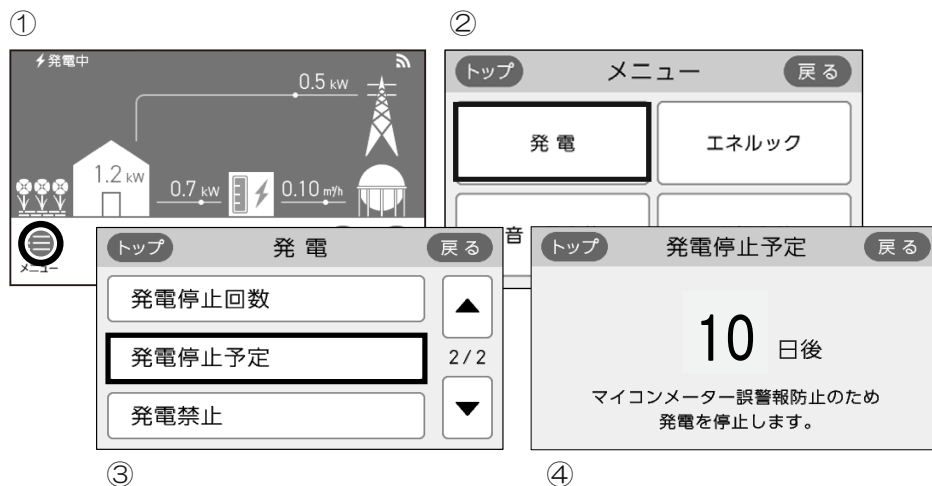
ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために発電ユニットは定期的に停止します。（詳細は、「27日サイクル運転（ガス漏れ検知機能回避）」（40ページ）をご参照ください。）

停電開始が予想される日に発電ユニットが停止していることを避けるため、停電予想日の2～25日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。

2日前を過ぎて停止させると、停電時に発電できません。

- （1）リモコンで発電停止予定日までの日数を確認してください。予想される停電開始日が、次回発電停止予定日とその1日後（発電停止予定が10日後の場合、10日後と11日後）に該当する場合は（2）以降を実施してください。該当しない場合は必要ありません。

- ① トップ画面より【メニュー】をタッチします。
- ② メニュー画面より【発電】をタッチします。
- ③ 発電画面より【発電停止予定】をタッチします。
- ④ 発電停止予定までの日数が表示されます。



- （2）上記（1）の確認で、予想される停電開始日が該当する場合は、リモコン操作にて「発電禁止」操作（43ページ参照）で発電ユニットを停止させてください。発電ユニット停止には約3～5時間が必要で、リモコンの⚡が消灯したら停止完了です。その後、連続で24時間以上停止させ、その間に全てのガス機器（給湯・暖房など）を連続で70分以上停止させてください。
- （3）連続24時間以上経過後に発電停止予定の日数が26日後になっていることを確認し、遅くとも停電予想の5時間前までには「発電禁止を解除し発電をする」（42ページ参照）の操作を実施してください。

停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

■お知らせ

- ◆ 停電時発電継続中は発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出たり、運転音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- ◆ 以下の場合、使用できる電気の量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・ 断水状態（ご家庭への給水が停止している状態）
※ 断水中は、お湯（水）を使用しないでください。断水中にお湯（水）を使用すると、リモコンに「82F01」等を表示し、発電を継続できなくなる場合があります。運転が停止した場合は、エラー発生時の処置方法（63ページ）を参照してください。
 - ・ 停電時専用コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・ 発電ユニットの蓄熱量が多い場合
- ◆ 熱源機の電源が入っていない状態であっても給湯栓を開けた際に、約20～30℃の温水が出る場合があります。
- ◆ 外気温が高く発電ユニット内水温が高い場合は、停電時発電継続を停止する場合があります。
※ 停止防止のために貯湯タンクのお湯を利用ください。

主な電気製品の消費電力

停電時発電継続機能をご使用される前に、「安全のために必ず守ってください」（4～10ページ参照）をお読みいただき、安全にご使用ください。

- ・ 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- ・ 電気製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。
- ・ 停電が復旧すると、停電時専用コンセントからの電気の供給は止まります。継続して使用される場合は、通常のコンセントに接続し直してください。
- ・ 停電時発電継続開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電気製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電気製品を接続してください。

製品名	消費電力の目安（W）	製品名	消費電力の目安（W）
携帯電話（充電時）	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒーター	30
扇風機	40	ノートPC	50
液晶テレビ（42型）※1	85	冷蔵庫 ※2	200
熱源機の暖房運転 ※3	180	熱源機の凍結防止運転 ※3	250
熱源機の給湯運転 ※3	100		

- ※1 テレビをご覧になる場合は、電波の受信に関する機器への電力の供給が必要です。
消費電力の目安には、それら機器の消費電力は含まれていません。
- ※2 機種によっては使用できないことがあります。
- ※3 使用されている熱源機の取扱説明書で消費電力をご確認ください。

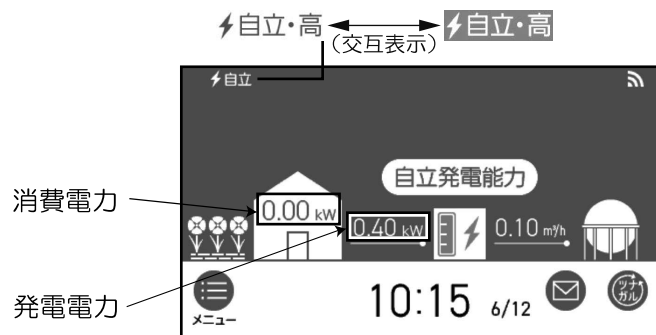
停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様ののみ）

停電発生時の対応

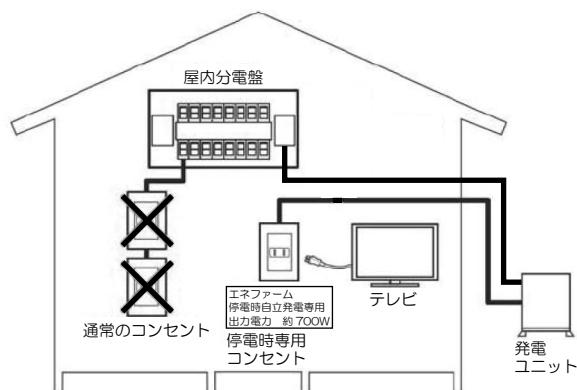
※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

① [自立]の文字部が反転点滅表示され、発電電力が表示されていることを確認する

- 消費電力が大きい機器をつなぐ場合は、高出力設定（47ページ参照）に切り替えご使用ください。また、発電ユニットの状態によっては、最大出力が制限される場合があります。
- お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。（最大約10分間）

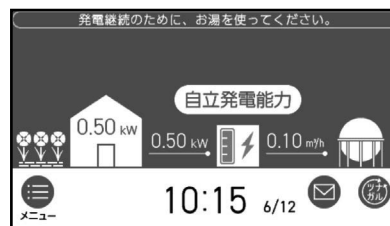


② 電気製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む



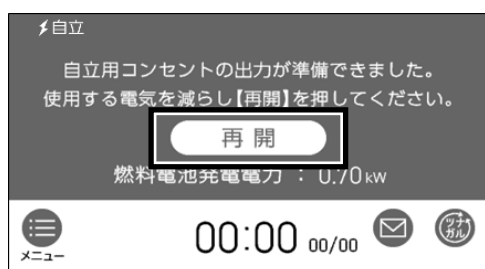
- 停電時は停電時専用コンセントしか使うことができません。また、停電時専用コンセントは、停電時にしか使用できません。
- リモコンの表示で発電電力と消費電力を確認しながら停電時専用コンセントに使用したい電気製品を一つずつ接続してください。
- 消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）は、停電時専用コンセントからの電気の供給が一時停止します。約90秒～10分経過後、自動的に電気の供給を再開します。過負荷防止のため、停止中に接続していた電気製品をコンセントから取り外してください。
- 過負荷2回目以降は、一時停止した後の自動再開はしません。リモコン表示内容に従ってリモコン操作をしてください。
- 接続した電気製品の消費電力が発電量を上回らないよう、運転状態をこまめに確認してください。

※ 停電時発電継続中に、リモコンに「発電継続のために、お湯を使ってください。」のメッセージが表示された場合は、発電を継続させるために、貯湯タンクがお湯でいっぱいにならないよう、給湯栓を開けてお湯を使用してください。



過負荷2回目以降の復帰操作

① 下記画面が表示されたら[再開]をタッチします。



停電時に電気を使う（停電時発電継続仕様のみ）

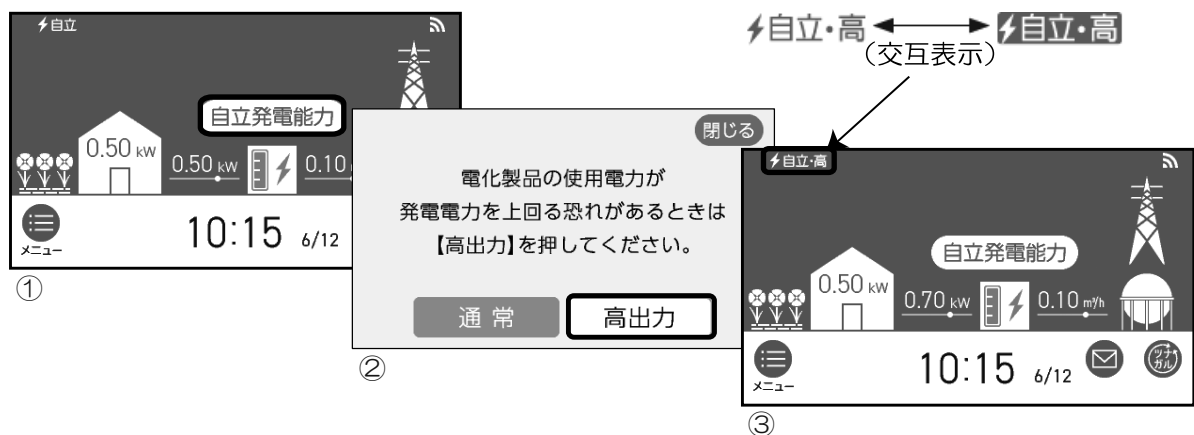
発電出力を上げる場合

■高出力設定にする場合

停電時発電継続中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと停電時発電出力を700Wよりも下げる場合があります。消費電力の大きい（ただし合計しても700Wをこえない）電気製品を使用されるときは下記手順で高出力設定に切り替えてください。

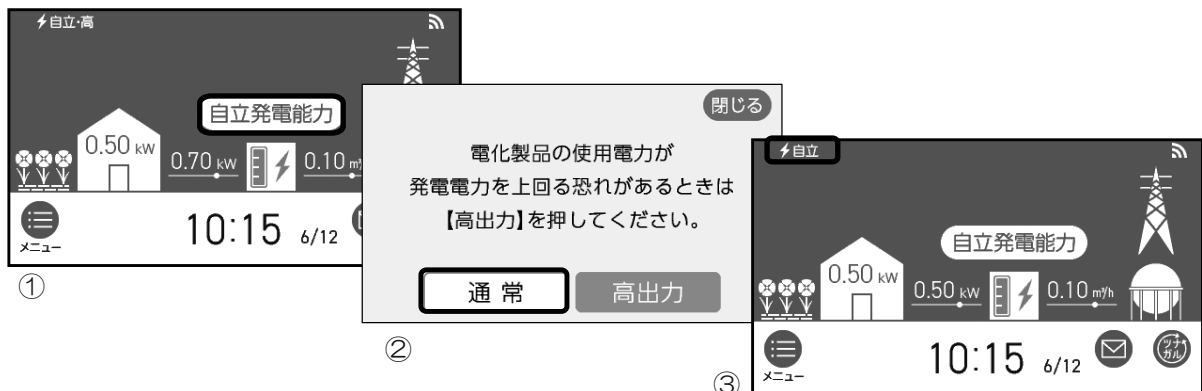
※ 発電出力が低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

- ① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[自立発電能力]をタッチします。
（[自立発電能力]表示は、高出力発電が可能となるときのみ表示されます。）
- ② 自立発電能力画面で [高出力] をタッチします。
- ③ トップ画面の左上部の文字が、[自立・高] に変わります。



■高出力設定を通常に戻す場合

- ① トップ画面より、[自立発電能力]をタッチします。
- ② 自立発電能力画面で [通常] をタッチします。
- ③ トップ画面の左上部の文字が、[自立] に変わります。



※ 消費電力が少ない状態が続いた場合（約5分）、自動的に通常設定に戻ります。

停電時にお湯を使う（停電時発電継続仕様のみ）

停電時に、停電時専用コンセントからの電力を使用して、熱源機からのお湯を使用することができます。

- ① リモコンのトップ画面で、左上部の文字が[自立]表示の反転点滅表示になっていることを確認します。
- ② リモコンの消費電力表示から、熱源機が起動しても過負荷にならないことを確認します。
発電に余力がない場合は、高出力設定（上記参照）にする、または他の電気製品を止めてください。
- ③ 停電時専用コンセントに熱源機の電源プラグを差し込みます。

以降は、通常の熱源機使用方法でお使いください。

※ 停電の復旧後は、停電時専用コンセントに差し込んでいる熱源機の電源プラグは、元のコンセントに差し替えてください。

こんなときは

停電のときは

■ 発電中に停電した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）

停電時発電継続機能により発電を継続します。

発電した電気は停電時専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（23、35、46ページ参照してください。）

● 停電が復旧した場合

停電が復旧してから約5分後に、自動的に通常運転に切り替わります。

※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに停電時専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

■ 発電中に停電した場合（標準仕様のお客さまの場合）

停電中は、アイドリング状態になり、復旧待機しています（最長5時間）。ガス、水は閉めないでください。

※ お客さまの発電ユニットの運転状態によっては停電中に運転が停止する場合があります。

※ アイドリング状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（OW）状態のことです。

● 停電が復旧した場合

停電が復旧してから約5分後に、自動的に通常の発電運転に切り替わります。

■ 待機中・起動中・停止中およびアイドリング中に停電した場合

起動中、停止中、およびアイドリングが5時間経過後の場合は即時停止し、停電中は起動しません。

● 停電が復旧した場合

（起動中およびアイドリング中に停止した場合、停止中の場合）

リモコンの日時設定（詳細はリモコンの取扱説明書を参照）をしてください。停電時間が24時間を越えていない場合は、自動的に再起動します（発電禁止による停止中は自動再起動はしません）。ただし内部温度が高い場合は冷却（約10～12時間）後の自動再起動となります。

断水のときは

■ 発電中に断水した場合

断水状態から復帰するまでお湯（水）は使用しないでください。断水中にお湯の給湯栓を開くと、ごく稀に、リモコンに[82F01]等を表示し、運転を停止する場合があります。運転が停止した場合は、エラー発生時の処置方法（63ページ）を参照してください。

■ 災害時などに貯湯タンクのお湯を取り出す場合

貯湯タンクのお湯（水）を取り出して雑用水として利用できます。（手順は55ページを参照してください。）

※ 発電ユニットの運転を停止させる必要があります。

※ 貯湯タンクのお湯（水）を使用した場合、断水から復旧しないと発電はできません。

長期間使用しないときは

■ 旅行等のため、10日以上留守にされるとき

リモコンで「不在停止」にし、発電ユニットを停止させてください。

（手順は20、32、43ページを参照してください。）

※ 発電ユニットのブレーカーは「ON」のままにしておいてください。

■ 1か月以上不在にされる場合

リモコンで「発電禁止」（20、31、43ページを参照してください）にし、発電ユニットを停止させた後、発電ユニットの水抜きを実施してください。

（水抜き手順は51ページを参照してください。）

※ 水抜き後の使用再開時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。

■ 1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）

リモコンで「発電禁止」にし、発電ユニットを停止させた後、発電ユニットの水抜きを実施してください。（水抜き手順は51ページを参照してください。）

※ 水抜き後の使用再開時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。

■ 熱源機だけを使用可能にする場合

東邦ガスにご連絡ください。

こんなときは

気温が-10℃を下回るときは

■凍結が予想される場合

発電を停止しているときに気温が-10℃を下回ると、凍結防止機能が作動していても凍結が発生する可能性があります。気温が-10℃を下回ることが予想される場合は、「フロントR小パネルの取り外し方法」（14ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、水抜き手順（51ページ参照）を実施してください。

-10℃を下回ったときの凍結による機器の破損は製品保証の対象外となります。

ガスの供給が途絶えたときは

■発電中にガスが供給されなくなった場合

燃料ガスの供給圧力が低下すると、リモコンに[AOF00]を表示し、発電が停止する場合があります。ガスマイコンメーターの遮断、ガス栓等を確認し、エラー発生時の処置方法（63ページ）を参照してください。

工事などで停電、断水、ガス停止が事前に分かっているときは

■停電が事前に分かっている場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）

●事前準備

事前準備は特にありません。

ただし、停電予定期間中に発電をさせたい場合は、「発電停止予定日」を確認し、変更する必要がある場合は、「■台風の接近などで停電のおそれがある場合は以下の操作を行うことで、停電時でも発電を継続させることができます」（21、33、44ページ参照）を行ってください。

●停電復旧後

必要な操作は特にありません。

■停電が事前に分かっている場合（標準仕様のお客さまの場合）

●事前準備

停電する半日以上前に「発電禁止」操作（20、31、43ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。

●停電復旧後

「■発電禁止を解除し発電をする」（19、30、42ページ参照）を行ってください。

■断水が事前に分かっている場合

●事前準備

事前準備は特にありません。

※断水中にお湯、水を使用すると、ごく稀に発電が停止する場合がありますため、お湯、水は使用しないでください。

●水道復旧後

給水栓（レバー式の場合はレバーを水側に切り替えて）を開け、汚れた水を十分に流してから使用してください。汚れがひどい場合は、給水接続口のストレーナを掃除（「■断水した場合の再使用のときは」50ページ参照）してください。

■ガス停止が事前に分かっている場合

●事前準備

ガスが停止する半日以上前に「発電禁止」操作（20、31、43ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。

●ガス復旧後

「■発電禁止を解除し発電をする」（19、30、42ページ参照）を行ってください。

災害時等緊急停止のときは

■ ガス栓を閉じて、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFにする

再使用時は、「ご使用前の確認」(14ページ)を行ってください。

■ 凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は水抜きをする

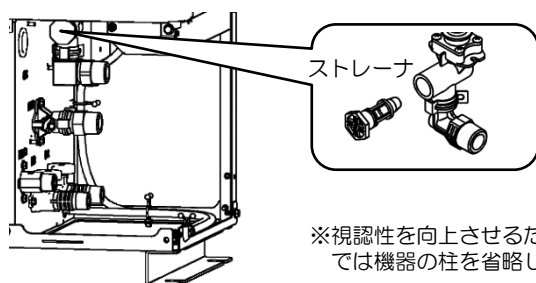
「フロントR小パネルの取り外し方法」(14ページ)を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、水抜き手順⑦～⑫(53ページ参照)を実施してください。

※ 安全のため、この手順の前に「安全のため必ず守ってください」(4～10ページ)をお読みください。電源供給がないため、貯湯タンク内のお湯の冷却ができません。やけどする場合がありますので排出されるお湯に触れないようにしてください。

■ 断水した場合の再使用のときは

給水栓（レバー式の場合はレバーを水側に切り替えて）を開け、汚れた水を充分に流してから使用してください。汚れがひどい場合は、給水接続口のストレーナを掃除してください。

● ストレーナの掃除方法



※視認性を向上させるため、イラストでは機器の柱を省略しています。

- ① 給水口バルブを閉じます。
- ② 給水接続口のストレーナをマイナスドライバーまたはコインで反時計回りに回転させて取り外します。
- ③ ストレーナの目詰まりを掃除し、元の場所に取り付けます。
- ④ 給水口バルブを開けます。

水抜きしたいときは

発電ユニットの水を抜く

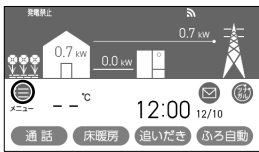
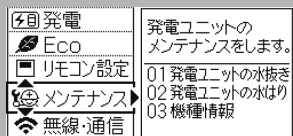
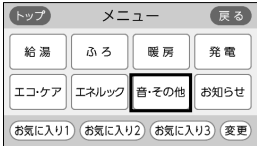
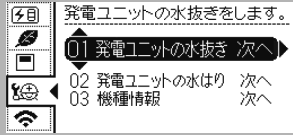
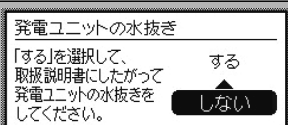
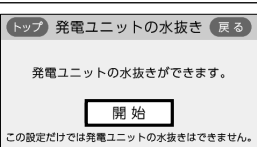
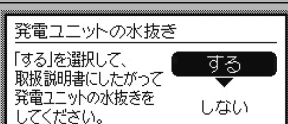
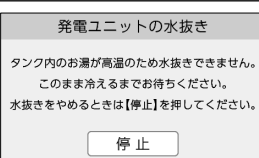
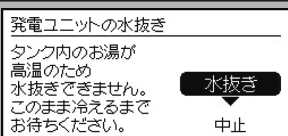
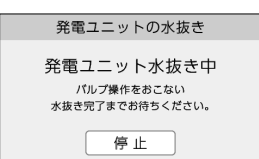
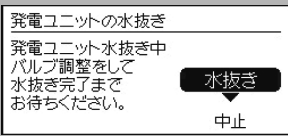
前日までに、発電ユニットを「発電禁止」による停止操作（20、31、43ページ参照）で停止させて、水抜きをしてください。

■ 水抜き手順 お持ちの台所リモコンの水抜き手順を参照してください

※ 安全のため、水抜き操作の前に「安全のため必ず守ってください」（4～10ページ参照）をお読みください。

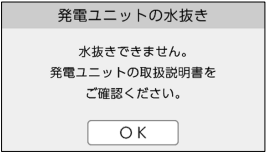
※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑥）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑦～⑬）を行ってください。

※ 使用開始時には専門のサービスマンが伺いますので、東邦ガスにご連絡ください。

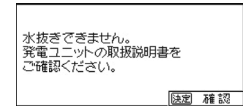
手順	リモコンA（ノーリツ）	リモコンC（リンナイ）
①	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチします。	リモコンの「運転入/切」スイッチを「切」にし、（「運転入/切」スイッチ部のLEDランプを消す。）「メニュー」ボタンを押します。
②	トップ画面より[メニュー]をタッチします。 	▲または▼で[メンテナンス]を選択し▶または「決定」を押します。 
③	メニュー画面より[音・その他]をタッチします。 	▲または▼で[発電ユニットの水抜き]を選択しまたは「決定」を押します。 
④	音・その他画面より[発電ユニットの水抜き]をタッチします。 	▲を押します。 
⑤	[開始]をタッチします。 	「決定」を押します。 
⑥	タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。タンク内水温が下がると⑥に移行します。  ※[停止]をタッチすると⑤に移行します。停止させない場合は、[停止]をタッチしないでください。	タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。タンク内水温が下がると⑥に移行します。  ※[中止]を選択し「決定」を押すと③に移行します。停止させない場合は、「決定」ボタンを押さないでください。
⑦	タンク内水温が下がりましたので、「フロントR小パネルの取り外し方法」（14ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をします。 	タンク内水温が下がりましたので、「フロントR小パネルの取り外し方法」（14ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をします。 

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合は、発電ユニットが停止状態ではありません。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

リモコンA（ノーリツ）

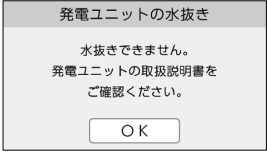


リモコンC（リンナイ）



2秒程度表示しトップ画面

発電リモコン

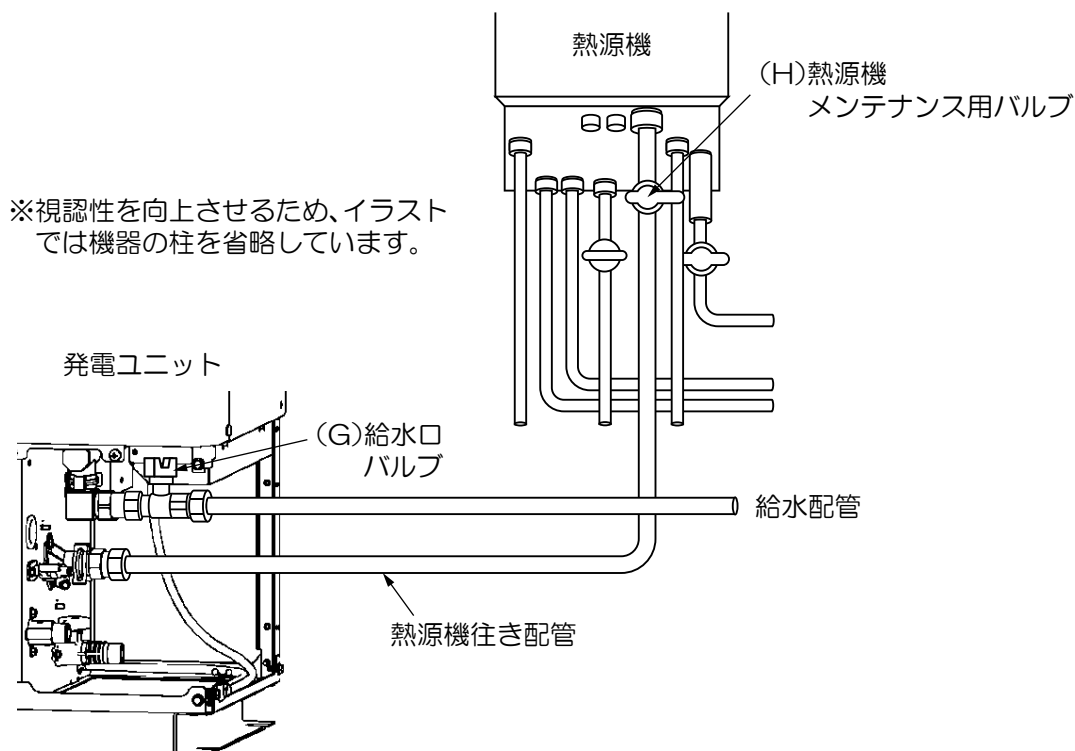


手順	発電リモコン
①	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または液晶画面部をタッチします。
②	トップ画面より[メニュー]をタッチします。
③	メニュー画面より[音・その他]をタッチします。
④	音・その他画面より[発電ユニットの水抜き]をタッチします。
⑤	[開始]をタッチします。
—	タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。タンク内水温が下がると⑥に移行します。 ※ [停止]をタッチすると⑤に移行します。停止させない場合は、[停止]をタッチしないでください。
⑥	タンク内水温が下がりましたので、「フロントR小パネルの取り外し方法」（14ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をします。

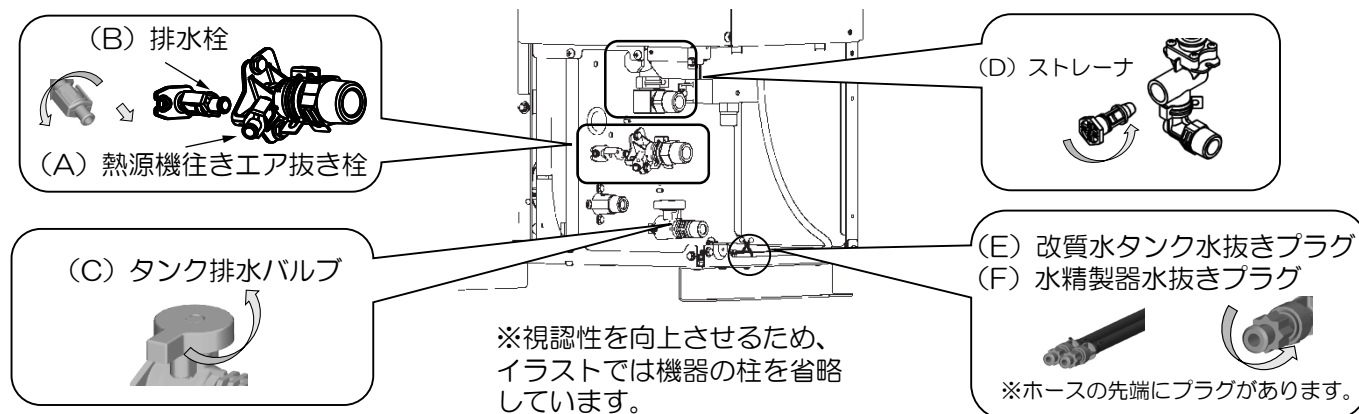
水抜きしたいときは

⑦下記バルブの操作をしてください。

- ・(G) 給水口バルブを閉じます。
- ・熱源機行き配管途中の(H) 熱源機メンテナンス用バルブを閉じます。



- ・(C) タンク排水バルブをゆっくりと開けます。(C) タンク排水バルブに接続された配管より排水され始めます。)
- ・(B) 排水栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開けます。
- ・(E) 改質水タンク水抜きプラグとF水精製器水抜きプラグを反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。(E)、(F) からは約2L排水され、約10分かかります。)



⑧リモコンの画面がトップ画面に移行したら、(A) 熱源機行きエア抜き栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開けます。

※30分経過してもリモコンの画面がトップ画面に移行しない場合は、水抜きを停止させ(54ページ参照)、(C)、(E)、(F) のバルブまたは栓、プラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

⑨給水接続口の(D) ストレーナをマイナスドライバーまたはコインで反時計回りに回転させて外し、外した箇所から水が出なくなったら、もとどおりに組み付けます。

⑩タンクの排水配管および(A) 熱源機行きエア抜き栓、(E)、(F) の水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、(E)、(F) の水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。

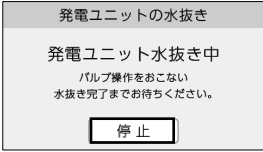
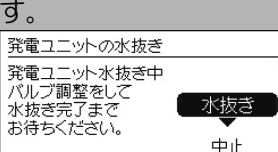
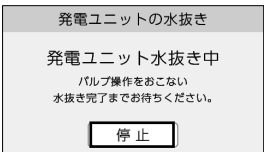
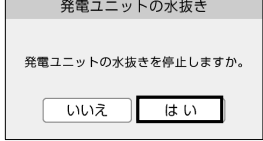
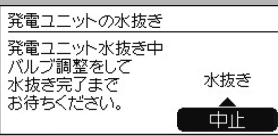
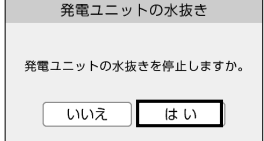
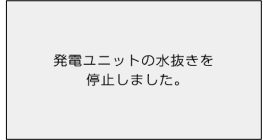
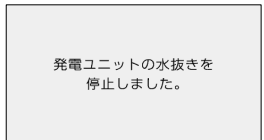
⑪(A) 熱源機行きエア抜き栓を閉め、(B) 排水栓、(C) タンク排水バルブを閉じます。

⑫発電ユニットと熱源機のカス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを「OFF」にします。

⑬14ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

水抜きしたいときは

■ 水抜きを途中で停止する方法

手順	リモコンA（ノーリツ）	リモコンC（リンナイ）	発電リモコン
①	[停止]をタッチします。 	▼で[中止]を選択します。 	[停止]をタッチします。 
②	[はい]をタッチします。 ※[いいえ]をタッチすると①の画面に戻ります。 	「決定」を押します。 	[はい]をタッチします。 ※[いいえ]をタッチすると①の画面に戻ります 
③	下記のリモコン表示を確認します。 	トップ画面に移行します。	下記のリモコン表示を確認します。 

こんなときは

水抜きしたいときは

災害時などに貯湯タンクのお湯を取り出す

断水で水道水を使用できない場合でも、貯湯タンクのお湯（水）の一部を取り出して雑用水として利用できます。

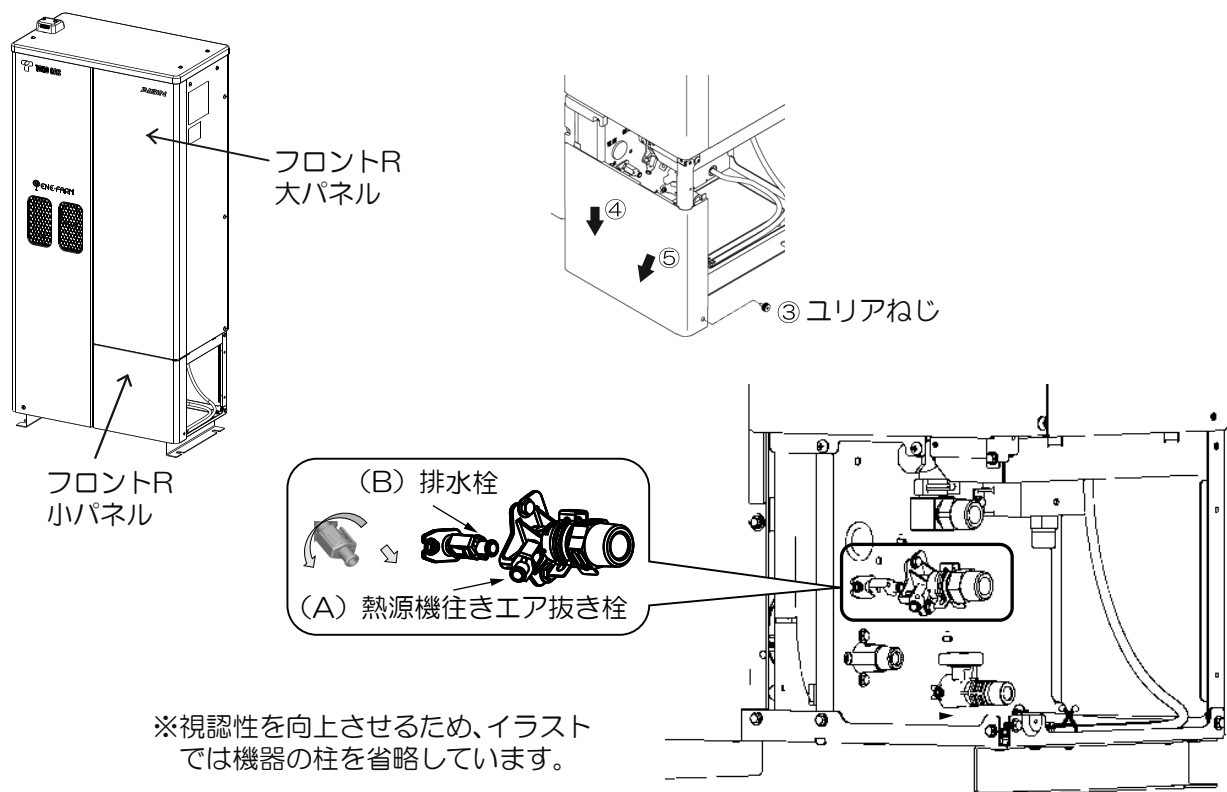
ただし、機器の状態や設置状況、配管レイアウトによっては取り出すことができません。

※取り出した場合、復旧後に発電運転するためには水張りが必要です（59～60ページ参照）。

※ 安全のため、この手順の前に「安全のため必ず守ってください」（4～10ページ）をお読みください。やけどする場合がありますので排出されるお湯に触れないようにしてください。

■ 取り出し手順

- ① リモコンの発電状況表示、発電モードマーク（16、27、39ページ参照）の表示が消えて、発電ユニットが停止していることを確認してください。
停止していない場合は、「発電禁止」による停止操作（20ページ、31ページ、43ページ参照）で停止させてください。
- ② 分電盤の専用ブレーカーと屋外防水コンセントに接続された屋内分電盤のブレーカを遮断します。
- ③ フロントR小パネル右側面下のユリアねじを外します。
- ④ フロントR小パネルを下に数mmスライドさせます。
- ⑤ フロントR小パネルの下端を手前に寄せながら下方向にスライドさせて取り外します。



- ⑥ (A) 熱源機行きエア抜き栓のホース接続口（外径10mm）にホースを取り付け、バケツなどで出てくるお湯（水）を受けられるようにしてください。
※熱いお湯が排出されることがありますので、注意してください。
- ⑦ (G) 給水口バルブと (H) 熱源機メンテ用バルブを閉じます。（53ページ参照）
- ⑧ (A) 熱源機行きエア抜き栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開けます。
- ⑨ (B) 排水栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開けます。
ホースから出てきたお湯（水）は、雑用水として使用してください。
取水が終わったら、(A) 熱源機行き側エア抜き栓、(B) 排水栓を閉じます。
- ⑩ 「フロントR小パネルの取り付け方法」（14ページ）を参照し、フロントR小パネルを取り付けてください。

■ 再起動するときは

- ・「■ 水張り手順」（59ページ参照）を実施してください。
- ・停電した場合は、日時がリセットされている場合がありますので、日時の設定を行ってください。
手順詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。

お手入れと周囲の確認

お手入れ

※ 機器のお手入れには、手袋を着用してください。

■ 機器の外観（パネルおよび放熱器吸気口のフィルタ）が汚れている場合、水に濡らした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭きとってください

- ・ 機器を高水圧での水洗いはしないでください。
- ・ 外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉・スプレーなどを使わないでください。
- ・ お手入れの際、パネルおよび放熱器吸気口のフィルタを外さないでください。

■ 1年に1回程度、発電ユニット内の貯湯タンクの洗浄をしてください

手順	操作内容	リモコンA (ノーリツ)	リモコンC (リンナイ)	発電リモコン
①	発電ユニットを停止させる。 （「発電禁止」を参照）	20ページ	31ページ	43ページ
②	発電停止完了後、水抜きをする。 （「水抜き手順」を参照）	57、58ページ		
③	水抜き終了後、水張りをする。 （「水張り手順」を参照）	59、60ページ		
④	発電ユニットを起動する。 （「発電禁止から発電をする」を参照）	19ページ	30ページ	42ページ

※ 上記②の開始から③の終了までは熱源機は使用できなくなります。

周囲の確認

■ 発電ユニット、熱源機周辺に異常がないことの確認を1か月に1回程度行ってください。

- ・ 機器の周囲に可燃物および、障害物がないことを確認してください。
- ・ 機器の排気口、吸気口・換気出口が塞がれていないことを確認してください。
- ・ 据付金具が緩んでいないことを確認してください。

貯湯タンクの洗浄をする

※この操作開始後水張り完了までは、熱源機を使用することはできません。

■水抜き手順

※安全の為、水抜き操作の前に「安全のため必ず守ってください」（4～10ページ参照）をお読みください。

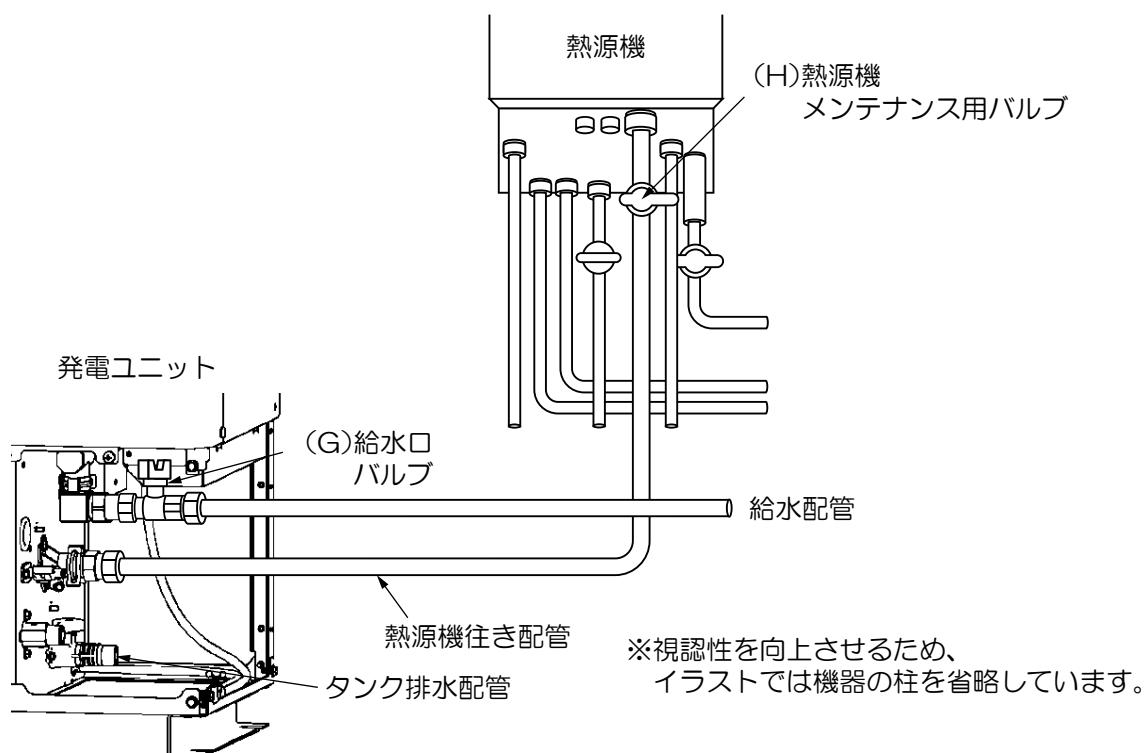
※やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑥）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑦～⑪）を行ってください。

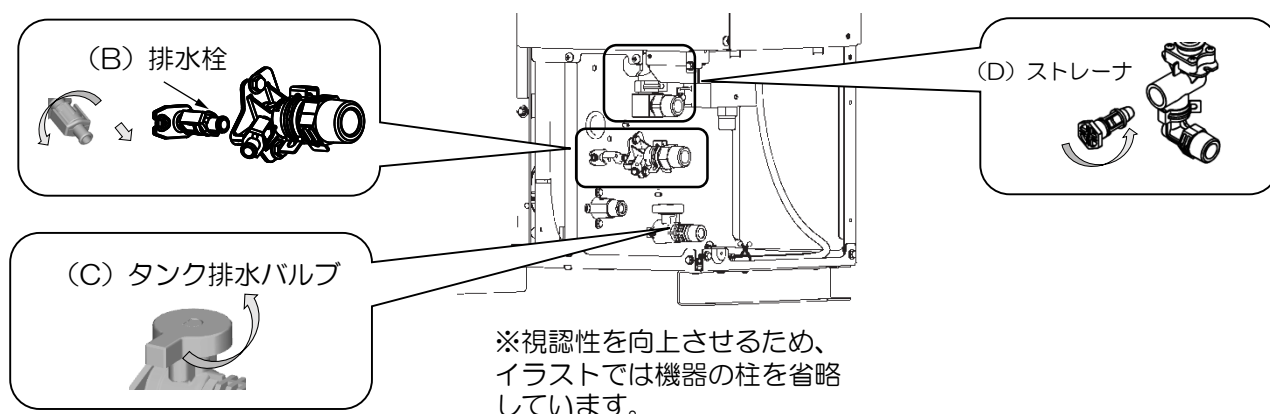
手順①～⑥は、51、52ページを参照してください。

共通

⑦ 下記バルブの操作をしてください。

- ・(G) 給水口バルブを閉じます。
- ・熱源機行き配管途中の(H) 熱源機メンテナンス用バルブを閉じます。
- ・(C) タンク排水バルブをゆっくりと開けます。

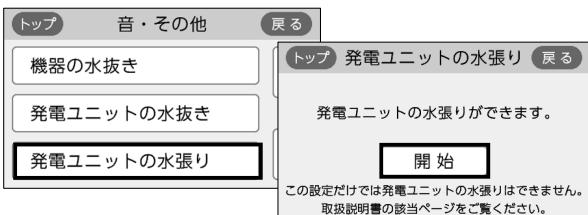
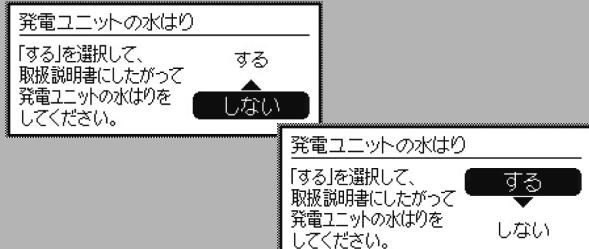
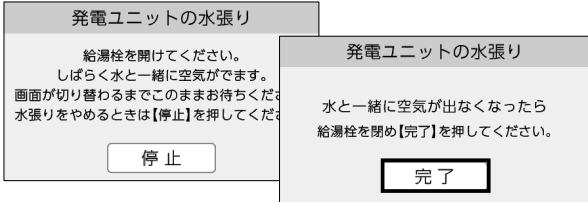
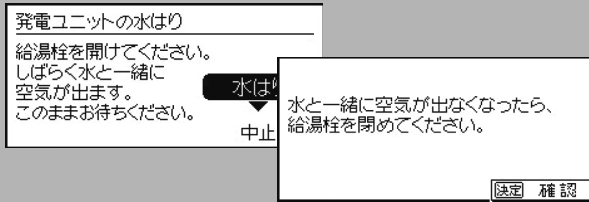




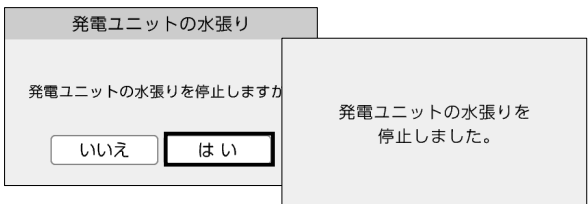
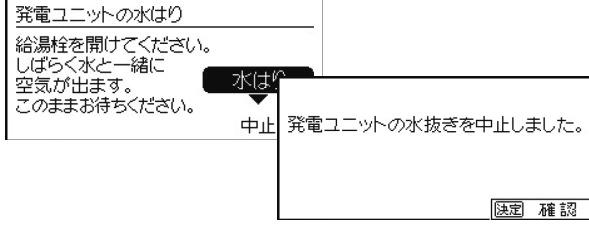
- ⑧ リモコンの画面がトップ画面に移行したら、(B) 排水栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開けます。
※ 30分経過しても、リモコン画面がトップ画面に移行しない場合は水抜きを停止させ（54ページ参照）、(B)、(C) のバルブまたは栓が開いていることを確認後、再度①より実施してください。
- ⑨ 給水配管接続口の (D) ストレーナをマイナスドライバーまたはコインで反時計回りに回転させて取り外します。
- ⑩ (D) ストレーナの目詰まりを掃除し、元の場所に取り付けます。
- ⑪ タンク排水配管よりお湯（水）が出なくなったら、(B) 排水栓を閉め、(C) タンク排水バルブを閉じます。

貯湯タンクの洗浄をする

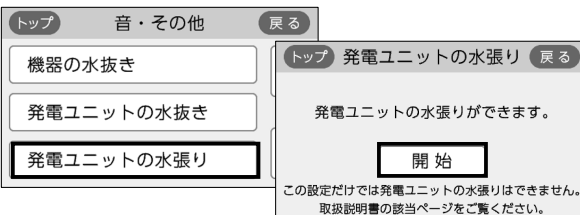
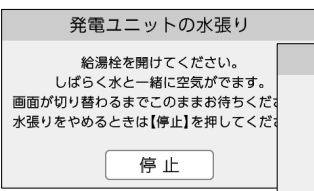
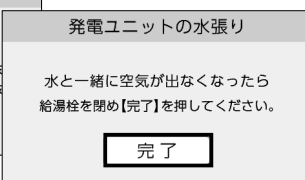
■ 水張り手順

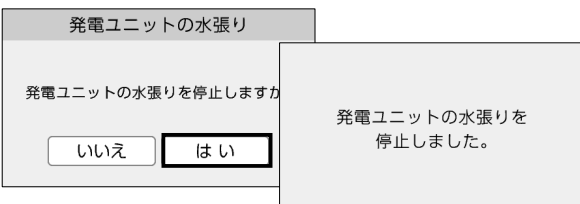
手順	リモコンA（ノーリツ）	リモコンC（リンナイ）
①	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチします。	リモコンの「運転入/切」スイッチを「切」にし、（「運転入/切」スイッチ部のLEDランプを消す。）「メニュー」ボタンを押します。
②	トップ画面より[メニュー]→[音・その他]をタッチします。 	▲または▼で[メンテナンス]を選択し▶または「決定」を押し、その後▲または▼で[発電ユニットの水はり]を選択し▶または「決定」を押します。 
③	音・その他画面より[発電ユニットの水張り]→[開始]をタッチします。 	▲を押して「決定」を押します。 
④	「フロントR小パネルの取り外し方法」（14ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開けます。（57ページ参照）	
⑤	屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、[完了]をタッチします。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。 	屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、「決定」を押します。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。 
⑥	「フロントR小パネルの取り外し方法」（14ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けます。	

途中で停止する場合

屋内の給湯栓を閉めてから、⑤画面の[停止]をタッチし、下画面の[はい]をタッチします。 ※[いいえ]をタッチすると前の画面に戻ります。 	屋内の給湯栓を閉めてから、▼で[中止]を選択し「決定」を押します。 
--	---

※ 水張りを途中で停止した場合は、再度手順①から実施してください。

手順	発電リモコン
①	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または液晶画面部をタッチします。
②	トップ画面より[メニュー]→[音・その他]をタッチします。 
③	音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水張り]→[開始]をタッチします。 
④	「フロントR小パネルの取り外し方法」(14ページ)を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開ける。(57ページ参照)
⑤	熱源機の給湯スイッチを「OFF」にし、屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、[完了]をタッチします。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。  
⑥	「フロントR小パネルの取り外し方法」(14ページ)を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けます。

途中で停止する場合	屋内の給湯栓を閉めてから、⑤画面の[停止]をタッチし、下画面で[はい]をタッチします。 ※[いいえ]ボタンを押すと前の画面に戻ります。 
-----------	--

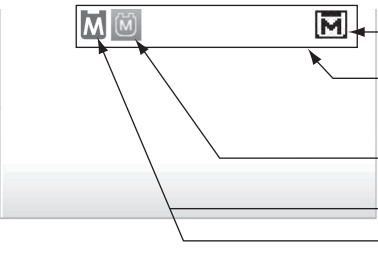
故障・異常かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

症状	原因
排気口から湯気が出ている。基礎が濡れている。	排気ガス中の水蒸気が凝縮し湯気が立つことがあります。排気口付近に結露が発生することがあります。結露の状況によっては機外へ排水し、天板や基礎が濡れることがあります。
排気キャップの排気口周囲に白い付着物がつく。	排気口付近の結露水に含まれる成分が付着する場合があります。付着した場合は布等により拭き取ることができます。
放熱器吸気口のフィルタに白い付着物がつく。	背面パネルに含まれる成分が放熱器吸気口のフィルタに付着する場合があります。付着した場合は布等により拭き取ることができます。
お湯を使っていないのに運転している。 お湯を使っているのに運転しない。	発電ユニットの発電・停止は、お湯を使う時間帯と必ずしも一致しません。
停止後も運転音がする。	機器を保護するために、停止後約3～5時間程度は運転しています。
排水配管から水がポタポタ出る。	排気ガス中の水蒸気が凝縮して水となり、排出されます。
発電出力が上昇するのに時間を要する。	発電ユニット内部の温度が急上昇しないようゆっくりと出力を上昇させています。
起動時に数分程度音が大きくなる。	点火時に発生する燃焼音です。
自立運転時に音が大きい。	運転継続のための冷却運転により放熱器の音が大きくなる場合があります。

故障・異常かな？と思ったらときは、まずリモコンの表示をご確認ください。

※ 熱源機およびリモコンの取扱説明書も合わせてご確認ください。

症状	原因	処置方法
発電表示が消え、発電停止時にMマークを表示して停止している。	ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するための一時的な停止（※詳細は、「■ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために一時的に停止させるとき」リモコンA（ノーリツ）（16ページ）、リモコンC（リンナイ）（27ページ）、発電リモコン（39ページ）をご参照してください。	Mマークの表示開始から24時間以上経過後に自動で運転を再開します。ただし、ガスのご使用状況や機器の動作状況により、リモコンに[01900]を表示し停止を継続する場合があります。その場合は63ページを参照し、処理を行ってください。 Mマーク、発電表示は、リモコン画面上部に表示されます。詳細は各リモコン説明部（リモコンA（ノーリツ）（16ページ）、リモコンC（リンナイ）（27ページ）、発電リモコン（39ページ））を参照してください。 
リモコンに何も表示されない。	熱源機に接続されたブレーカがOFFになっている。 もしくは、熱源機の電源プラグが抜けている。 停電時に発電ユニットが停止している。	熱源機に接続された専用ブレーカをONにしてください。もしくは、熱源機の電源プラグをさしてください。 ※ リモコンが表示したら、リモコンの時計合わせを行ってください。 停電時、発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。 停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は、63、64ページに記載の処置方法に従って処置を行ってください。

故障・異常かな？と思ったら

症状	原因	処置方法
リモコンに何も表示されない。 (停電時発電継続仕様)	停電時に停電時専用コンセントに接続している電気製品の消費電力が発電量を超えている。	接続した電気製品をすみやかに取り外してください。
[01900]を表示して停止している。	発電ユニット停止中に熱源機のカス使用が継続し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認できなかった。	処置方法は、63ページを参照してください。
発電エラーと[* * F * *]が交互に表示されている。	エラーが発生している。	停止完了までお待ちください。リモコン画面左上にある、発電マークと状態表示([停止中])が消えたら停止完了です。63、64ページを参照し、エラーの処置を行ってください。
発電ユニットのセルフチェック実施中を知らせる表示がされている。	故障診断のための一時的な停止。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電ユニットのセルフチェック実施中を知らせる表示が消えない場合は、東邦ガスに連絡してください。
発電中にリモコン画面左上の[発電中]表示が[電圧抑制]と表示される。	商用電源の電圧が設定値(電力会社による指定値)を超えないように、発電ユニットが電圧を自動検出し、発電量を自動で抑制します。	商用電源の電圧が正常に戻れば[電圧抑制]の表示は消え[発電中]に戻ります。頻繁に発生する場合は、東邦ガスにご相談ください。
発電出力が家庭の電力需要量を大幅に下回り、リモコン画面左上に[出力抑制]と表示されている。	下記の場合は、運転を継続させるために発電出力を抑制します。 ・外気温が高いとき ・熱が滞留するような設置環境	1日のうち数時間以上が出力抑制となる可能性がありますので、しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電出力に一切変化がない場合は東邦ガスに連絡してください。
発電ユニットの起動時に数分程度音が大きくなる。	点火時に発生する燃焼音です。	音が継続して止まらない場合は、東邦ガスにご連絡ください。
リモコン設定よりも熱いお湯が出る。 お湯を出しても温度が上がらない。 お湯を出しても、熱くなったりぬるくなったりして、お湯の温度が安定しない。	この商品は、熱源機のカス消費量を抑えるために、熱源機に供給する水の温度を発電ユニットの排熱により予熱しています。このため、少ない流量でお湯をお使いの場合、設定温度よりも高めのお湯が出る場合があります。さらにお湯の流量を絞りすぎると、燃焼を停止する場合があります。	お湯の量を増やしてご使用ください。 ※ 混合水栓でお湯と水とを混ぜてお使いの場合は、水栓から流れるお湯の量よりも熱源機を流れるお湯の量が少なくなります。混合水栓のレバーをお湯側にしてお使いください。
後付構成で、熱源機が「給湯切」なのに お湯が出てくる。	熱源機が「給湯切」でも、発電ユニットの貯湯タンクのお湯がなくなるまで、最高で約30℃の水が供給されます。	故障ではありません。 水をご使用されたい場合は、混合水栓を水側にしてご使用ください。

エラー発生時の処置方法

お 願 い

- ・お客さま自身で部品の点検・調整はしないでください。
- ・機器の異常に気付いたときは、東邦ガスに連絡してください。

■エラー発生時の処置方法について

- ・リモコンにエラーコード5桁を表示します。
エラーコードの表示が3桁の場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参照してください。
- ・リモコンに次ページのエラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- ・63、64ページ以外エラーコードについては、東邦ガスにご連絡ください。

■エラーリセット（異常解除）の方法

- ・リモコンA、リモコンB、発電リモコンの場合
「ON/OFF」スイッチを一度「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします。
- ・リモコンCの場合
「入/切」スイッチを一度「切」にしてから、再度押して「入」にします。

(リモコンA (15ページ)、リモコンB (27ページ)、リモコンC (40ページ)、発電リモコン (53ページ) 参照)

※エラー発報時は停止工程に約10～12時間かかります。

エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

エラーの原因と処置方法 (1 / 2)

表示	故障内容	原因	処置方法
01900	ガスマイコンメーター内管漏えい警報防止（後付構成では発生しないエラーです。）	機器の異常ではありません。 発電ユニットが「ガスマイコンメーター確認マーク」を表示して停止中に、熱源機のガス使用が継続し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認できなかった場合に表示します。	・全てのガス機器（暖房を含む）を連続で70分以上停止してください。^{*1} ただし、機器が凍結予防動作などを行った場合、この表示が消えないことがあります。その場合はさらに連続で70分以上ガス機器を停止してください。 作業を実施しても表示が消えない場合は、東邦ガスに連絡してください。 ・床暖房の長時間使用により頻繁に[01900]が表示される場合は、給湯や浴室暖房乾燥機などガス機器を使用しない時間帯に、床暖房リモコン等のタイマー設定により床暖房を70分以上停止する時間帯を設定ください。
01F00	通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されますと、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、東邦ガスにご連絡ください。
01F01	シャットダウン回数警告		
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。 (最大で約10～12時間（時間は気温によって異なります。))
03F06	水抜き状態時起動警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作を行い、エラーをリセットし、水張りを実施後、発電ユニットを起動してください。参照ページは下記となります。 リモコンA（ノーリツ）（20、63、59、19ページ）、 リモコンC（リンナイ）（31、63、59、30ページ） 発電リモコン（43、63、59、42ページ）

*1 70分間は以下の表示を目安としてください。

- ・リモコンAの場合  → 
- ・リモコンBの場合  → 
- ・リモコンCの場合  → 

エラー発生時の処置方法

エラーの原因と処置方法（2／2）

表示	故障内容	原因	処置方法
05F00	メンテナンス時間超過	定期交換部品の交換が必要です。	東邦ガスにご連絡ください。
05F03	可燃ガスセンサ時間		
05F04	超過		
08F00	自立運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が350W以上必要です。
10F00	可燃ガスセンサ1	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	ガス供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、東邦ガスにご連絡ください。
10F10	ガス漏れ異常		
10F01	可燃ガスセンサ2		
10F11	ガス漏れ異常		
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動	主幹ブレーカがONの状態では発電ユニット専用ブレーカをOFFした可能性があります。	エラーをリセット（63ページ参照）してください。原因に該当しない場合は、東邦ガスにご連絡ください。
769	通信異常 （熱源機のエラー）	発電ユニット専用ブレーカがOFFになっている可能性があります。	発電ユニット専用ブレーカ（14ページ参照）をONし、エラーをリセット（63ページ参照）してください。発電ユニット専用ブレーカONでも再発する場合は、東邦ガスにご連絡ください。
82F01	排熱回収水出口温度高温異常	断水している可能性があります。	発電禁止操作を実施後に、エラーをリセット（79ページ参照）してください。給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。水張り完了後、「発電禁止からの再開」を実施してください。再発する場合は、東邦ガスにご連絡ください。
AOF00	原燃料供給圧低または原燃料流量計故障	ガス栓が閉まっているか、ガスマイコンメーターが遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。 ガスマイコンメーターが遮断している場合は、ガスマイコンメーターを復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。 操作方法がわからない場合は販売店、東邦ガスにご連絡ください。
E0F00	商用電流検出異常	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	東邦ガスにご連絡ください。
E4F00	商用電流検出異常		
F9F00	逆潮流検出		

エラー表示

発電ユニットに不具合が生じたとき、熱源機のリモコンにエラーコード[* * F * *]が表示されます。

発電ユニットのエラーコード一覧 (1 / 2)

表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告
01F01	シャットダウン回数警告
01F02	省エネ性低下検出
02F00	通常停止回数警告（起動禁止）
02F01	シャットダウン回数警告（起動禁止）
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち
03F01	スタック保護待機状態
03F06	水抜き状態時起動警告
03F07	改質水水量保護動作中
03F08	エア流量計フィルタ詰まり解消動作
05F00	メンテナンス時間超過1
05F03	可燃ガスセンサ時間超過
05F04	可燃ガスセンサ時間超過
08F00	自立運転保護動作
08F02	水不足による保護停止
08F03	自立時過負荷検出
10F00	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常
10F01	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常
10F10	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常
10F11	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常
11F00	着火異常
12F00	燃焼部#1失火異常
12F01	燃焼部#2失火異常
12F04	失火による出力異常
12F05	失火継続異常
15F00	起動異常
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動
20F00	冷却ファン故障
30F00	改質入口温度センサ故障
30F01	改質入口温度高温異常
30F02	改質入口温度低温異常
30F03	改質入口温度センサ不定故障
42F00	モジュール温度センサ故障
42F01	モジュール温度高温異常
42F02	モジュール温度低温異常
42F04	モジュール温度センサ不定故障
43F00	燃焼排ガス温度センサ故障
43F01	燃焼排ガス温度高温異常
43F02	燃焼排ガス温度低温異常
47F00	還流ガス温度センサ故障
47F02	還流ガス温度低温異常
50F01	停止時原燃料流量異常

表示	故障内容
52F02	エア流量異常
53F00	給湯混合弁原点復帰異常
55F00	可燃ガスセンサ1異常
55F01	可燃ガスセンサ2異常
55F10	可燃ガスセンサ1異常
55F11	可燃ガスセンサ2異常
57F01	伝導度上限異常または水位センサ短絡故障
59F00	燃焼触媒故障
60F00	原燃料流量偏差異常
60F01	原燃料ガスブローアDUTY上限異常
61F00	エア流量偏差異常
61F01	エアブローア故障
63F00	フロートスイッチ断線故障
63F01	フロートスイッチ短絡故障
64F00	排熱回収水ポンプ故障
66F00	改質水補給異常
67F00	水位異常または水位センサ短絡故障
67F01	水位センサ断線故障
67F04	改質水ライン水張り異常
68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
68F01	原燃料入口電磁弁異常
70F00	インバータ通信異常
70F01	インバータ連系パラメータ受信異常
72F01	給湯器ラインまたはインバータ異常
72F03	自立出カリレー固着警告
72F04	自立出カリレー固着異常
72F05	給湯器電源リレー系統側固着警告
72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
74F00	フラッシュメモリ故障
76F00	セット構成給湯器通信異常
76F01	発電リモコン通信異常
76F02	リモコンアンマッチ
76F03	リモコン電源電圧低下異常
77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
77F02	制御装置可燃ガスセンサ増幅回路異常
77F03	制御装置LPガスセンサ増幅回路異常
77F04	制御装置パラメータ破損異常
77F05	FCメンテデータ差異異常
77F06	FCパラメータ差異異常
77F08	原燃料流量計通信異常

エラー表示

発電ユニットのエラーコード一覧 (2 / 2)

表示	故障内容
77F09	カソード エア流量計通信異常
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常
77F11	カソード エア流量計測値フリーズ異常
78F15	直流ヒータ過電流警告
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障
80F00	排熱回収水入口温度センサ故障
80F01	排熱回収水入口温度高温異常
82F00	排熱回収水出口温度センサ故障
82F01	排熱回収水出口温度高温異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常
82F04	排気熱交換器故障または排熱回収水出口温度センサ不定故障
83F00	補機室上部温度センサ故障
83F01	補機室上部温度高温異常
85F00	水道水温度センサ故障
86F00	混合湯温度センサ故障
86F01	混合湯温度高温異常
86F02	水道水温度センサ／混合湯温度センサ精度異常
88F00	自立ヒータ温度センサ故障
88F01	自立ヒータ上部温度高温異常
88F02	自立ヒータ上部温度高温警告
93F00	停止時間タイムアウト
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障
AOF00	原燃料供給圧低下または原燃料流量計故障
BOF00	ホットモジュール高温状態検出
BOF02	改質触媒高温状態
B1F02	水張り時エア抜き警告
B1F03	排熱回収水ライン水なし異常
B4F01	点火ヒータ連続通電時間オーバー
B4F03	排熱回収水ライン凍結防止ヒータ空焚き異常
B6F00	パソコン通信異常
B8F00	改質水タンク水なし状態検出
COF00	スタックトータル電圧低下
COF02	コンバータ過電流警告
COF03	直流リンク過電圧警告
C2F00	スタックトータル電圧未確立
C4F00	直流不足電圧検出
C5F01	インバータDC/DC部温度高温異常
C5F02	インバータDC/AC部温度高温異常
C5F03	インバータ低温警告

表示	故障内容
C5F04	インバータ高温異常
C6F01	EEPROM異常
C7F00	ハードウェア故障
C7F01	インバータ温度センサ故障
C7F02	連系リレー故障
C7F04	24V補機電源電圧上限異常
C7F05	24V補機電源電圧下限異常
C7F06	24V補機電源通電警告
C7F07	2.5V補機電源電圧上限異常
C7F08	2.5V補機電源電圧下限異常
C7F12	5V補機電源電圧上限異常
C7F13	5V補機電源電圧下限異常
C7F14	スタック電流通信異常
C7F15	商用電流回路異常
C7F17	インバータソフトウェアバージョン異常
C7F23	自立周波数不確定異常
C7F25	自立構成異常
C7F26	自立発電電圧不安定異常
C7F27	自立発電電圧不安定警告
C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
C9F00	インバータ入力過電流
EOF00	商用電流検出異常（誤配線）
E1F00	CT自動補正不能
E1F01	CT誤取り付け警告
E1F02	CT自動検出時電力不足異常
E4F00	商用電流検出異常
E7F00	N相過電流異常
FOF00	系統過電圧警告
F1F00	系統不足電圧警告
F2F00	系統周波数上昇警告
F3F00	系統周波数下降警告
F4F00	単独運転受動方式検出
F5F00	単独運転能動方式検出
F6F00	系統瞬時過電圧
F7F00	直流過電圧検出
F7F01	リンク不足電圧検出
F7F02	リンク過電圧検出
F7F03	出力電流直流分流出検出
F7F05	インバータ側通信異常
F7F06	瞬時過電流
F9F00	逆潮流検出
O1900	マイコンメータ内管漏えい警報防止

点検について

■逆流防止装置の点検

この機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しています。機器を安全・快適にお使いいただくために、（社）日本水道協会発行の「給水用の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。（有償）

■発電ユニットの点検

機器への通電開始から12.5年経過後に停止します。引き続き安全にご使用になるためには、点検および定期交換部品、その他の部品の交換が必要になります。（有償）

12.5年経過以降は、毎年の点検を推奨いたします。（有償）

◆リモコンの液晶画面上部に下記のお知らせが表示されたときは、東邦ガスに連絡してください。

- ・[発電ユニットの点検時期が近づいています。]
- ・[発電ユニットの点検が必要です。]
- ・[発電ユニットの点検時期を過ぎています。]（エラーコード[05F00]も点滅）

※[発電ユニットの点検時期を過ぎています。]の表示になると、発電ユニットは自動的に停止します。

◆点検は、専門のサービスマンが実施いたします。

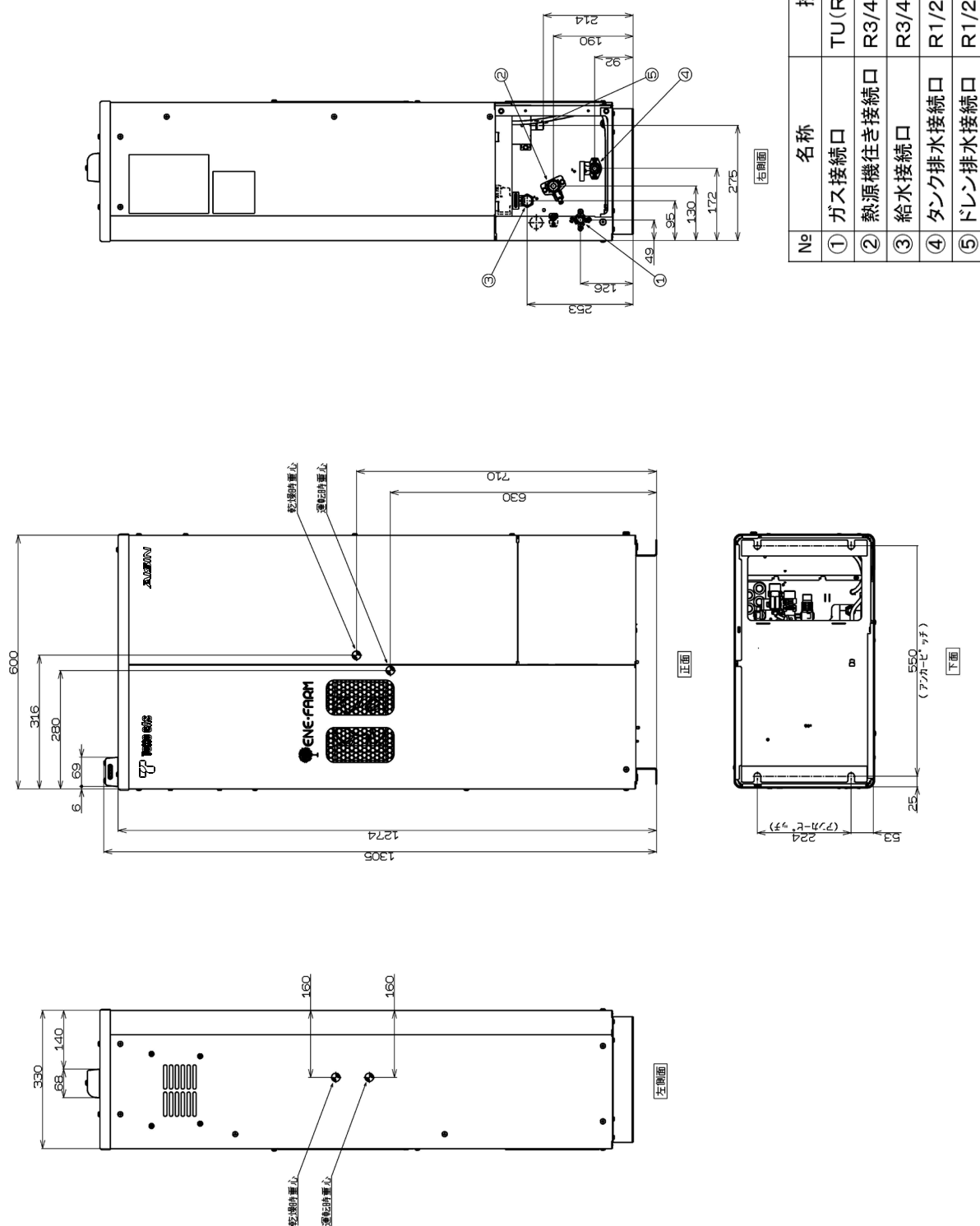
おもな仕様

東邦ガス型式		NT-0720ARS-KBC	NT-0720ARS-KC
メーカー型式		FCCS07C1NJ	FCCS07C1NH
製品名		停電時発電継続仕様 エネファーム type S 燃料電池ユニット	エネファーム type S 燃料電池ユニット
ガスの種類		都市ガス13A	都市ガス13A
燃料電池の種類		SOFC（固体酸化物形燃料電池）	
設置方法		屋外設置据置型	
タンク貯湯温度		約60℃	
タンク容量		25L	
外形寸法		高1274×幅600×奥行330mm（突起部含まず）	
重量		86kg（乾燥重量）	85kg（乾燥重量）
接続	ガス接続口	TU（R1/2おねじ）	
	給水接続口	R3/4（おねじ）	
	熱源機往き接続口	R3/4（おねじ）	
	タンク排水接続口	R1/2（おねじ）	
	ドレン排水接続口	R1/2（おねじ）	
	電源	単相3線式 100/200V	
発電	定格出力	700（停電時発電継続中700）W	700W
	電圧	100V	
	周波数	50/60Hz	
効率＊1	発電効率	55（LHV）％ ＊1	55（LHV）％ ＊1
	総合効率	87（LHV）％	87（LHV）％
インバータ	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式	
	電圧調整方式	PWM方式	
	絶縁方式	高周波絶縁方式	
	接続電気方式	単相3線式	
	出力電気方式	100V	
運転環境温度		-10～43℃	
停電時発電継続運転設計耐用時間（のべ）		500時間	-
不在停止の使用目安		10回/年以下	
起動時間（発電準備）		約4～5時間＊2（機器の状態および気温によって異なります）	
停止動作時		約3～5時間（機器の状態および気温によって異なります）	

＊1 3時間以上安定して定格発電を継続した際の発電効率です。

＊2 発電の停止動作中に起動操作を行った場合でも、停止動作の完了後に再起動となります。

外形図



アフターサービスと保証について

修理を依頼するとき

修理を依頼される前に、「故障・異常かな?と思ったら」(61～64)ページの項目を見て、今一度ご確認ください。不具合があるときはご自分で修理せず、東邦ガスにご連絡ください。

修理の際、エラー発生時に記録した運転データ*を機器から取得し、原因解析に使用します。

*運転データには電気、お湯等のお客さま使用状況を含みます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 東邦ガス型式・・・NT-0720ARS-KBC、NT-0720ARS-KC
2. 品 名・・・エネファーム type S (燃料電池ユニット)
3. ガ ス 種・・・都市ガス(13A)
4. お買い上げ年月日
5. 故 障 の 状 況・・・できるだけ詳しく(エラーコードなど)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日

保証について

- ・この燃料電池ユニットには保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されていることを確認してください。
- ・保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- ・無償修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有償で修理いたします。

引越しまたは機器を移設する場合

発電ユニットを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。

移設工事は東邦ガスに依頼し、お客さまご自身ではなさらないでください。

- ・引越しなどで燃料電池ユニットを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、前もってお買い上げの東邦ガスにご相談ください。
- ・燃料電池ユニットを処分する場合は、お客さまご自身で解体・廃棄は絶対にしないでください。
法規制の対象物質が含まれるため、決められた方法で解体・廃棄する必要があります。解体・廃棄につきましては、本製品を購入された販売店に依頼してください。
※ご使用による人体・周辺環境への影響はありません。

補修用性能部品について

燃料電池ユニットの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後12年です。

性能部品とは製品の性能を維持するために必要な部品です。

熱源機・リモコンを買い替える場合

- ・熱源機との組み合わせ、あるいはリモコンとの組み合わせによっては安全・性能が担保できずやけど等の事故が発生するおそれがあります。
- ・熱源機・リモコンを買い替える場合は必ず東邦ガスにご相談ください。

製品保証書

品名	燃料電池ユニット
型式	NT-0720ARS-KC（停電時発電継続仕様は NT-0720ARS-KBC）

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（以下、当製品）をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、当製品を都市ガスにてご使用になる場合に、本保証書記載内容での無償修理をお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示の上、お買い上げの販売店または当社窓口に修理をご依頼ください。

記

<保証対象機器・保証期間>

1. 保証対象機器 : 燃料電池ユニット本体、台所・浴室リモコンセットまたは発電専用リモコン、電流センサー
2. 保証期間 : お買い上げ日より2年間。但し、次の部品については別途以下の年数を保証いたします。
燃料電池ユニットを構成する部品のうち、ホットモジュール、ポンプ・ファンモーター類、熱交換器およびリモコン（電装基板に起因するもの）は3年、電装基板は5年

<無償修理規定>

1. 保証の内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、当社または当社が指定する業務代行店が無償修理いたします。なお、保証対象外となる場合を3. および4. に、免責事項を5. に記載しておりますのでご確認ください。

※保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、当社窓口にご依頼の上、技術員がお伺いした時に、本保証書をご提示ください。

なお、ご使用場所が当社のガス供給区域外の場合は、出張料等を別途申し受けます。

2. 補修用部品の保有期間と有償修理について

当社は、当製品製造中止後であっても、12年を基準に補修用部品を調達し、保有いたします。保証期間経過後に当製品に発生した故障についても、補修用部品の在庫があり、補修用部品を使用した修理によって性能が維持できる場合は、当社または当社が指定する業務代行店が有償で修理いたします。

3. 保証対象外となる場合

保証期間内においても、次に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。

①直接、間接を問わず、次に掲げる事由によって生じた故障、不具合および損傷の場合

- 1)戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武力反乱その他これらに類似の事変または暴動（群衆または多数の者の集団の行動によって、全国または一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められる状態をいいます。）
- 2)大規模で著しく被害の大きな火災、地震（震度5強以上）、噴火、洪水、津波、風水害等の天変地異

4. 保証対象外となる場合（有償修理）

保証期間内においても、次に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。ただし、当社または当社が指定する業務代行店が保証対象機器の劣化状況等を確認し修理が不可能または著しく困難な場合と判断した場合を除き、使用者のお申し出があれば有償にて修理を実施いたします。

①使用者の保証対象機器のみに影響を与える天変地異、公害、外部要因等の不可抗力による故障、不具合および損傷

- 1)火災・落雷・風水害の天変地異、煤煙・降灰・酸性雨・腐食性等の有害ガス・ほこり等の公害、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・蜘蛛・昆虫類等の侵入等の外部要因による故障、不具合および損傷

②自然損耗や機器仕様による故障、不具合および損傷、または当社の責めによらない事由によるもの

- 1)音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆、摩擦等設計仕様の範囲内の現象または自然損耗であって、故障、不具合および損傷に該当しないと当社または当社が指定する業務代行店の技術者が判断したもの
- 2)エネファーム typeS の燃料電池ユニットの最大発電出力の低下範囲が、日本ガス機器検査協会の検査規定 JIA F 035-15 に定める下限値（定格出力の90%）の80%（定格出力の72%）を下回らないもの
- 3)家庭用以外の用途（喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等の業務用途等）で使用された場合の故障、不具合および損傷
- 4)規定規格以外の電気、ガス、水道を使用された場合の故障、不具合および損傷
- 5)給水・給湯配管の錆等の異物流入による故障、不具合および損傷
- 6)温泉水、井戸水、地下水、人口炭酸泉装置、給水用水処理装置（軟水器等）等の給水による故障、不具合および損傷
- 7)商品に同梱の工事説明書に指示する方法以外の工事設計が原因で生じた故障、不具合および損傷
- 8)当社指定の工事店等以外の業者の施工およびその施工部分に起因した故障、不具合および損傷
- 9)建築躯体の変形等、保証対象機器以外の不良に起因する故障、不具合および損傷
- 10)その他当社の責に帰すことのできない事由により生じた故障、不具合および損傷

③保証対象機器の管理や使用方法の不備による故障、不具合および損傷

- 1)取扱説明書の記載に反する使用等、保証対象機器の不適正な使用または修理による故障、不具合および損傷
- 2)使用者が保証対象機器に生じた故障、不具合および損傷をすみやかに当社に通知せず、当該故障、不具合および損傷を放置した場合
- 3)系統連系開始後の設置場所の移動等による故障、不具合および損傷
- 4)当社または当社が指定する業務代行店以外の業者が修理や点検を実施したことによる故障、不具合および損傷
- 5)当社が採用していない端末機や関連部材を保証対象機器に接続したことにより生じた故障、不具合および損傷
- 6)当社に事前の連絡なく、必要な長期保管の措置をとらずに1か月以上不使用状態が継続したことにより発生した故障、不具合および損傷
- 7)1年以上の長期不在状態が継続し、その後使用を再開したとき以降に発生した故障、不具合および損傷
- 8)停電時以外で、保証対象機器の停電時運転継続仕様に係る機能を頻繁に使用したことにより生じた故障、不具合および損傷
- 9)手動にて起動操作および停止操作を頻繁に繰り返すことにより生じた故障、不具合および損傷
- 10)使用者が、当社および当社が指定する業務代行店に協力していただけない場合、およびそれにより発生した保証対象機器の故障、不具合および損傷

5. 免責事項

使用者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、当社は修理の実施等、本保証書上の当社の義務を、当該事由が解消されるまでの間、免除することに同意していただくものといたします。

- 1)使用者が不在等で連絡が取れない場合、メンテナンススペースの確保ができない場合等のやむを得ない事情により、本保証書に係る修理を実施することができないと当社が判断する場合
 - 2)当社の責に帰すことのできない事由により、修理を行うことができない場合（当社の責に帰すことのできない事由により修理業務の履行に必要な部品が調達できない場合を含みます。）
- ②当社は、前項 1)または 2)に該当し当社が修理等を実施できないことにより、使用者または第三者に発生した身体や財産、電気、ガス、水道料金その他の費用等のいかなる損害についても何ら責任を負わないものといたします。ただし、当社の責に帰すべき事由に起因する場合は、この限りではありません。

■お客さまへ

- 1) 本保証書をお受け取りになるときに、お買い上げ年月日、お買い上げの販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
- 2) 本保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保存してください。
- 3) 保証期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の頁をご覧ください。
- 4) ご転居の場合は、事前に当社窓口にご相談ください。
- 5) 無償修理やアフターサービスなどについてご不明な場合は、当社窓口へお問合せください。
- 6) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 7) 本保証書によって本保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- 8) 性能維持のため、点検時期をリモコンに表示します。期日までに点検が行われなかった場合、燃料電池ユニットの動作を一時停止します。

お買い上げ日	年	月	日	扱者印
お買い上げの販売店名・住所				
電話 ()				

東邦ガス株式会社 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町 19-18

《お問合せ先》 0120-677-977（エネファーム・エコウィルサポートセンター）